

令和 3 年度

# 教 育 委 員 会 要 覧

富士吉田市教育委員会

## 目 次

富士吉田市民憲章	1
富士吉田市の沿革	2
富士山教育憲章	3
教育行財政	
教育委員会	6
事務局機構	9
事務局職員等の配置人員	10
教育委員会関係行政委員会	10
教育委員会教育行政基本方針	11
富士吉田市学校教育指導重点	12
教育委員会事務局分掌	13
教育財政	15
学校教育課	
市内小・中学校一覧	17
小・中学校児童・生徒数及び教職員数	17
小・中学校 学級数・児童生徒数・教職員数の推移	18
小・中学校施設状況等	19
教職員構成	20
学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧	21
学校要覧	22
学校給食センター	
学校給食センターの沿革	33
学校給食センターの概要	33
学校給食センターの運営について	36
生涯学習課	
基本方針・重点	37
主たる事業計画	38
所管施設	42
図 書 館	
図書館の沿革	46
図書館の概要	46
蔵書と貸出の状況	48
図書館利用者の状況	49
利用と蔵書の状況（まとめ）	51
実施事業	51
図書館協議会	56

## 歴史文化課

基本方針	57
文化財関連刊行物	57
富士吉田市内の指定文化財（国・県・市）	59
富士吉田市内の文化財一覧（国・県・市）	60
富士吉田市史刊行物一覧	62

## ふじさんミュージアム（富士吉田市歴史民俗博物館）

施設の概要	63
エリア内附属施設	67
御師旧外川家住宅	67
令和3年度の事業等	68
入館者数一覧表	70
博物館企画展図録等	71

## 富士吉田市立教育研修所

教育研修所の設置目的	72
教育研修所の事業	72
組織・機構図	76
教育相談・指導	77
教育研修所研修会一覧	78

教育委員会行政委員会委員名簿	79
----------------	----

## 富士吉田市章



富士吉田市を図案化したもので中央の富士型が「富士吉田」の富士をあらわし、吉の字で円をつくり、梨地が田をあらわしています。（昭和26年5月4日制定）

## 〈 富士吉田市民憲章 〉（昭和43年10月1日制定）

（前文）

富士山と美しい自然にめぐまれた高原の都市、これが富士吉田市民のまちです。わたくしたちは富士山麓のきびしい自然とたたかいながら原野をひらき、織物と観光のまちを育ててきました。

このたくましい富士吉田市に生きるよろこびと誇りをもち、たがいに力をあわせてよい市民になるために、市民憲章を定めました。

1. わたくしたちは、健康で力づよいまちをつくりましょう。
2. わたくしたちは、産業を伸ばし、豊かなまちをつくりましょう。
3. わたくしたちは、教養を高め、文化のまちをつくりましょう。
4. わたくしたちは、自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
5. わたくしたちは、きまりを守り、平和で明るいまちをつくりましょう。

### 市の花・市の木（昭和45年12月11日制定）

市制施行20周年を記念し、市の花・市の木を市民から募集、この結果をもとに市の花・市の木制定委員会より決定される。

#### 市の花 ふじざくら

昭和27年に郷土を代表する花として決定されていたが、本市を代表するにふさわしい花として制定された。

#### 市の木 しらかば

高原都市にふさわしく、しかも明るい感じを与える木として制定された。

#### 市の鳥 アカゲラ（平成2年11月3日制定）

緑あふれる高原のまち富士吉田市のイメージにあい、害虫を食べ森林の保護に役立つことや、富士山周辺や市街地で比較的多くみられることなどから制定された。



## ＜富士吉田市の沿革＞

富士吉田市は、山梨県の南東部、富士山の北麓に位置し、海拔650～900mに市街地が形成された高原都市です。

富士北麓の歴史は、遠くさかのぼればのぼるほど神話、民話伝承の世界に溶け込んでいき、それらと密接な関係を持つ富士山信仰を基盤に富士吉田市は発展を遂げてきました。

上吉田地区の北口本宮富士浅間神社と御師の家並みはその面影を伝えています。

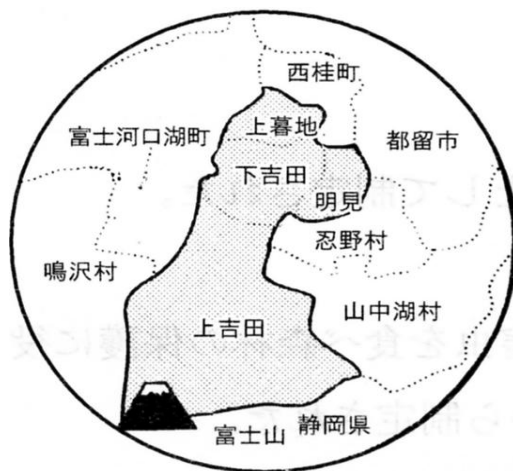
「甲斐絹」は、明治以降織物産業が近代産業として脚光を浴び、この地域の主たる産業として発展し、富士吉田市はその織物産業を軸として、政治・経済・交通などあらゆる面で富士北麓の中核都市としての役割を果たしてきました。

市の沿革は、昭和26年、富士上吉田町、下吉田町、明見町を合併して市制をスタートさせ、昭和35年には、上暮地地区を合併して現在に至っています。

令和3年4月1日現在、人口は男子23,629人、女子24,368人、計47,997人、世帯数20,120戸となっています。

日本のシンボルである富士山の麓に広がる富士吉田市は、市域の大部分が国立公園内にあり、土地利用の面では大きな制約があるとはいえ、富士山に抱かれた自然環境は、市民に限りない恩恵を与えており、大きな誇りになっています。

現在、富士吉田市は、「富士の恵みと幸せを紡いでまちを織る 活力創造都市 富士吉田」を目標に、市民と行政がそれぞれの役割と責任を果たしながら協働して、富士山を中心とした本市の自然・歴史・伝統・文化などを活かした自立的で魅力的な新しいふるさとづくりを進めていくとともに、富士北麓地域全体を視野に入れ、その中心都市としての機能・役割を強化したまちづくりを推進しております。



### ＜教育委員会＞の位置

下吉田 6－1－1

北 緯 35 度 30 分

東 経 138 度 49 分

行政面積 121.74 k m<sup>2</sup>

## ＜ 富士山教育憲章 ＞

わたくしたちは、世界に誇る富士山を朝夕まぢかに仰ぎながら生活しています。

この富士山をかがみとして、立派な人間になるために富士山教育憲章を定めました。

わたくしたちは

1. 高い理想と、揺るがぬ信念をもって生きる心を育てましょう。
2. 健やかな体と、広く温かい心を育てましょう。
3. 困難を乗り越え、たゆまず努力する心を育てましょう。
4. きまりを守り、進んで社会に尽くす心を育てましょう。
5. 富士山を愛し、世界に通ずる豊かな心を育てましょう。

(解 説)

わが国の教育は、民主的で文化的な国家を建設して、世界平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示した日本国憲法の問題意識にのっとり、その理想と実現を求めて行われています。

その教育理念として、「個人の尊重を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造」が教育基本法に明示されています。

この実践はあらゆる場所と機会に、実際生活に即して行われなければなりません。ここに、地域に根ざした教育の重要性があります。

富士北麓に生をうけ、朝な夕な富士山を仰ぎながら生活するわたくしたちは、人生の多くの規範をこの山に求め―富士山のように―と自らを律してきました。このように、富士山は、わたくしたちに数多くの教訓を示し、大きな感化を与えてきました。文中の「立派な人間」は、この富士山の示す数々の教えを学びとり、生活の指針としながら、教育の理念近づいていくことのできる人間を意味しています。あえて「富士山教育憲章」と名付けた理由もここにあります。

教育は、学校教育、社会教育を含め、生涯にわたって行われるべきであります。従って本憲章も、市民全員の教育規範となることを願っております。特に、時代を背負う児

童・生徒を育成する学校教育に、その精神の実現を期待しております。

また、市民憲章は、全市民が、健康で、明るく豊かな社会生活を送るための総合的な憲章であり、教育憲章は、市民憲章を実践することの出来る人間を育てる教育の基本的な理念と考えております。

### 1. 高い理念と、揺るがぬ信念をもって生きる心を育てましょう。

富士山の雄大尊厳な山容は、わたくしたちの理想を象徴しています。社会構造が複雑化し、人生の目的が類型化、小型化したといわれる現在、次代を背負う青少年に特に大きな夢をもつことが望まれます。

富士山をまじかに仰ぎ見ることの出来るわたくしたちは幸福です。その姿は、夢を追い大志を抱く生き生きとした気概をわたくしたちに与えてくれます。

また、富士山からは、何事にも屈しない不動の信念をもって、生きることの尊さを学ぶことができます。

### 2. 健やかな体と、広く温かい心を育てましょう。

健全な生活を支えるものは、健やかな体とそこに宿る豊かな人間性です。人を大切にし、思いやる心です。

千古不易、風雪をしのいでそびえ、いつも優しく、わたくしたちを見守ってくれる富士山や、豊かな水をたたえる五つの湖と広大な裾原をいただく自然から、わたくしたちは、逞しい体とおおらかな広く温かい心を育てることができます。

### 3. 困難を乗り越え、たゆまず努力する心を育てましょう。

秀麗な富士山に代表される自然も、時には猛威を振り、この地に寒冷、不毛などの試練をあたえます。これは、わたくしたちを鍛える厳しいむちにも似ています。富士山自身も、風雪、酷寒に耐え、それを乗り越えて、美しい大自然の姿をわたくしたちに楽しませながら、無言にその生き方を教えてくれます。

先人は、厳しい自然とたたかいながら、この地を切り拓き、現在の繁栄と文化を築いてきました。わたくしたちは、この富士山の姿から強靱な意志と忍耐力、勤労の精神の貴さを知り、これを受け継ぎ、生涯にわたって、郷土の創造発展に努力すること

の大切さを学ぶことができます。

#### 4. きまりを守り、進んで社会に尽くす心を育てましょう。

自然界は、一見、無秩序のように見えますが、そこには厳然とした法則があり、それによって富士山も四季を通じて、自然のリズムに順応した調和と統一のとれた美しい姿を保っています。この富士山の姿から、わたくしたちは、社会生活を円滑に営むための「きまり」を責任をもって守り、自他の敬愛と礼節の中で、協調し、奉仕し、平和で文化的な理想社会の実現に努力することの大切さを学ぶことができます。

#### 5. 富士山を愛し、世界に通ずる豊かな心を育てましょう。

わたくしたちは、富士山に象徴される、この自らのふるさとを愛する者こそ、祖国、世界人類を愛することのできる人間であることを自覚し、ふるさとの優れた文化や伝統を大切にし、この美しい自然環境を破壊から防ぎ、その保全に努める使命をもっております。

この郷土愛を発展させることから、更に、わたくしたちは、世界の人々と手を携え、その文化や生活を尊重し、広い視野で交流し、人類の幸福に貢献できる人間になるように努めることの大切さを学ぶことができます。

### ☆☆☆☆☆☆ 富士山教育の趣旨 ☆☆☆☆☆☆

心が豊かで、たくましい次代を担う国際社会に通じる児童・生徒の育成を目指して学校・家庭・社会のもつ教育機能を有機的に作用させ、市民一人ひとりの資質能力をのばしていくための生涯教育の推進が課題であります。

富士吉田市民みんなの願いであり、誓いでもある市民憲章の実践とこの精神を生かし地域に根ざした特色のある教育確立のため、郷土の象徴である富士山をかがみとした教育であります。

制定 昭和 60 年 10 月 31 日

## < 教 育 行 財 政 >

### 教育委員会

教育委員会制度につきましては、教育委員長と教育長の責任の明確化、教育委員会の審議の形骸化などから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、富士吉田市においては、平成27年6月1日より新教育委員会制度へ移行しました。

この新制度につきましては、旧制度において、教育委員会のトップでありました教育委員長という職が廃止され、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会の代表として、会議の主宰者、事務執行の責任者、事務局の指揮監督者となりました。

また、新制度では、首長と教育委員会が、教育行政の大綱や重点的に構ずるべき施策等について協議・調整を行う場として、首長が招集する総合教育会議を設置することとしており、両者が教育施策の方向性を共有し、一致して執行していくものとしています。

なお、教育委員会は、レイマンコントロールによる合議制の機関であることには変わらず、地域住民の多様な意思や希望、期待に的確に答えながら、継続性や安定性を重視することが望ましいものとされています。

富士吉田市教育委員会は、教育長及び4人の教育委員で構成され、人格が高潔で、教育、芸術、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから市長が議会に提案し、同意を得て任命されており、再任することができます。委員の任命については、保護者である者が含まれることが求められております。任期は、教育長3年、委員は4年であります。

会議は毎月1回開催される会議（定例会）と、緊急の要件が発生したときに開催される会議（臨時会）があります。

また、教育委員会に関わる「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することなどが義務付けられています。

職 務	氏 名	職 業	就任年月日
教育長	奥脇 義徳	—	令和3年6月1日
教育長職務代理者	堀内 欣一郎	団体職員	平成30年10月6日
委 員	渡邊 学	土地家屋調査士	令和2年12月26日
委 員	宮下 公雄	自営業	平成29年11月1日
委 員	清水 慶子	薬剤師	平成29年11月1日

(令和3年6月1日現在)

# 歴代教育委員・教育長

## ＜ 教育委員 ＞

氏 名	就任年月日	退職年月日
天 野 伝 次	昭和 27. 11. 1	昭和 29. 8. 12
羽 田 奈 奈	27. 11. 1	29. 12. 31
宮 下 忠 三	27. 11. 1	30. 4. 30
堀 内 文 吉	27. 11. 1	31. 9. 30
舟久保吉太郎	30. 2. 6	31. 9. 30
渡 辺 与 資 雄	30. 2. 6	31. 9. 30
宮 下 律 治	30. 5. 13	31. 5. 28
清 伝 作	31. 5. 29	31. 9. 30
堀 内 文 吉	31. 10. 1	34. 9. 30
渡 辺 利 太 郎	31. 10. 1	35. 9. 30
志 村 隆 治	31. 10. 1	35. 9. 30
田 辺 顕 三	31. 10. 1	32. 9. 30
奥 山 雅 美	31. 10. 1	37. 9. 30
羽 田 曄	32. 10. 1	36. 9. 30
刑 部 陽	34. 10. 1	38. 9. 30
勝 俣 徳 裕	35. 10. 1	39. 9. 30
渡 辺 正 利	35. 10. 1	36. 8. 25
奥 脇 孝 美	36. 10. 1	40. 9. 30
渡 辺 育 朗	36. 10. 1	39. 9. 30
武 藤 英	37. 10. 1	41. 9. 30
山 口 光 太 郎	39. 5. 18	43. 5. 17
笹 本 璋	39. 11. 29	43. 11. 28
宮 下 茂 泰	40. 10. 4	44. 10. 3
奥 脇 規 矩 男	40. 10. 4	41. 6. 30
井 出 斧 文	41. 7. 1	43. 5. 17
菊 田 貞 信	41. 10. 1	45. 9. 30
田 辺 功	43. 5. 18	47. 5. 17
荒 井 三 千 男	43. 12. 12	47. 12. 12
奥 脇 孝 美	44. 10. 13	48. 10. 12
武 藤 英	44. 10. 13	48. 10. 12
分 部 隆 造	45. 10. 1	49. 9. 30
堀 内 国 光	47. 5. 20	51. 5. 19
田 辺 義 人	47. 12. 25	50. 3. 20
加々美新吾	48. 11. 1	52. 10. 31
遠 山 栄 郎	48. 11. 1	52. 10. 31
滝 口 猛 雄	49. 10. 1	53. 9. 30
前 田 正 義	50. 3. 24	51. 12. 24
佐 藤 務	51. 5. 20	58. 4. 30
奥 脇 晴 雄	51. 12. 25	55. 12. 24
舟 久 保 寛	52. 11. 1	58. 6. 23
大 庭 三 郎	52. 11. 1	56. 10. 31
志 村 六 男	53. 10. 1	57. 9. 30
渡 辺 泰 敏	55. 12. 25	58. 6. 23
宮 野 謹 一	56. 11. 1	58. 12. 23
渡 辺 典 睦	57. 10. 1	58. 12. 23
中 沢 光 雄	58. 6. 24	59. 12. 24
宮 下 儀 行	58. 6. 24	60. 10. 31
荒 井 三 千 男	58. 5. 11	60. 7. 1
天 野 隆 三	58. 12. 24	平成 元. 10. 31
宮 下 新 十 郎	58. 12. 24	昭和 61. 9. 30
和 光 泰	59. 12. 26	63. 12. 25
勝 俣 誠	60. 7. 2	63. 5. 19
天 野 栄 治	60. 11. 1	平成 元. 10. 31
渡 辺 一 枝	61. 10. 1	2. 9. 30
川 井 清 孝	63. 7. 2	3. 7. 4
志 村 潤 造	63. 12. 26	4. 12. 25
渡 辺 守	平成 元. 11. 1	3. 7. 6
勝 俣 和 夫	元. 11. 1	4. 8. 19

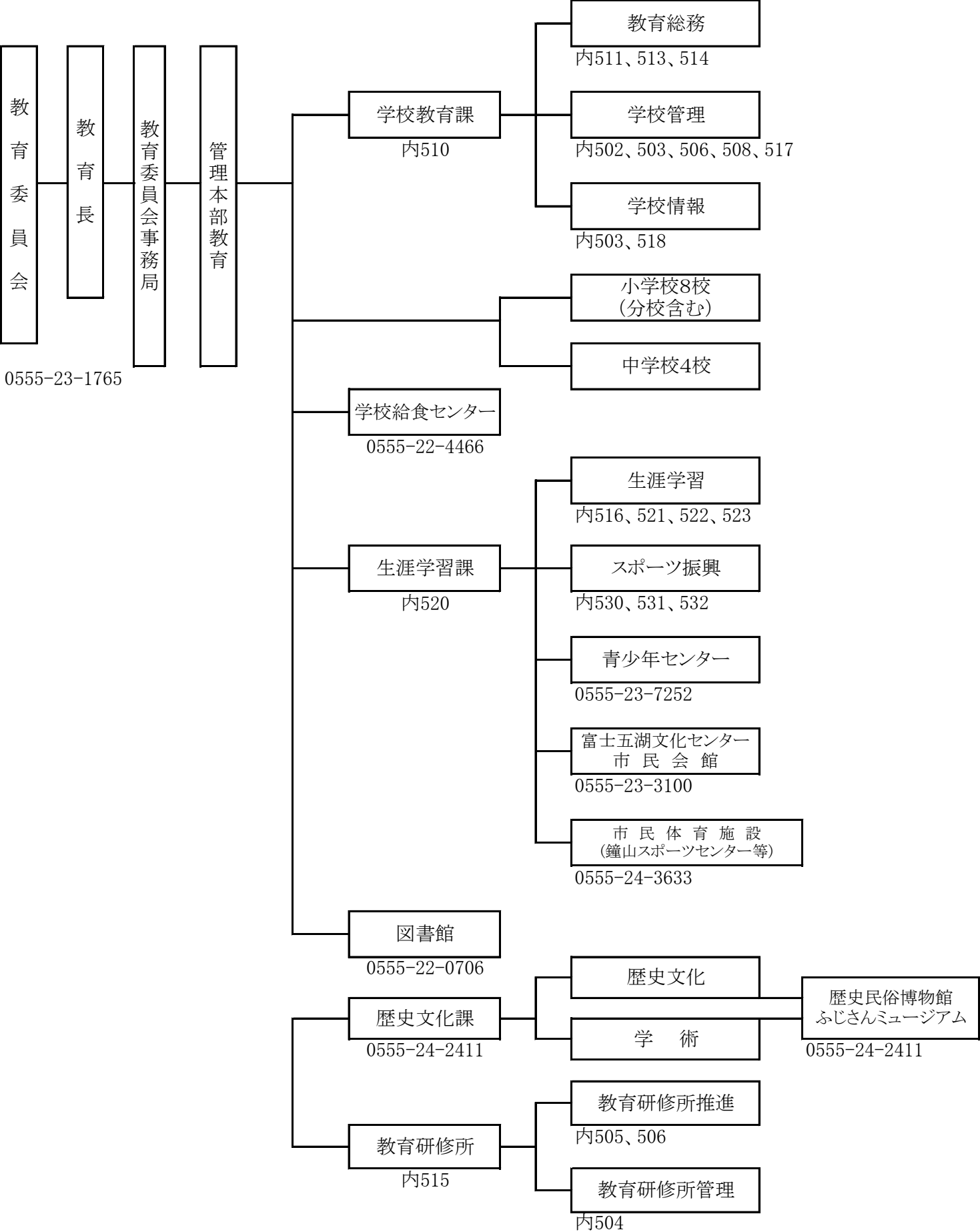
## ＜ 教育委員 ＞

氏 名	就任年月日	退職年月日
飯 島 弘 子	平成 2. 10. 3	平成 6. 10. 5
小 林 昭 三	3. 7. 10	7. 4. 25
柏 木 幹 弘	4. 10. 3	9. 10. 31
志 村 利 則	4. 12. 26	8. 12. 25
渡 辺 努	5. 11. 1	9. 10. 31
希 代 宏 文	6. 10. 6	10. 10. 5
渡 辺 親	7. 6. 1	8. 7. 1
渡 辺 親	8. 7. 5	11. 5. 6
滝 口 正 行	8. 12. 26	12. 12. 25
山 口 嘉 一	9. 11. 1	11. 12. 1
犬 飼 俊 英	9. 11. 1	13. 10. 31
渡 辺 昭 平	10. 10. 6	14. 10. 5
高 保 建 樹	11. 5. 27	12. 7. 4
高 保 建 樹	12. 7. 5	15. 5. 6
岩 佐 多 計 代	12. 3. 24	17. 10. 31
土 屋 哲 一	12. 12. 26	16. 12. 25
宮 下 節 夫	13. 11. 1	17. 10. 31
荒 井 康 博	14. 10. 6	18. 10. 5
渡 邊 好 一	15. 5. 26	17. 6. 6
渡 辺 合 子	16. 12. 26	20. 12. 25
竹 田 忠 晴	17. 6. 7	19. 5. 31
和 光 泰	19. 6. 1	21. 2. 28
加々美清子	17. 11. 1	21. 10. 31
萱 沼 一 弘	17. 11. 1	21. 10. 31
前 田 耕 一	18. 10. 6	22. 10. 5
滝 口 晴 夫	20. 12. 26	24. 12. 25
桑 原 良 訓	21. 11. 1	25. 10. 31
刑 部 茶 苗	21. 11. 1	25. 10. 31
堀 内 研 司	22. 10. 6	25. 10. 7
市 川 清	24. 12. 26	28. 12. 25
羽 田 由 貴 子	25. 11. 1	26. 10. 5
渡 邊 慈 仁	25. 11. 1	29. 10. 31
武 藤 さ と み	25. 11. 1	29. 10. 31
田 邊 丈 人	26. 10. 6	30. 10. 5
滝 口 峯 子	28. 12. 26	令和 2. 12. 25
宮 下 公 雄	29. 11. 1	
清 水 慶 子	29. 11. 1	
堀 内 欣 一 郎	30. 10. 6	
渡 邊 学	令和 2. 12. 26	

＜ 教 育 長 ＞

氏 名	就任年月日	退職年月日
山 田 秀 峰	昭 和 26.11.30	昭和 31.9.30
奥 山 雅 美	31.10.1	37.9.30
武 藤 英	37.10.1	41.9.30
山 口 光 太 郎	41.10.1	43.5.17
田 辺 功	43.5.18	47.5.17
堀 内 国 光	47.5.20	51.5.19
滝 口 猛 雄	51.5.26	53.9.30
佐 藤 務	53.10.3	58.4.30
荒 井 三 千 男	58.5.20	60.7.1
勝 俣 誠	60.7.12	63.5.19
川 井 清 隆	63.7.12	平成 3.7.4
小 林 昭 三	平成 3.7.10	7.4.25
渡 辺 親	7.6.1	11.5.6
高 保 建 樹	11.5.27	12.7.4
高 保 建 樹	12.7.5	15.5.6
渡 邊 好 一	15.5.26	17.6.6
竹 田 忠 晴	17.6.7	19.5.31
和 光 泰	19.6.1	21.2.28
秋 山 勝 彦	21.3.5	27.5.31
小 林 英 明	27.6.1	30.5.31
杉 本 武 雄	30.6.1	令和 3.5.31
奥 脇 義 徳	令 和 3.6.1	

教育委員会事務局機構





## 教育委員会事務局職員等の配置人員

(令和3年5月1日現在)

課施設等 職 名	部 長	次 長	課 長	課 長 補 佐	主 幹	主 査	職 長	主 任	主 事 主 事 補	技 能 主 任	技 能 主 事	技 能 員	嘱託・再任 用・その他	任 用 職 員	会 計 年 度	合 計
教育委員会 管 理 本 部	1	1														2
学 校 教 育 課			1	3	1	2		1	1				1	106		116
学校給食センター			1	1	3								(2)			7
生 涯 学 習 課			1	2		2		1	2					3		11
図 書 館			1	1		1								16		19
歴 史 文 化 課			1	2	2	1								19		25
歴史民俗博物館 ふじさんミュージアム													1			1
教 育 研 修 所			1	1					1					2		5
合 計	1	1	6	10	6	6		2	4				4	146		186

## 教育委員会関係行政委員会

名 称	委員の要件・定数
富士吉田市社会教育委員会	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者 9人
富士五湖文化センター・ 富士吉田市民会館運営委員会	識見を有する者 6人
富士吉田市立図書館協議会	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者 9人
富士吉田市スポーツ推進審議会	関係行政機関の職員、スポーツに関し学識経験を有する者 12人
富士吉田市スポーツ推進委員	市民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行える者等 24人
富士吉田市歴史民俗博物館協議会	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験を有する者 9人
富士吉田市文化財審議会	学識経験者 7人以内
富士吉田市学校給食運営委員会	小中学校長代表2人、小中学校給食主任代表2人、PTA連合会長、PTA連合副会長代表1人、市立保育園長代表1人、識見を有する者1人、校医代表1人、保健所の職員1人
富士吉田市教育研修所運営協議会	小中学校長、教育委員会の事務局及び教育機関の職員、識見を有する者 21人
富士吉田市いじめ問題対策連絡協議会	教育長、教育委員、小中学校長、PTA連合会、都留児童相談所、南都留教育事務所、富士吉田警察署、人権について識見を有する者 9人

## 富士吉田市教育委員会教育行政基本方針

現下の社会情勢は、人口減少・高齢社会の到来、グローバル化や高度情報化の進展、個々の価値観の多様化、さらには、地方分権や各種制度改革等、大きく、しかも、加速度的に変化してきています。

こうしためまぐるしく進展する現代社会において、市民一人ひとりが生きがいを求め、ゆとりある充実した豊かな生活を創造していくために、富士吉田市教育委員会では、第六次富士吉田市総合計画に基づき「心豊かな人を育む『教育・文化・スポーツ』の充実」を基本理念として、学校教育では、富士山教育憲章にのっとり、美しいものや自然に感動する心、時代を超えて変わらない価値のあるものを尊重する心など、豊かな心の醸成や基礎学力の定着、情報化社会への適応など、子ども達が新しい時代を生きていくための実践的な力となる豊かな人間性の育成を進めます。

また、社会教育では、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るための生涯学習活動や文化活動、また、ゆとりや英気を養い、健康の増進をも図るためのスポーツ・レクリエーション活動等の活動環境を充実するとともに、本市固有の歴史、伝統、文化を後世に継承するなど、市民文化の形成を進めます。

# 令和3年度 富士吉田市学校教育指導重点

<p><b>富士吉田市民憲章</b></p> <p><b>富士山教育憲章</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高い理想と、揺るがぬ信念をもって生きる心</li> <li>○健やかな身体と、広く温かい心</li> <li>○困難を乗り越え、たゆまず努力する力</li> <li>○きまりを守り、進んで社会に尽くす心</li> <li>○富士山を愛し、世界に通ずる豊かな心</li> </ul> <p><b>富士吉田市教育大綱</b></p> <p>豊かな人間性の育成と市民文化の形成</p>	<p><b>山梨県教育大綱</b></p> <p><b>山梨県教育振興基本計画</b></p> <p><b>山梨県学校教育指導重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の育成</li> <li>○体力の向上と健康教育の推進</li> <li>○いじめを許さない集団づくりと不登校児童生徒が生じない環境づくり</li> <li>○特別支援教育に関する教員の専門性の向上と「個別の支援計画」の作成・活用</li> <li>○様々な状況を想定した学校の安全管理体制の確立</li> </ul>	<p><b>学習指導要領</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養</li> <li>○「社会に開かれた教育課程」の実現</li> <li>○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善</li> <li>○外国語教育の充実（小学校外国語科の導入）</li> <li>○道徳教育の充実（道徳の教科化）</li> <li>○学習の基盤となる能力（言語能力、情報活用能力等）の育成</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの確立</li> </ul>	<p><b>第6次富士吉田市総合計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心豊かな人を育む「教育・文化・スポーツ」の充実</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」を実践する授業の実現</li> <li>・ICT教育の推進</li> <li>・国際理解教育の推進</li> <li>・特別支援教育の推進</li> <li>・教育相談体制の充実</li> <li>・富士山学習による郷土愛教育の充実</li> <li>・学校給食の充実と食育の推進</li> </ul>
<p>将来の活力ある富士吉田市を創造する子供たちに求められる資質・能力</p> <p>知・徳・体をバランスよく育て、子供たちの「生きる力」をほぐくむ</p> <p>言語活動、理数教育、外国語教育、体育、伝統文化に関する教育、体験活動、道徳教育、社会の進展に対応した教育、特別支援教育等の充実</p>			

富士山教育		
富士山をかがみとした、心豊かでたくましく国際社会に通じる子供の育成をめざす地域に根ざした特色ある教育		
<p>〔確かな学力の育成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな学力と自立する力の育成</li> <li>○生涯にわたり学習する基盤の育成</li> <li>○富士吉田の特色を発信する力の育成</li> </ul>	<p>〔豊かな心の育成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心と自己実現を図る力の育成</li> <li>○よりよい人間関係の育成</li> <li>○郷土を愛する心の育成</li> </ul>	<p>〔健やかな身体の育成〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○健康で安全な生活を創りだす力の育成</li> <li>○体力向上の基礎の育成</li> <li>○富士北麓の自然環境を生き抜く力の育成</li> </ul>

学校教育指導重点		
<p><b>●学習指導要領の趣旨を反映した教育課程の編成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面实施となる教育課程の編成・実施・評価・改善を行う。</li> <li>・教科等横断的な教育課程の編成を行う。</li> <li>・新しい時代に子供たちに求められる資質・能力を社会と共有し連携する「社会に開かれた教育課程」を作り上げていく。</li> </ul>	<p><b>●いじめを許さない集団づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの未然防止、早期対応、継続支援を図るために、校内研修会を充実させるとともに、教職員相互が積極的に情報交換を行うための体制を確立させる。</li> <li>・学校いじめ防止基本方針について、国・県の変更内容を基に点検・改定するとともに、子供や保護者に周知する。</li> <li>・子供が自己有用感や充実感を感じられる授業づくりや集団づくりに努める。</li> <li>・総合教育支援員やSC、SSWと効果的に連携し、校内における教育相談体制を充実する。</li> <li>・生徒指導の諸問題調査の結果を分析し、課題解決に向けての取組を全教職員の共通理解のもと推進する。</li> </ul>	<p><b>●子供が安全で安心に生活できる環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の共通理解のもとに、ミサイル発射時や富士山噴火時等も想定に入れた「学校危機管理マニュアル」の見直しを行う。</li> <li>・危険予測能力と危険回避能力を高める安全教育を系統的に推進することともに、実践的な防災・防犯訓練を実施する。</li> <li>・防災・防犯に関する教職員の研修を実施すると共に、避難所運営についての教職員の理解を深める。</li> <li>・グローバルな視点で環境保全に努める人材育成のため持続可能な開発に向けた教育を進める</li> </ul>
<p><b>●授業の質的向上による確かな学力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「何ができるようになるか」を明確化した授業改善を全校体制で進める。</li> <li>・「やまなしスタンダード」に基づいた授業実践を全校体制で実施する。</li> <li>・自主学習や補充学習等の支援により、基礎学力と学習習慣の定着、学習意欲の向上を図る。</li> <li>・教科の特性に応じて、記録・要約・説明・論述などの言語活動を積極的に取り入れる。</li> <li>・課題解決型の学習テーマを導入し、課題を解決するために必要な情報を検索・収集・活用する学習活動を積極的に取り入れる。</li> <li>・ICT機器（タブレットPC等）を有効活用した授業づくりを進めるとともに、プログラミングを体験する学習活動を推進する。</li> </ul>	<p><b>●不登校児童生徒が生じない環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育支援員による電話相談、面接相談の実施、教育支援室の運営、学校訪問の実施等により、不登校や心身に悩みをもつ児童生徒に対する組織的・継続的な支援を総合教育支援員と学校が連携して進める。</li> <li>・子育て支援課や児童相談所等の関係機関、SCやSSWとの連携や、学校のケース会議の充実を図り、不登校児童生徒の再登校への支援策を共通理解を図りながら実施する。</li> <li>・Q-U検査結果の有効活用やソーシャルスキル学習の実施等により、学校全体として、不登校が生じないための魅力ある学校づくり、「心の居場所」としての学級づくりを進める。</li> <li>・児童生徒理解やカウンセリングなどのスキルアップを図る研修を充実させ、教職員の資質・能力を高める。</li> <li>・個々の不登校児童生徒に応じた支援計画を作成し、教育支援室等、関係機関と連携して支援する。</li> </ul>	<p><b>●体力の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・体力づくり校一実践運動」を充実させて、運動習慣の定着と体力向上を図る。</li> <li>・体育・保健体育科において、基礎的な運動能力の育成を図るとともに、体育的行事等の特別活動や休み時間、部活動等、学校教育活動を相互に関連させながら実践し、体力の向上を努める。</li> <li>・小学校においては、体づくり運動領域を中心に、課題となっている体力の向上を意図した運動をゲーム性を持たせるなどして楽しみながら継続して行う。</li> <li>・中学校においては、体育理論で習得した知識を各運動領域で活用する。</li> </ul>
<p><b>●外国語教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動と外国語科において、担任とALTとのチーム・ティーチングによるコミュニケーション活動を中心とした学習活動を充実させる。</li> <li>・教員研修を充実させ、指導力・授業力を向上させる。</li> <li>・CAN-DOリストを基にした評価を実施する。</li> </ul>	<p><b>●道徳教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科を校として、他教科等の関連を明確にした道徳教育全体計画の改善を図り、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を推進する。</li> <li>・「考え、議論する道徳」の授業づくり、「自己との対話を深める」授業づくり、問題解決的な学習過程の導入、「物事を多面的・多角的に考える」授業づくり等を研究・実践し、道徳科の趣旨を踏まえた授業を構築する。</li> </ul>	<p><b>●健康教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健教育を各教科や特別活動、総合的な学習の時間等と相互に関連させて実践する。</li> <li>・「食育推進一校一実践」について、実情に応じた具体的な目標を設定し計画的に取り組む。</li> <li>・朝食摂取率をあげるために家庭と連携した取組を推進する。</li> </ul>
<p><b>●富士山学習の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画と単元授業計画に基づいた授業実践を推進する。</li> <li>・富士山学習に関する地域の人的・物的資源を積極的に授業の中に取り入れる。</li> <li>・地域素材の教材化を全校体制で積極的に進める。</li> <li>・「富士山を知る学習」と「地域を知る学習」の充実を図り、郷土を愛する心の涵養を図る。</li> <li>・富士山学習の成果を情報発信する機会を積極的に取り入れる。</li> </ul>	<p><b>●一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害に関する知識や配慮等について正しい理解と認識を深め、学校として組織的な対応を行うため、全教職員を対象とした研修を実施する。</li> <li>・「個別の教育支援計画」作成の意義や活用について理解を深め、作成・活用し、切れ目のない支援を行う。</li> <li>・臨床発達心理士を活用した適性就学支援体制を充実させ、幼保小との連携を促進する。</li> <li>・ふじぐら支援学校のセンタースキルの機能を積極的に活用するとともに、子育て支援課や福祉課等との関係機関との連携体制を充実させる。</li> </ul>	<p><b>●各校種間の交流・連携の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの成長を系統的・継続的に適切に支援していくために、幼児教育から中等教育（幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）にかけての各校種間の交流・連携活動を推進する。</li> <li>・多様化・複雑化する教育課題への対応並びに活力ある地域社会を創造する子供の育成のために、各校種間の情報交換や協議を推進する。</li> <li>・キャリアパスポートにより小中高の学びの継続を図る。</li> </ul>
<p><b>●家庭学習定着の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員で家庭学習への働きかけや支援について共通理解を図った上で全校体制で実施する。</li> <li>・児童・生徒の実態に応じて、e-ライブラリーまたは学習クラブを積極的に活用する。</li> <li>・県教委「学びのすすめ一学び甲斐善八か条」を参照して「家庭学習の手引き」を改善し、家庭と連携した取り組みを推進する。</li> </ul>	<p><b>●地域学校協働活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色に応じて、学校支援活動を行う学校支援地域本部の組織化を図る。</li> <li>・地域と学校が連携、協働して地域全体で子供の成長を支えていく地域学校協働活動を推進する。</li> </ul>	

## 教育委員会事務局分掌

### 【 学 校 教 育 課 】

教育行政の総合計画、調整及び相談に関すること。  
教育委員会委員及び教育長の秘書に関すること。  
表彰に関すること。  
教職員の服務、研修、福利厚生及び人事に関すること。  
教育委員会の会議に関すること。  
教育委員会規則等の制定及び改廃に関すること。  
文書及び公印に関すること。  
教育委員会の予算の経理及び統括に関すること。  
教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びにその公表に関すること。  
教育行政に係る調査及び統計に関すること。  
学校その他の教育機関の設置及び維持管理に関すること。  
教具その他の学校用品の調達、出納、保管及び処分に関すること。  
就学時の児童及び生徒の就学事務及び健康管理に関すること。  
通学区域に関すること。  
学級編制に関すること。  
学校教育の指導及び助言に関すること。  
学校給食センターとの連絡及び調整に関すること。  
教育委員会事務局内の連絡及び調整に関すること。  
教育委員会事務局内の行政改革に関すること。  
就学奨励・就学援助に関すること。  
学校の情報システムの管理及び運用に関すること。

### 【 学 校 給 食 セ ン タ ー 】

学校給食センターの管理運営に関すること。  
給食用物資の購入及び保管並びに学校給食の調理及び運搬に関すること。  
学校給食費に関すること。  
学校給食における食育及び食物アレルギーに関すること。  
その他学校給食に関すること。

### 【 生 涯 学 習 課 】

社会教育関係機関及び団体の指導、連絡及び調整に関すること。  
生涯教育のための総合的企画及び調整に関すること。  
生涯教育のための講座並びに資料の収集及び刊行に関すること。  
高齢者教育に関すること。  
幼児教育に関すること。  
視聴覚ライブラリーに関すること。  
青少年対策事業に関すること。  
富士五湖文化センター・市民会館に関すること。  
青少年センターに関すること。  
芸能、文化及び芸術活動の振興に関すること。

文化団体の指導及び助言に関すること。  
自治会文化部の指導及び助言に関すること。  
一般財団法人富士吉田文化振興協会との連絡及び調整に関すること。  
スポーツの振興に関すること。  
社会体育団体の指導及び連絡に関すること。  
社会体育指導者の養成に関すること。  
レクリエーション活動に関すること。  
保健体育等に係る調査、研究及び事業に関すること。  
市民体育施設等の整備及び管理に関すること。

#### 【 図 書 館 】

図書、記録、視聴覚その他必要な資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。  
読書案内、読書相談及び利用相談に関すること。  
他の図書館、学校図書館等との協力及び図書館資料の相互貸借に関すること。  
学校、博物館、研究所等との協力に関すること。  
図書館協議会に関すること。  
その他図書館の管理運営に関すること。

#### 【 歴 史 文 化 課 】

文化財の調査及び研究に関すること。  
文化財の保護及び保存に関すること。  
文化財の指定に関すること。  
歴史民俗博物館の管理運営に関すること。  
歴史民俗博物館の学芸事業に関すること。  
旧外川家住宅に関すること。

#### 【 教 育 研 修 所 】

教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること。  
教育関係職員の研修に関すること。  
教育に関する情報の収集、整理、保管及び活用に関すること。  
教育相談に関すること。  
前各号に掲げるもののほか、富士吉田市教育委員会が必要と認める事項

## 教育財政

### 心豊かな人を育む『教育・文化・スポーツ』の充実

令和3年度の主な事業

(単位：千円)

#### 総事業費

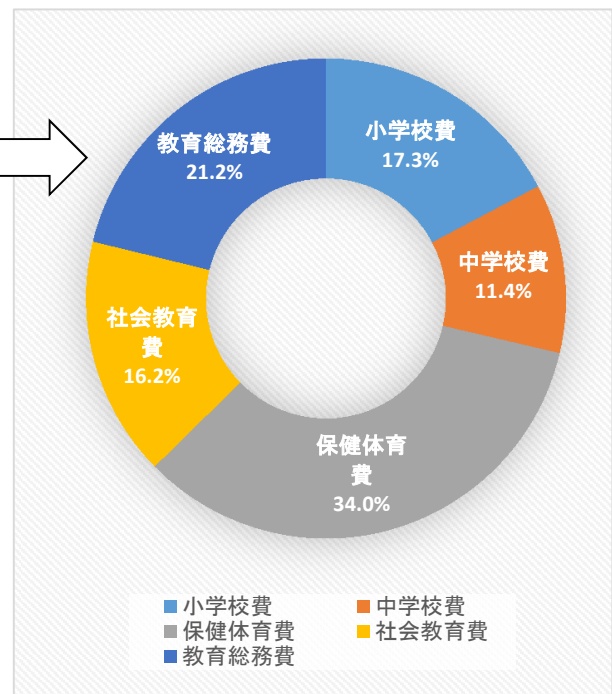
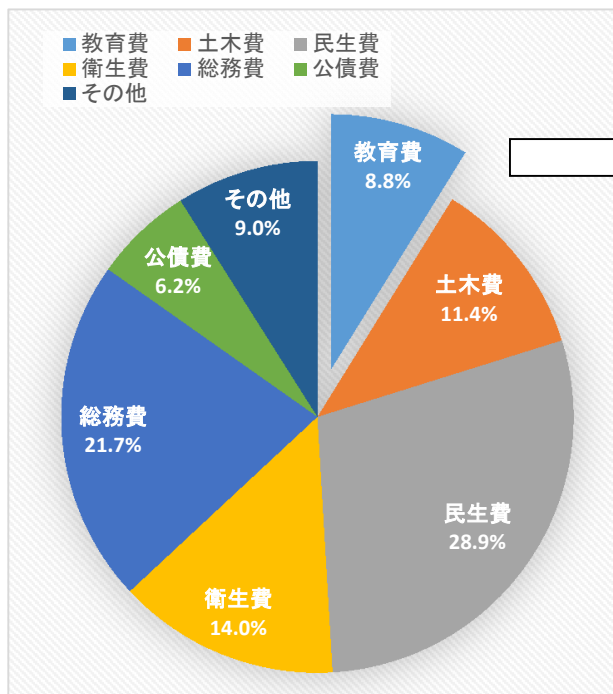
2,195,141 千円 (総務管理費を含む)

心豊かな人を育む『教育・文化・スポーツ』の充実	2,195,141
1 就学前教育	638
2 学校教育	1,385,446
3 青少年	8,924
4 生涯学習	53,720
5 文化・芸術	93,015
6 スポーツ・レクリエーション	67,075
7 一般経費（教育委員会管理事業外5事業）	79,429
8 人件費（教育委員会費外8件）	506,894

#### 【富士吉田市教育予算資料】

令和3年度 市一般会計予算 241億4,100万円

令和3年度 教育費予算 21億2,868万円



# 令和3年度 教育費予算内訳

(単位：千円)

項 目	金 額	摘 要
総務管理費	1. 市 民 会 館 費	56,059 市民会館管理運営事業
	2. 青 少 年 セ ン タ ー 費	10,393 青少年センター管理運営事業
	総 務 費 合 計	66,452

項 目	金 額	摘 要
教育総務費	1. 教 育 委 員 会 費	368,163 教育委員会管理事業、特別支援スタッフ事業他
	2. 教 育 研 修 所 費	78,082 富士山教育研究実践事業、外国語指導委託事業、教育研修所事業
	3. 充て指導主事共同設置費	1,628 富士吉田市外1市2町4村1組合充て指導主事共同設置事業
	4. ことばの教室共同設置費	3,127 富士吉田市外2町4村1組合ことばの教室共同設置事業
	5. 教育文化振興基金費	136 教育文化振興基金管理事業（羽田文庫）
	計	451,136
小学校費	1. 学 校 管 理 費	302,154 各小学校管理事業、小学校校舎等維持管理事業他
	2. 教 育 振 興 費	65,293 特色ある学校づくり事業、校外活動支援事業、教育振興事業、児童就学援助・奨励事業
	計	367,447
中学校費	1. 学 校 管 理 費	182,394 各中学校管理事業、中学校校舎等維持管理事業他
	2. 教 育 振 興 費	60,108 特色ある学校づくり事業、校外活動支援事業、教育振興事業、生徒就学援助・奨励事業
	計	242,502
社会教育費	1. 社 会 教 育 総 務 費	69,888 社会教育推進事業
	2. 生 涯 学 習 講 座 費	9,093 生涯学習講座事業
	3. 図 書 館 費	112,619 子供読書推進事業、図書館管理運営事業等
	4. 文 化 財 保 護 費	30,528 文化財保護対策事業
	5. 文 化 振 興 費	7,148 芸術文化振興事業
	6. 博 物 館 費	103,183 御師外川家住宅整備活用事業、博物館管理運営事業、博物館学芸事業
	7. 青 少 年 対 策 費	11,513 青少年教育事業、放課後子ども教室推進事業
	計	343,972
保健体育費	1. 保 健 体 育 総 務 費	32,968 スポーツ推進委員事業、スポーツ振興事業他
	2. 体 育 施 設 費	52,826 市民体育施設管理事業、公立学校体育施設一般開放事業
	3. 学 校 給 食 費	637,838 学校給食センター運営事業
	計	723,632
教育費合計		2,128,689

## < 学校教育課 >

### 1. 市内小・中学校一覧

(令和3年5月1日現在)

学 校 名	創立年月日	所 在 地	学 級 数	児 童 生徒数	職 員 数	校 長 氏 名	電 話
下吉田第一 小 学 校	明 6 . 10 . 16	新町1-8-1	7	79	14	土 屋 実	(22) 0220
下吉田第二 小 学 校	昭27. 10. 16	緑ヶ丘2-8-2	23	511	43	宮 下 敏 幸	(22) 0093
下 吉 田 東 小 学 校	昭51. 9 . 25	下吉田9-21-1	13	267	22	伊 藤 秀 一	(23) 7831
明 見 小 学 校	明 6 . 9 . 9	小明見1-4-6	16	358	25	長 田 和 司	(22) 0425
吉 田 小 学 校	明 6 . 10 . 13	上吉田5-1-1	23	584	37	堀 内 博 文	(22) 0266
吉田小学校 分 校	平13. 4 . 1	上吉田東7-11-1 富士吉田市立病院内	1	0	1	堀 内 博 文	(20) 1361
吉 田 西 小 学 校	昭53. 9 . 28	新西原3-7-1	16	297	24	齊 藤 浩 司	(24) 0305
富 士 小 学 校	昭35. 4 . 8	上暮地1-22-1	6	92	13	渡 邊 聡	(22) 3544
下 吉 田 中 学 校	昭22. 11. 7	新町4-12-27	17	459	34	堀 内 一 義	(22) 0468
明 見 中 学 校	昭22. 10. 18	小明見1-4-14	8	202	20	小 幡 浩	(22) 0184
吉 田 中 学 校	昭22. 12. 6	上吉田1-3-6	18	469	39	三 浦 雅 彦	(22) 0586
富 士 見 台 中 学 校	昭57. 10. 6	上暮地1-6-1	4	58	11	齊 藤 泰 史	(24) 0018

### 2. 小・中学校児童・生徒数及び教職員数

校 種	学校数	学級数	児童生徒数			教職員数		
			男	女	計	男	女	計
小 学 校	8	105	1, 102	1, 086	2, 188	59	120	179
中 学 校	4	47	607	581	1, 188	58	46	104
計	12	152	1, 709	1, 667	3, 376	117	166	283



### 3. 小・中学校 学級数・児童生徒数・教職員数の推移

(各年度5月1日現在)

学校名		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
下吉田第一小学校	学級数	8	7	7	7	8	8	8	7	7	7	7	7	7
	児童数	134	133	123	120	114	103	102	91	80	80	71	73	79
	職員数	14	13	12	12	13	16	16	13	13	15	14	14	14
下吉田第二小学校	学級数	21	21	21	22	23	22	22	22	21	21	22	23	23
	児童数	613	596	551	536	537	503	533	528	536	536	532	528	511
	職員数	37	37	35	35	40	43	42	40	39	41	39	41	43
下吉田東小学校	学級数	13	14	15	16	16	16	16	15	14	14	13	13	13
	児童数	362	350	352	341	326	325	321	307	294	294	295	289	267
	職員数	18	21	22	25	23	28	29	27	20	26	24	24	22
明見小学校	学級数	20	20	20	20	20	18	17	17	17	17	16	16	16
	児童数	578	563	508	479	465	439	418	398	394	394	377	379	358
	職員数	28	27	28	28	27	29	27	27	28	29	27	26	25
吉田小学校	学級数	24	24	24	24	25	23	24	24	23	24	25	25	24
	児童数	685	665	683	668	651	637	650	638	620	620	620	607	584
	職員数	36	37	38	39	38	42	43	41	37	42	39	39	38
吉田西小学校	学級数	16	15	15	15	16	16	16	16	15	15	15	15	16
	児童数	423	408	395	366	353	336	316	291	299	299	296	289	297
	職員数	23	22	24	23	27	27	30	27	21	25	26	22	24
富士小学校	学級数	8	9	11	11	9	10	10	9	7	7	7	6	6
	児童数	217	226	223	218	210	197	182	148	123	123	109	101	92
	職員数	14	15	17	19	18	21	19	15	12	13	14	12	13
小学校 合計	学級数	110	110	113	115	117	113	113	111	104	105	105	105	105
	児童数	3,012	2,941	2,835	2,728	2,656	2,540	2,522	2,400	2,346	2,346	2,300	2,266	2,188
	職員数	170	172	176	181	186	206	206	190	170	191	183	178	179
下吉田中学校	学級数	20	18	16	18	18	19	19	18	19	19	20	18	17
	生徒数	607	578	553	558	556	561	560	538	484	484	478	461	459
	職員数	41	38	35	37	36	38	43	39	40	42	41	37	34
明見中学校	学級数	13	12	11	12	12	11	11	11	11	11	10	9	8
	生徒数	389	368	358	323	301	287	265	255	227	277	221	205	202
	職員数	26	26	24	25	23	21	25	27	25	26	24	22	20
吉田中学校	学級数	20	20	20	18	17	17	17	17	17	17	18	18	18
	生徒数	665	667	652	589	553	512	527	507	473	473	467	449	469
	職員数	38	40	39	38	37	39	42	40	35	37	36	36	39
富士見台中学校	学級数	6	6	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4
	生徒数	141	142	121	117	94	93	96	86	70	70	80	66	58
	職員数	15	16	16	13	15	14	17	17	16	17	16	12	11
中学校 合計	学級数	59	56	52	53	51	52	52	51	52	52	53	50	47
	生徒数	1,802	1,755	1,684	1,587	1,504	1,453	1,448	1,386	1,254	1,254	1,246	1,181	1,188
	職員数	120	120	114	113	111	112	127	123	116	122	117	107	104

#### 4. 小・中学校施設状況等

##### 小 学 校

(単位：㎡)

学 校 名	校 地 の 現 状			校 舎 の 現 況		
	建物敷地	運動場	プール用地	校舎	屋内運動場等	プール
下吉田第一小学校	3,380	4,632	821	3,700	830	707
下吉田第二小学校	24,774	18,043	898	6,502	1,278	899
下吉田東小学校	10,505	10,970	903	3,900	952	903
明見小学校	9,569	9,464	825	5,801	961	787
吉田小学校	8,063	8,018	868	5,626	1,010	745
吉田小学校（分校）	—	—	—	40	—	—
吉田西小学校	9,335	6,460	786	4,636	972	786
富士小学校	9,032	12,667	780	4,263	868	705

##### 中 学 校

(単位：㎡)

学 校 名	校 地 の 現 状			校 舎 の 現 況		
	建物敷地	運動場	プール用地	校舎	屋内運動場等	プール
下吉田中学校	14,747	16,021	1,352	7,644	1,565	925
明見中学校	10,347	11,317	966	4,924	1,960	967
吉田中学校	10,726	9,589	997	6,274	1,654	983
富士見台中学校	7,146	10,202	756	3,018	911	757

※小規模な建物（倉庫、部室、便所等）は除く。

## ５．教職員構成

令和3年5月1日現在

区分 職名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	7	0	7	4	0	4	11	0	11
教 頭	6	3	9	8	0	8	14	3	17
教 諭	44	100	144	43	38	81	87	138	225
養 護 教 諭	0	8	8	0	4	4	0	12	12
講 師	1	2	3	1	0	1	2	2	4
栄 養 教 諭 栄 養 職 員	0	1	1	0	1	1	0	2	2
事 務 職 員	1	6	7	2	3	5	3	9	12
合 計	59	120	179	58	46	104	117	166	283

### 市費負担教職員

区分 職名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学 校 用 務 員	7	0	7	4	0	4	11	0	11
市 単 養 護 師	0	3	3	0	2	2	0	5	5
市 単 教 諭	1	8	9	4	3	7	5	11	16
特別支援教育支援員	3	21	24	0	9	9	3	30	33
学 校 図 書 司 書	0	7	7	0	4	4	0	11	11
学力向上支援スタッフ	3	8	11	3	6	9	6	14	20
スクールサポート ス タ ッ フ	(1)	4 (3)	4 (4)	(2)	1 (4)	1 (6)	(3)	5 (7)	5 (10)
合 計	14	51	65	11	25	36	25	76	101

( )内の数字は兼務している者を表す

# 6. 令和3年度学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧

(令和3年5月1日現在)

区分 校名	内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師
下吉田第一小	天野 裕久 鈴木 孝男	齋藤 克也	大戸 武久	渡辺 佑一	住吉 修一
下吉田第二小	羽田 治夫 石田 珠明 小林 智人 渡邊 佳洋	小林 寛	五十嵐 賢	羽田 敏朗 奥脇 章	住吉 修一
下吉田東小	羽田 治夫 小林 智人 宮下 智之	齋藤 克也	大戸 武久	三浦 一之	渡辺 雅人
明見小	宮下 智之 保坂 嘉之 羽田 義信 刑部 利雄	齋藤 克也	五十嵐 賢	天野 義丸 真田 丈年	守山 誠
吉田小	川村喜太郎 刑部光太郎 吉田 徹 佐 藤 満	小林 寛	五十嵐 賢	田辺 靖喜 川口 洋	壁谷 公彦
吉田西小	佐 藤 満 内藤 雄一 渡辺 憲一	小林 寛	大戸 武久	中村 英二	渡辺 雅人
富士小	米山 公造 川村喜太郎 渡 辺 洋	齋藤 克也	大戸 武久	滝口 正	土屋 貢
下吉田中	田 辺 誠 内藤 雄一 堀 内 裕 高橋 省三	齋藤 克也	五十嵐 賢	白須 弘道 渡邊 秀昭	住吉 晃一
明見中	鈴木 哲男 羽田 義信 吉田 徹	小林 寛	五十嵐 賢	大森 茂生	守山 誠
吉田中	鈴木 孝男 田 辺 誠 鈴 木 博 渡邊 佳洋 高田 健右	小林 寛	五十嵐 賢	高田 修一 渡邊 和俊	宮下 久美子
富士見台中	堀 内 裕 米山 公造	齋藤 克也	大戸 武久	希代 忠男	土屋 貢



学校名 : 富士吉田市立下吉田第一小学校  
 所在地 : 富士吉田市新町一丁目8番1号  
 TEL : 0555 (22) 0220  
 FAX : 0555 (22) 1079  
 校長 : 土屋 実 教頭 : 渡邊 ひとみ

<p>主な沿革</p>	<p>                         明治 6年10月16日 福源寺に吉田学校できる                          6年11月15日 正福寺に新倉学校できる                          7年 吉田学校は下吉田学校に改称                          8年 下吉田学校は瑞穂学校に改称                          9年 瑞穂学校、新倉学校は合併し現在地へ移る                          10年 高等小学瑞穂学校と改称                          20年 瑞穂尋常小学校と改称(4年制)                          26年 瑞穂高等小学校を併置                          41年 尋常科6年制となる                          45年 新制高等小学校第3学年を新設                          大正 7年 実業補習学校を設置                          14年 児童が増え現みずほ公園に校舎増設                          昭和 2年 瑞穂実業学校に分割                          13年 現みずほ公園に吉田高校の前身開校                          16年 下吉田国民学校と改称、緑ヶ丘第二校できる(後に下吉田第二小学校)                          21年 児童数3,613人を数える                          22年 下吉田小学校と改称(義務教育6年)                          23年 校歌制定                          27年 富士吉田市立下吉田第一小学校と改称                          下吉田第二小学校を分離                     </p>	<p>                         28年 本校徽章・バッジを制定                          48年 創立百周年記念事業举行                          51年 下吉田東小学校を分離                          52年 情緒学級(ふじっ子学級)を併設                          54年 新校舎落成                          57年 西校舎跡地「みづほ公園」を市へ移管                          平成4/5年 「特殊教育教育課程研究推進校」指定                          6年 山梨県情緒障害教育研究会総会開催                          23年 日本PTA団体表彰(文部科学大臣)                          24年 下一小学校地域安全委員会設立                          25年 下一小おもてなし宣言を県に登録                          26年 交通安全子供自転車山梨県大会                          6年生チーム準優勝                          27年 子どもの体力向上推進事業推進校指定                          学校保健推進優良校表彰                          おもてなしのやまなし知事表彰                          30年 体育館(西体育館)取り壊し                          令和2年度より特認校指定                          下吉田第一小学校地域支援協議会                          「未来へ拓く会」発足                          令和2年 「小規模特認校」初年度                          体育館倉庫増設・エアコン完備                     </p>
<p>教育目標</p>	<p>                         「明るく心豊かな子ども」の育成                          ○ よく考え、判断し、行動できる子ども                          ○ 進んで物事に取り組み、努力する子ども                          ○ 思いやりを持ち、人や物を大切にする子ども                          ○ 健康でねばり強くがんばる子ども                     </p>	
<p>学校の特色</p>	<p>教科等の名称</p>	<p>各教科、総合的な学習</p> <p>                         (1) きめ細かな指導の推進                          (2) 国際理解教育の推進                          (3) 本物にふれる「ふるさとふれあい教育」の推進                     </p>
<p>教育指定校等の研究内容</p>	<p>教育指定校等の名称</p>	<p>小規模特認校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のどこからでも入学・転入が可能</li> <li>・少人数だからことできるきめ細かな指導</li> <li>・活躍の場が多く、誰もが主人公になれる学校</li> </ul>
<p>主 研 究 題</p>	<p>                         新しい時代をきり開く児童の育成                          ～ICT機器の継続的な活用を通して～                     </p>	



富士吉田市立下吉田第二小学校

所在地：富士吉田市緑ヶ丘二丁目 8 番 2 号

T E L : 0555 (22) 0093

F A X : 0555 (22) 0074

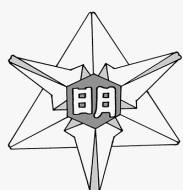
校長：宮下 敏幸 教頭：加々美 正孝 小沢 慎太郎

主な沿革	明治 6 年 吉田学校として発足 8 年 瑞穂学校として改名 20 年 瑞穂尋常小学校となる 昭和 3 年 学校創立記念日を制定 22 年 下吉田小学校となる 27 年 下吉田小学校から分離 下吉田第二小学校となる 28 年 校旗制定 42 年 校歌制定 56 年 学校創立 30 周年記念 57 年 第一棟校舎増築完成 58 年 第二棟校舎普通教室完成 59 年 第二棟特別教室完成 第一・第二グラウンド整備 平成 6 年 本校敷地に甲府養護学校吉田分校を開設する 交流(ことば)教育提携校指定 8 年 屋内プール竣工式	平成 14 年 パソコン LAN 設置工事 学校創立 50 周年記念事業 15 年 第一棟耐震・トイレ改修工事 17 年 金管バンド全国大会出場 18 年 ベルマーク 700 万点表彰 19 年 体育館完成、玄関前駐車場完成 22 年 屋内プール内壁塗装工事 23 年 光電話工事 25 年 西関東バンドフェスティバル銀賞受賞 「二宮尊徳像」再設置 26 年 二棟屋上太陽光パネル設置 27 年 二棟児童トイレ改修工事 校長室 <sup>ペ</sup> レットストーブ <sup>ブ</sup> 設置 職員室、図書室 <sup>ペ</sup> レットストーブ <sup>ブ</sup> 設置 28 年 2 棟床の修繕工事 30 年 エアコン設置工事(各教室等) 令和元年 電子黒板整備(各教室等) 2 年 新型コロナウイルス感染症による休校 3 年 一人一台タブレット導入	
	教育目標 ○学び合い、認め合い、高め合う 下二っ子 ○豊かな心を持ち、自分も仲間も大切にする 下二っ子 ○心身共に健やかな 下二っ子		
学校の特色	教科等の名称	音楽・図工・総合的な学習の時間	
	① 「主体的・対話的で深い学び」による学校づくり ② 心豊かでたくましい児童の育成を目指した教育実践 ③ 全教職員による教育相談体制 ④ 特色ある学校づくり・地域の教育力を活かした学校づくり ⑤ 健康・安全・学習環境の整備 ⑥ 今日的課題の指導技術の習得		
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称		
研究主題	指定区分		領域 全領域
	「意欲的・主体的に学ぶ児童の育成」 ～一人一台端末の活用を通して～		



学校名：富士吉田市立下吉田東小学校  
 所在地：富士吉田市下吉田九丁目 2 1 番 1 号  
 T E L : 0555 (23) 7831  
 F A X : 0555 (23) 7839  
 校 長：伊藤 秀一 教頭：岡部美登志

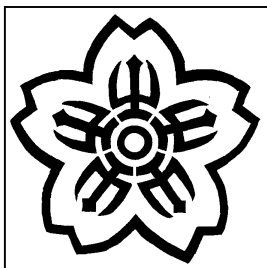
<p>主 な 沿 革</p>	<p>昭和49年 9月 校舎建設の起工式                      51年 3月 校舎落成式開校式                      53年 3月 屋内体育館竣工                      8月 プール竣工                      60年 7月 開校10年記念行事開催                      61年10月 団体花壇コンクール市内最優秀校受賞                      12月 国体花壇コンクール県奨励賞受賞                      62年11月 ふるさとづくり第5回花いっぱいコンクール奨励賞受賞                      平成 6年 4月 文部省・県教委指定「生活科教育校」                      10月 文部省・県教委指定「生活科教育推進校」公開研究会                      9年 5月 屋内プール完成・竣工式                      13年 2月 交通安全功労団体表彰受賞                      4月 山梨県ボランティア活動普及協力校指定校                      平成15年 1月 交通安全教育活動優良団体表彰受賞                      4月 県教委指定「地域を育てる環境活動推進事業」指定校                      17年 4月 「心に元気をはぐくむ道德教育推進事業」指定校                      2月 太陽光発電システム設置(市モデル事業校)                      19年 3月 エリア・サイレン設置</p>	<p>21 年 4 月 県教育委員会「やってみよう外国語活動」研究指定校                      23 年 3 月 新体育館完成・落成式                      24 年 1 月 校舎 2, 3 階転落防止用手すり設置                      25 年 7 月 防犯カメラシステム設置                      26 年 6 月 校門前進入路 白線・グリーン帯設置                      27 年 8 月 東児童トイレ改修工事完了                      28 年 4 月 県道德教育研究推進校 指定                      29 年 12 月 教材室仕切り壁設置工事                      31 年 1 月 管理棟防水塗装工事                      令和 1 年 7 月 前庭アスファルト舗装工事                      8 月 児童棟 1 年から 4 年教室、ひまわり教室 建具鍵付け工事                      7 月 モニターラック取り付け(BIG PAD)                      8 月 給食用冷蔵庫入れ替え                      11 月 階段手摺かさ上げ工事完了                      12 月 特別教室、5 年、6 年教室建具取り換え                      令和 2 年 2 月 防犯カメラ設置                      2 月 式典用立て看板作成                      3 月 エアコン設置工事完了                      令和 3 年 3 月 教室棟 3 階 English room の普通教室への改修工事</p>
<p>教 育 目 標</p>	<p>基礎学力があり、心身ともに健康で情緒に富む人間性豊かな児童の育成                      ○自ら学びよく考える子ども                      ○助けあう子ども                      ○最後までやりぬく子ども                      ○からだを大切にしている子ども</p>	
<p>学 校 の 特 色</p>	<p>教科等の名称 特別活動、総合的な学習の時間、生活科、金管バンド活動</p> <p>心の教育を補完し、学校生活をより潤いのあるものにしていけるよう、ゴミダイエットや農園・花壇の栽培、米作り体験を行う環境活動、文化活動としての金管バンドの取り組みを行い、児童の感性を豊かに育てる活動を継続的に取り組んでいる。また、豊かな心身を育てるためのボランティア活動や全校一斉に実施する朝の読書活動と体力の向上を目的とした全校スポーツタイムの取り組みを推進している。</p>	
<p>研 究 内 容</p>	<p>教育指定校等の名称</p>	
<p>研 究 主 題</p>	<p>自ら考え、ともに学び合う子どもの育成                      ～学びの楽しさを味わわせ、互いの考えを交流させるための I C T 機器の活用を通して～</p>	



学校名 富士吉田市立明見小学校  
 所在地 富士吉田市小明見一丁目4番6号  
 TEL 0555(22)0425  
 FAX 0555(22)0537  
 校長 長田 和司 教頭 堀内 ちえ

主 な 沿 革	明治 6年 大明見慈光院を仮校舎として明見学校として開校(10月)	平成 7年 屋内プール新設(3月)
	7年 小明見西方寺及び古屋万年寺を仮校舎として湖明見学校として開校10月	12年 1号館校舎改築工事完成(8月)
	8年 大明見・小明見合併により、両校合併、明見学校と称し、西方寺を仮校舎として開校(8月)	13年 2号館耐震工事(8月)
	9年 現在地に新校舎起工	14年 日本PTA優良PTA団体表彰(11月)
	10年 開校式挙行(9月)	17年 交通安全優良校全国表彰(1月)
	大正 3年 高等科に第3学年を置く(4月)	19年 優良PTA文部科学大臣賞受賞(1月)
	5年 帽章制定(11月)	20年 プール屋内壁面全塗装工事(2月)
	昭和16年 明見村立明見国民学校と改称初等科高等科、特修科を置く(4月)	文科省「学校支援地域本部事業」モデル地区として市指定(3年間)
	22年 明見村立明見小学校と改称するが町政施行にて明見町立明見小学校となる(4月～5月)	22年 勤労生産学習推進校の指定
	26年 市制施行で富士吉田市立明見小学校となる(3月)	23年 屋内運動場完成・落成式(3月)
	35年 校歌制定(9月)	25年 太陽光パネル設置(2月)
	52年 開校100周年記念式典挙行(11月)	26年 1mを越える大雪につき6日間臨時休業(2月)
	63年 文部省道徳教育推進校中間発表会開催(11月)	28年 全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会出場(2月)
	平成元年 道徳教育研究発表全国公開(10月)	山梨県数学教育研究南都留大会公開授業(11月)
		職員室、図書館「レイトストア」設置
		30年 小中合同持久走大会実施(10月)
		令和元年 初任者研修会授業実習校指定
		2年 普通教室へエアコン設置(8月)
		高速大容量ネットワーク整備
教 育 目 標	一、自分と同じようにみんなを大切にする子ども 二、人間らしい温かい心を持った子ども 三、いつも元気で明るい子ども 四、ものごとを正しく見、考え、工夫し行う子ども	
学 校 の 特 色	教科等の名称	各教科、総合的な学習、特別活動
	①児童自ら問い自ら問題解決する授業の実施 ②児童が自他のよさを認め協同して行動する学校行事、児童会活動、学級活動の実施 ③小中連携による学校行事、児童会活動の実施 ④健康づくりのための体育的活動の実施	
の 教 育 指 定 校 等	教育指定校等の名称	
研 究 主 題	指定区分	領 域
	G I G Aスクールを目指す I C T環境で学びをたのしめる児童の育成 ～児童及び教職員の I C Tスキルの向上と「わかる授業」づくり～	
	I C T活用	





学校名：富士吉田市立吉田小学校

所在地：富士吉田市上古田五丁目1番1号

T E L：0555（22）0266

F A X：0555（22）0271

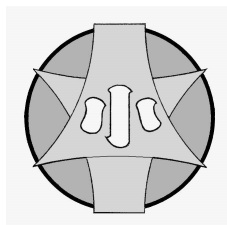
校長：堀内 博文 教頭：佐藤 尚武・小俣 善美

主な沿革	明治 6年	地蔵寺本堂を使用して上吉田学校と称す。上吉田213に新築移転。		平成 4年	校舎増築完成。	
	7年	上吉田・新屋・松山の三村合併。松山学校を併せ福地学校と称する。新屋学校は、従前どおり。		6年	屋内プール完成。	
	20年	小学校令改正。新屋学校廃止。福地尋常小学校と改称。		13年	市立病院内に分校として院内学級開設。	
	25年	小学校令改正。修業年限4ヵ年の福地尋常小学校をおく。新屋には、別に尋常小学校をおく。11月には、高等科を併設し吉田尋常小学校とする。		15年	校舎増築完成。	
	昭和10年	新屋小学校を併せ現在地に移転。		20年	早寝・早起き・朝ご飯学校賞受賞。	
	16年	吉田国民学校と改称。		22年	防犯カメラ設置	
	22年	吉田小学校と改称。		25年	新体育館完成 二宮尊徳像寄贈による再設置	
	36年	プール設置。		26年	校庭防球ネット設置	
	50年	体育館完成。		27年	太陽光パネル設置	
	63年	新校舎完成。		28年	トイレ改修	
教育目標	校訓「富士山ノ如ク 雄大尊厳ナレ。 富士山ノ如ク 確固不動ナレ。 富士山ノ如ク 純良潔白ナレ。」					
	学校教育目標		・よく考え学び合う子 ・思いやり認め合う子 ・健康できたえ合う子			
	「かしこく、やさしく、たくましい吉田っ子」					
学校の特色	教科等の名称		全人教育			
	① 創意ある教育活動の推進（学力向上，家庭学習の充実，実践的な研究など） ② 富士山教育の推進（富士山教育の日，授業の公開，吉小富士山検定など） ③ 情操教育の推進（読書活動，音楽活動，早寝・早起き・朝ご飯運動など） ④ 体力の向上と楽しい体育・スポーツ活動・食育の推進（縄跳び運動など）					
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称		学校運営協議会推進事業			
	・学校職員，保護者，学校協力者等に対する学校運営協議会の周知 ・学校運営協議会設置の趣旨やその機能，意義についての広報・啓発 ・学校運営協議会の組織や運営体制による学校経営，地域と連携した教育の実現					
研究主題	指定区分		自主研修		領 域	
					全教科	
自ら学び，自ら考え，主体的に学び合う子どもの育成 ～ICTを活用した協働学習の推進を通して～						



学校名：富士吉田市立吉田西小学校  
 所在地：富士吉田市新西原三丁目 7番1号  
 TEL：0555（24）0305  
 FAX：0555（24）0308  
 校長：齊藤 浩司 教頭：岡 稔

主 な 沿 革	昭和53年 吉田小学校の分離校として設置され、開校する。	平成12年 文部省教育課程研究指定公開研究 発表会
	昭和57年 体育館落成・プレハブ校舎3教室完成 昭和55年 増築校舎（4教室） 昭和56年 西側増築校舎完成（図工室・音楽室・普通教室2） 昭和57年 校門（正門・西門）落成 昭和60年 飼育舎（小鳥小屋）完工 バックネット工事完了 昭和62年 教室棟屋上全面防水塗装工事完了 昭和63年 体育館渡り防雪屋根設置 平成 1年 プレイルーム完成 2年 ウサギ飼育小屋完成 平成 3年 校舎東側フェンス取り付け 平成 5年 コンピュータ15台設置 平成 7年 体育用具用倉庫（1輪車）設置 パソコン教室空調設備設置 平成10年 上屋付きプール竣工 平成11年 文部省教育課程研究指定校	平成15年 校庭に大時計設置 平成16年 体育館緞帳新調 平成18年 西小の児童を守る会発足 平成19年 学校創立30周年記念式典 平成21年 太陽光発電所開設 平成22年 児童用パソコン入替え LAN工事終了 平成24年 3月・新体育館完成 平成25年 校庭スピーカー増設 平成26年 プールガラス取替車椅子用スロープ増設 平成27年 児童用パソコン入れ替え、タブレット配備 グランド北側の防球ネット完成 平成28年 学童と放課後子ども教室、特別支援教室の改修工事 平成29年 児童用トイレデザイン画完成 平成30年 ビッグパット導入 令和 元年 体育館警備機器・職員室非常通報装置設置 令和 2年 校舎内高速LAN整備、一人一台タブレット配置
教育 目 標	○自ら学び、深く考える子ども。 ○思いやりがあり、みんなと仲良くできる子ども。 ○心も身体もたくましい子ども。 考える力・伝える力・つながる力（吉西小KTT）の育成	
学 校 の 特 色	教科等の名称	全人教育
	① 確かな学力の向上(学力の定着のために月・水・金曜日「朝学習の時間」を設定し、全校体制で計画的に学習を進めている。西小スタンダードをもとに児童主体の学習を進めている。) ② 情操教育の推進(火・木曜日に「朝読書の時間」を設定し、全校一斉読書の実施と、読書の習慣化のために各家庭での「親子読書」活動を実施している。) ③ 体力の向上(業間の時間にリズム縄跳び・長縄跳び大会を、体育で西っ子体操を実施している。)	
研 究 主 題	教育指定校等の名称	
研 究 主 題	「考える力・伝える力・つながる力」の育成 ～西小スタンダードに基づいた授業づくりを通して～	



学校名：富士吉田市立富士小学校  
 所在地：富士吉田市上暮地一丁目 2 2 番 1 号  
 T E L：0555（22）3544  
 F A X：0555（22）3570  
 校長：渡邊 聡 教頭：渡邊義之

主な沿革	昭和 35 年 1 月	旧西桂町上暮地地区は富士吉田市に分町合併	平成 10 年 3 月	屋内プール用温水器の設置
	昭和 35 年 3 月	富士吉田市公民館において開校式を挙行	平成 14 年 9 月	パソコン教室のパソコン入替
	昭和 36 年 5 月	新校舎落成式、校旗制定校歌発表【学校記念日】	平成15年8月	児童棟一階絨毯張り替え
	昭和 37 年 3 月	管理棟落成	平成16年9月	保健室エアコン設置
	昭和 40 年 7 月	校門完成 給食庫完成		体育館絨帳張り替え
	昭和 41 年 7 月	プール完成	平成18年4月	平成18・19年度文科省『児童生徒の心に響く道徳教育推進事業』の指定を受ける
	昭和 44 年 11 月	『教育機器のシステム化』実験校の指定を受ける	平成18年11月	ビオトープ完成
	昭和 45 年 8 月	校地拡張 1.771 m <sup>2</sup>	平成19年4月	エリアサイレン設置
	10 月	実験学校公開	平成20年9月	富士吉田市放課後教室開設
	昭和 48 年 3 月	屋内体育館落成	平成23年3月	新体育館竣工・創立50周年記念式典
	昭和 55 年11月	体育研究公開授業	平成24年3月	太陽光発電設備完成・稼働
	昭和 59 年 5 月	新採用教員実習校	平成25年5月	勤労生産学習推進校指定
	昭和 61 年 4 月	『たくましい心を育てる』実験校の指定を受ける	平成28年8月	校舎トイレ・オープン絨絨張替
	昭和 62 年 3 月	管理棟・特別棟落成	平成29年9月	相談室拡張工事
	10 月	公開発表	平成30年7月	L A N改修工事（全教室）
昭和 63 年 4 月	普通教室棟 12 教室改築落成	平成31年3月	児童下駄箱一部撤去	
平成 7 年 3 月	パソコン教室設置	令和 1 年 7 月	大型電子黒板・タブレット導入	
	屋内プール完成及び竣工式	令和 2 年 2 月	普通教室エアコン設置	
		9 月	児童棟 1 階手洗い場設置	
		令和 3 年 2 月	1～3 年教室換気扇設置	
			一人一台タブレット導入	
			校内 L A N 設置	
教育目標	○ふれあいで育てる豊かな心 ・心をこめて、あいさつする子ども ・思いやりがあり、仲良くする子ども ・健康で、たくましい子ども		○自己を広げて育む自立の力 ・よく考えて、進んで学ぶ子ども ・ねばり強く、がんばる子ども	
学校の特色	教科等の名称	特別活動、生活科、音楽科、総合的な学習の時間 等		
	■確かな学力の育成（「やまなしスタンダード」を活用した授業改善、基礎的学力の定着） ■富士山教育の推進（世界文化遺産「富士山」に関わる歴史や自然学習への取組、地域学習への取組） ■小中連携教育の推進（上暮地地区の特徴を生かした小中合同会議や企業と連携した合同あいさつ運動の実施） ■特別支援教育の充実（専門性の向上を図るための研修会の実施、支援を要する児童の情報共有と組織的な対応）			
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称	N I E 実践指定校		
	言語活動を充実させる一つの方法として、新聞を活用できるよう環境整備を進める。その上で、児童の表現力を高めるための教材として、新聞を効果的に活用する方法について探る。			
研究主題	「主体的に考え、互いに学び合う児童の育成」 ～協働的な学びを通して、自己の考えを深める授業づくり～			



学校名：富士吉田市立下吉田中学校  
所在地：富士吉田市新町四丁目12番27号  
Tel：0555（22）0468 FAX：0555（22）0430  
校長：堀内一義 教頭：堀内竜幸 薦木宏之

主な学校の沿革	昭和22年 4月	下吉田中学校として発足	平成19年 3月	普通教室ドア修繕工事
	昭和25年11月	優良施設校として 文部大臣より表彰	平成20年 3月	桜苗木植樹（敷地内）
	昭和26年 3月	市制施行により市立下吉田中学校と校名変更	平成20年	「問題を抱える子ども等の自立支援事業」の文科省・県教委指定協力校
	昭和27年11月	校歌を制定し、発表	平成21年 6月	あじさい30本植樹（敷地内）
	昭和28年12月	木造校舎5棟完成	平成22年 3月	トイレ修繕工事
	昭和35年 4月	上暮地地区生徒、学区変更により編入	平成23年 9月	校舎屋上雨漏り修繕工事
	昭和52年 4月	本館鉄筋3階建校舎完成	平成24年10月	体育館天井修繕工事 廊下手すり設置
	昭和57年 7月	旧木造校舎撤去完了	平成25年10月	新チャイム設置
	昭和59年 3月	新体育館落成	平成27年 3月	体育館放送設備工事
	昭和60年 3月	南館鉄筋4階建校舎完成	平成27年12月	正面玄関前ロータリー舗装工事
学校教育目標	平成 3年 8月	パソコン室設備設置完了	平成28年 9月	校舎トイレ全面改修
	平成 5年 1月	李良枝コーナー設置		ペレットストーブ設置（3F教室）
	平成 6年 3月	プール解体及び跡地のグランド拡張	平成29年12月	体育館床全面修繕
	平成 6年 4月	屋内プール竣工	平成30年10月	ペレットストーブ設置（2F教室）
	平成 8年11月	創立50年記念式典挙行	平成31年 3月	体育館屋根・天井・外壁塗装工事
	平成10年 7月	本館耐震工事着工	令和元年 5月	グランド東側コンクリート塀新設
	平成13年 3月	市営住宅跡地の改修及び校庭工事完了	令和 3年 2月	生徒一人一台タブレット端末整備
	平成16・17年度	国立教育政策研究所より 生徒指導総合連携推進事業の指定		
	平成17年 9月	体育館屋根塗装工事完了		
	平成17年11月	ソフトテニスコート完成		
学校の特色	1. 自ら学び自己文化が創造できる生徒（知） 2. 情操豊かでみんなのためになる生徒（情） 3. 強い意志と実行力を持つ生徒（意） 4. 心身ともに健康で明朗な生徒（体） 校訓 「克己復礼」 一私欲にうち勝ち、礼儀をふみ行うようにすること一			
	教科等の名称	心を耕す読書活動・全校表現活動		
教育研究指定内容	1. 心を耕す読書活動の推進（心育タイムの推進） 2. 伝統である自主的活動の合唱活動の推進（合唱団活動・合唱タイムの推進） 3. 全校表現活動の推進（南中ソーラン・和太鼓演奏の推進と充実） 4. 富士山学習推進の一環としての自然環境学習の推進や地元での職場体験活動の推進 5. 環境教育推進の一環としてのリサイクル活動の推進（リサイクル日の推進） 6. 生徒の学習意欲を高める授業づくりの充実と家庭学習への支援（授業チェック表・中学生日記の活用） 7. 地域に根ざしたボランティア活動の推進（福祉ボランティア教育・地域清掃活動の推進） 8. 技術の向上と人間性の育成を目指した部活動の推進 9. Q Uやクラスルームソーシャルスキルを取り入れた学級集団づくりの推進			
	教育指定校等の名称	学校保健統計調査実施校 ボランティア活動推進協力校		
研究主題	・学校保健統計調査の実施校（文部科学省） 定期健康診断の実施結果に基づき、発育状況調査及び健康状態調査について知る。 ・ボランティア活動推進協力校（富士吉田市社会福祉協議会） 啓発活動…福祉講話集会を開催し、福祉に対して考えさせる機会とする。 体験交流活動…勸学院との合唱交流、各種募金活動を実施する。			
	指定区分	学習評価	領域	全教科
研究主題	研究テーマ：「新学習指導要領に対応した学習指導と学習評価の一体化」 ～指導方法と評価方法の具現化と実践へ向けて～			
	今年度から、中学校でも新学習指導要領が実施される。これまで研究を重ねていた新学習指導要領へ対応した指導方法と評価方法を具現化し、実践しなければならない。今年度も昨年に引き続き、「新学習指導要領に対応した（カリキュラムマネジメントの一環としての）学習指導と学習評価の一体化」について研究を行いたいと考えた。さらに、新学習指導要領の基礎的な理解を土台にして、指導方法や評価方法について、さらに理解を深めたい。			



# 富士吉田市立明見中学校

所在地：富士吉田市小明見一丁目4番14号

TEL：0555 (22) 0184

FAX：0555 (22) 0197

校長：小幡 浩 教頭：芦澤 稔也

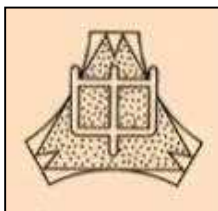
主な沿革	昭和22年 3月31日 明見中学校を開校	平成 2年 4月24日 武道場落成式
	昭和23年 5月 1日 町制施行 明見町立明見中学校となる	平成 2年11月29日 優良PTA文部大臣表彰授賞式
	昭和25年 1月16日 第一校舎（木造2階建）完成	平成 8月12月12日 創立50周年記念事業
	昭和26年 3月20日 市制施行 富士吉田市立明見中学校となる	平成 9年 5月20日 屋内プール竣工式
	昭和26年 校章制定	平成16年11月28日 文科省指定・学力向上フロンティア公開授業
	昭和30年 4月 3日 体育館兼講堂完成・校歌制定	平成17年11月27日 心に元気をはぐくむ道德教育公開授業
	昭和32年10月18日 学校創立記念日制定	平成20年12月 1日 文科省指定・学校支援地域本部事業（平成23年3月まで）
	昭和36年 5月15日 鉄筋校舎(3階6教室)完成	平成23年 7月12日 県指定学力向上 <sup>ハ</sup> イロツスクール事業（平成25年3月まで）
	昭和48年 5月30日 鉄筋校舎増築(3階6教室)完成	平成25年 9月 8日 体育館前客駐駐車場整備
	昭和55年 2月29日 新校舎完成記念式	平成26年 7月19日 トイレ全面改修
	昭和58年 3月14日 屋内体育館落成式	平成27年 2月 7日 旗掲揚ポール設置
	昭和62年 3月31日 テニスコート完成	平成28年 1月29日 体育館屋根及び外壁塗装工事
	昭和62年 4月13日 文部省推進事業・自然教室指定校	平成29年 1月31日 校門前三角地駐車場整備
	昭和63年 4月 1日 文部省・県教委指定 道德教育（学校・家庭連携）に指定	平成29年 3月24日 グラウンド照明塔改修
	平成元年10月12日 道德教育全国公开发表会	平成31年 2月17日 給食コンテナ室ドア改修
		令和 2年11月22日 受水槽改修工事
教育目標	<p>校訓に「真 善 美」を掲げ、特に生徒の自治の力を育み、生徒が主体となった学校生活を推進するため、以下の教育目標を定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心豊かで思いやりのある生徒</li> <li>・ 意欲を持って学びとる生徒</li> <li>・ 自己のあり方を見つめ、実践できる生徒</li> <li>・ 明朗でたくましく行動できる生徒</li> </ul>	
学校の特色	教科等の名称	特別活動・教科全般
	<p>豊かな人間性の育成を目指して、「文化活動の充実」を柱として特色づくりを推進し、コミュニケーション能力を育成していく。</p> <p>1 合唱活動の強化及び地域学習の推進</p> <p>2 朝読書の充実</p> <p>3 富士山学習の充実</p>	
教育指定校等の研究内容	教育指定校等の名称	指定なし
	なし	
研究主題	<p>主題</p> <p>心豊かでたくましく生きる生徒の育成 ～今日的教育課題に対応した指導の充実を目指して～</p>	



学校名：富士吉田市立吉田中学校  
 所在地：富士吉田市上吉田一丁目3番6号  
 TEL：0555（22）0586  
 FAX：0555（22）0541  
 校長：三浦 雅彦 教頭：齊藤 隆広・藤原 祐喜

主 な 沿 革	昭和22年 福地村上吉田中学校創立 吉田中学校開校 昭和23年 校舎落成 昭和26年 富士吉田市立上吉田中学校と改称 昭和29年 運動場スタンド完成 昭和37年 プール・4階校舎落成 昭和38年 校歌制定 発表会挙行 昭和44年 第1期鉄筋4階校舎落成 昭和56年 LL教室完成 昭和57年 文部省「機器利用英語教育研究」指定校 昭和59年 校庭拡張工事完成 木工・金工・図書・音楽室完成 昭和61年 屋内運動場改築完成 体育研究推進校研究公開 昭和63年 格技場・体育倉庫完成 平成 元年 校舎大改築工事着工 平成 2年 新校舎・プール温水シャワー設備完成 平成 4年 パソコン教室 和室「静思庵」完成 平成 5年 「ボランティア協力校」厚生大臣表彰 和室南庭園造園 平成 8年 屋内プール竣工 平成10年 パソコン40台入れ替え 平成12年 和室南庭園垣根修繕工事	平成15年 校舎東側耐震補強工事 平成18年 格技場畳入れ替え 階段手すり設置 平成19年 校庭入口車進入止め全面改修 平成20年 体育館照明工事 平成21年 「問題を抱える子ども等の自立支援事業」 市研究協力校 平成22年 職員室放送機器及び自動火災報知器設備 工事 平成23年 チャイム機器入替設備工事 平成24年 校内放送機器等設備工事 平成25年 優良PTA文部科学大臣表彰 平成26年 体育館外壁・屋根塗装工事 平成27年 体育館吊り天井撤去工事 ペレットストーブ設置（校長室） 平成28年 教室床塗装工事 ペレットストーブ設置（4F教室） 平成29年 トイレ改修工事 平成30年 体育館床全面塗装工事 令和 元年 1年生教室ペレットストーブ入替 令和 2年 各教室大型テレビ設置 令和 2年 日本PTA全国協議会会長表彰 令和 3年 全校一人一台PC端末導入
	<p>豊かな心，確かな知性を持ち，たくましく生きる人間の育成</p> <p>1) 自ら学び，学力を高める生徒                  2) 進んで実践し，責任を果たす生徒                  3) 助け合い，感動する心を持つ生徒                  4) たくましく，健康的な生徒                  5) 世界に目を開く生徒</p>	
学 校 の 特 色	教科等の名称	特別活動・総合的な学習
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な学習を通して，地域の生活に関わる自然や文化・歴史に目を向けるとともに，富士山との結びつきについて学習していく。</li> <li>・ 特別活動などの時間を中心に合唱活動を積極的に取り入れ，歌声の響く学校を目指す。</li> <li>・ 全校教職員・生徒による朝の10分間読書の取り組みを通して，一日の学習に向かう環境をつくるとともに，心を耕す読書に力を入れている。</li> </ul>	
の 教 育 指 定 校 等 の 研 究 主 題	教育指定校等の名称	なし
研 究 主 題	<p>自ら考え，表現し，意欲的に学ぶ生徒の育成                  ～ 主体的，対話的で深い学びを通して ～</p>	





学校名：富士見台中学校  
 所在地：富士吉田市上暮地一丁目6番1号  
 TEL：0555（24）0018  
 FAX：0555（24）0042  
 校長：齊藤 泰史 教頭：宮澤 研

主 な 沿 革	昭和 55 年 鉄筋校舎建設工事着工 56 年 中学校建設条例改正 富士見台中学校設置を決議 (10 月 6 日を学校創立記念日とする) 56 年 校歌（歌詞）、校章決定 57 年 鉄筋三階校舎完成 落成式 58 年 屋内体育館完成，プール完成 59 年 鉄棒設置（校庭） 60 年 バックネット裏スタンドとトイレ完成 62 年 体育館前 部室完成 63 年 特別教室テレビ増設工事完了 平成 元年 グラウンド排水溝完成 3 年 視聴覚教室コンピュータ設置完了 4 年 文部省指定「中学校生徒指導総合 推進校」全国公開 10 年 室内プール竣工式 テニスコート設置（旧プール跡地） 11 年 体育館屋根防水工事完成 12 年 プール外部防球網設置 14 年 音楽室FFストーブ設置工事 15 年 パソコン教室パソコン設置工事 16 年 体育館前水道設置	18 年 防犯カメラ設置 19 年 文部科学省指定「児童生徒の心に響く 道徳教育推進事業」全国公開 20 年 パソコン教室パソコン入替工事 22 年 デジタイマー及び大音量ホーン購入 23 年 液晶テレビ一式購入 24 年 屋内体育館緞帳取替・屋上防水工事 25 年 屋内体育館暗幕取替 26 年 屋内体育館外壁・屋根塗装工事 27 年 子どもの読書活動優秀実践校・文部 科学大臣表彰 校長室ペレットストーブ設置 28 年 3 年 1 組，2 年 1 組ペレットストー ブ設置 29 年 トイレ改修工事，1 年 1 組，図書館 ペレットストーブ設置 30 年 校門脇外灯設置 体育館への渡り廊下屋根塗装完了 令和元年 電子黒板・タブレット導入 2 年 NIE実践指定校〔～R3年〕 3 年 職員室照明LED化・電話拡張工事 高速LAN・一人一台タブレット導入
	自ら学び、自ら考え、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 「富士のごとく雄大尊厳なれ」 ・学習意欲を持ち、向上心あふれる生徒 ・思いやりがあり、協力できる生徒 ・規律ある行動をとれる生徒 ・自己の責任を果たせる生徒 ・心身ともにたくましい生徒 ・郷土を愛し誇りを持つ生徒	
学 校 の 特 色	教科等の名称	心の教育・学力の向上
	①生徒や地域の実態に即した教育課程の作成，実施，評価（授業研究の充実・富士山教育・読書活動・地域学習） ②基礎基本の定着と学習意欲の喚起（学力の日，全職員による家庭学習の支援，自主学タイム，授業規律の確立，ICT機器の活用） ③心の教育の充実（道徳教育の充実，小学校との連携，SCやSSWとの連携） ④積極的な生徒指導と望ましい集団づくり（全職員による指導体制，各種行事による縦割り集団づくり，親和的な人間関係のある学級集団づくり，他機関・地域・保護者との連携，日頃の生活の充実） ⑤健康安全教育の充実と体力向上（保健教育，防災・安全教育，部活動の充実） ⑥特別支援教育の充実（個の実態に応じた支援と達成感や自己肯定感が得られる支援） ⑦地域，保護者との連携（学校開放，授業参観，地域ボランティア活動，地域活動への参加協力，各種たよりによる啓発） ⑧学校環境の整備充実（修繕箇所の早期補修，美しく豊かな教育環境の整備）	
校 内 研 究 内 容	教育指定校等の名称	小中連携研究会推進校 NIE実践指定校
	① 学び合う授業の中で，自分の考えを出し合いながら，自分の考えを発展させることができるような学習活動の実践と研究。 ② 言語活動の充実を図る学習指導の実践と研究。	
主 研 究 題	「共に学び合う授業の創造」 ～思考・判断・表現力を高める言語活動の充実を通して～	

## <学校給食センター>

### 1 学校給食センターの沿革

本市の学校給食は、昭和 23 年 4 月の下吉田小学校のミルク給食から始まり、完全給食は下吉田第一小学校を対象に、同校給食調理場において、昭和 38 年 3 月に開始され、昭和 40 年 6 月までに市内 3 ヶ所に単独調理場、1 ヶ所に共同調理場が設置され市内全校へ学校給食が提供されるようになりました。

その後、児童・生徒の増加により新設学校の開設や、各調理場の老朽化を解消し、集中管理による合理化を図るため、大明見地区に最新調理機器を導入した学校給食センターを昭和 59 年 10 月に新設整備し、同年 11 月 26 日から平成 28 年 11 月 30 日まで、30 年以上稼働させて参りましたが、設備や調理機器の老朽化が著しく、また、平成 21 年に改訂された文部科学省の「学校給食衛生管理基準」を満たす給食施設を整備する必要性もありましたので、平成 28 年 11 月にドライシステムを導入した新たな学校給食センターを小明見地区に竣工し、同年 12 月 1 日より供用開始となり現在に至っております。

新たな給食センターの特徴としましては、食物アレルギーに対応した専門調理室の整備や、災害時には炊き出しの拠点としても機能することができる施設を備えたものとなっています。また、平成 28 年 11 月から、調理及び配送等の業務を民間会社に委託しており、令和元年度に公募型プロポーザル方式により、第 2 期目の委託業者の選定を行い、現在 61 名が給食センターで業務に従事しております。

### 2 学校給食センターの概要

住 所	富士吉田市小明見三丁目 6 番 1 号		
敷 地 面 積	4, 8 4 6 m <sup>2</sup>		
延 床 面 積	3, 4 9 8 m <sup>2</sup> 鉄骨造 2 階建		
調 理 能 力	一日あたり 約 5, 0 0 0 食		
現在の調理数	一日あたり 約 4, 4 0 0 食		
調 理 対 象	小学校：7 校	中学校：4 校	保育園：6 園
職 員 数	事務職員	3 名	
	栄養士（県派遣含む）	4 名	
委託業者人数	業務責任者等	3 名（副責任者・アレルギー専任者含む）	
	調理班長 外、調理員	3 6 名（パート従業員含む）	
	配送員及びボイラー担当者等	1 5 名（パート従業員含む）	
	総 計	6 1 名	
調 理 機 器	連続炊飯機、連続焼物機、連続揚げ物機、急速冷却冷凍機、真空包装機等		
洗 浄 機 器	食器（籠ごと洗浄機）・食缶、コンテナ洗浄機等		
消 毒 機 器	熱風消毒保管庫、吊天井式コンテナ消毒保管庫等		
車 両	給食配送車 7 台、ゴミ配送車 1 台（リース）		



## 給食費の変遷

(円)

年度 区分		S49～ S50	S51～ S54.9	S54.10 ～S63	H元～ H3	H4～ H24	H25～ R元
小学校	年 額	20,000	26,000	31,000	32,000	42,000	48,000
	日 額	100	130	160	170	210	240
中学校	年 額	24,000	30,000	34,000	36,000	47,000	53,000
	日 額	120	150	180	190	235	265

※令和元年10月1日から児童及び生徒の給食費を無償化

## 児童・生徒・園児数

(令和3年5月1日現在の実数)

学 校 名	学 級 数	児童・生徒・ 園 児 数	教 職 員 数	人 数 計
下 吉 田 第 一 小 学 校	6	79	20	99
下 吉 田 第 二 小 学 校	18	511	48	559
下 吉 田 東 小 学 校	11	267	24	291
明 見 小 学 校	13	358	30	388
吉 田 小 学 校	20	584	45	629
吉 田 西 小 学 校	13	297	29	326
富 士 小 学 校	6	92	15	107
小 学 校 計	87	2,188	211	2,399
下 吉 田 中 学 校	15	459	41	500
明 見 中 学 校	6	202	22	224
吉 田 中 学 校	15	469	41	510
富 士 見 台 中 学 校	3	58	16	74
中 学 校 計	39	1,188	120	1,308
第 一 保 育 園	—	73	21	94
第 二 保 育 園	—	57	17	74
第 三 保 育 園	—	82	21	103
第 四 保 育 園	—	78	22	100
第 五 保 育 園	—	57	19	76
第 六 保 育 園	—	62	20	82
マ ザ ー ズ ホ ー ム	—	9	9	18
保 育 園 計	—	418	129	547
セ ン タ ー 職 員 他			60	60
合 計		3,794	520	4,314

# 年度別平均給食回数

※各年度基本予定平均回数(回)

年度 区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小 学 校	191	192	189	190	188	190	193	193	193	193	192
中 学 校	184	185	183	182	182	184	186	187	188	186	187
給食センター	199	198	198	198	197	197	199	198	200	200	199
保 育 園	232	232	230	230	230	230	230	215	230	213	208

# 年度別総給食数

\*各年度予定食数(食) 人員は5月1日実数

年度 区分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
小 学 校	597,338	584,267	553,392	543,210	516,248	520,030
中 学 校	329,068	313,923	303,780	286,650	286,468	277,656
給食センター他	8,369	8,322	8,549	8,898	8,934	8,757
保 育 園	141,056	144,710	143,520	141,220	138,000	140,990
計	1,075,831	1,051,222	1,009,241	979,978	949,001	947,433
年度 区分	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	
小 学 校	503,344	491,185	482,307	477,096	460,608	
中 学 校	276,954	258,995	259,064	243,288	244,596	
給食センター他	12,935	12,870	11,800	12,600	11,940	
保 育 園	144,900	134,590	141,220	119,919	113,776	
計	938,133	897,640	894,391	852,903	830,920	

※ 「給食センター他」とは、給食センター職員及び、調理及び配送等業務委託事業従事者の食数を含む。

### 3 学校給食センターの運営について

#### (1) 経 費

学校給食にかかる費用は、令和元年10月1日より児童・生徒の給食費無償化に伴い、賄い材料、人件費及びその他（消耗品・光熱水費等）の運営に係る費用は、公費で負担しております。

令和3年度は、学校給食センター運営事業として、637,838,000円支出します。

#### (財 源)

3.2%	87.4%	9.4%
教職員及び従事者等負担金 19,962	市費負担 557,759	防衛施設周辺整備調整交付金 60,117

(千円)

#### (経 費)

33.9%	26.1%	8.1%	25.1%	6.8%
給食材料費 216,078	調理及び配送業委託費 166,466	その他 (光熱水費等) 51,998	給食費補助金 160,190	人件費 43,106

※R3予算ベース

(千円)

#### (2) 運 営

平成28年11月の富士吉田市学校給食センター竣工に伴い、調理及び配送等の業務を民間会社に委託（長期継続契約）することにより、運営を行っております。

人員配置等についても、弾力的な運用が可能となり、経費の削減や、給食調理及び配送業務の合理化が更に図られております。

平成28年12月の供用開始より、食物アレルギーに対する除去食の対応や、災害時の食物供給拠点としての役割、また、給食献立についても、生野菜等の提供をはじめ、「安全でおいしい給食作り」を基本とする運営体制を委託事業者と連携し構築することができ、次世代を担う子どもたちが、健やかに成長し、「食」に関する正しい知識を養うことができるよう、これからも、創意工夫を凝らした安心・安全でおいしい魅力ある給食を安定的に提供して参ります。

## <生涯学習課>

### 1 基本方針

近年は健康寿命への関心や充実した人生（時間）を送りたいというニーズが高まる中、すべての市民が生涯のあらゆる時期に、自主的に学習を進めることができるよう、生涯学習環境の整備と学習推進を図る。また、学習活動を充実するために近隣町村や民間事業者との連携、ボランティアスタッフの確保・育成に努めていく。

更に、近年余暇時間の充実や生活水準の向上により健康で生きがいのある生活を送りたいという人々が多くなっている。その影響もあり、スポーツ人口が増加し、またスポーツ内容が多様化する傾向にある中、現有体育施設の有効的な活用を図るとともに、住民のニーズに応じた各種スポーツ教室の開催、各種スポーツ大会の充実及び指導者の養成に努め、時代に即応したスポーツ振興を図る。

### 2 重 点

市民の学習ニーズに的確に対応するため、大学高等教育機関や民間教育事業者、企業の人材や学習資源を活用しながら豊かな学習機会の確保に努めるとともに、市民自身の学習意欲と自由な創意・工夫を生かした学習活動を支援促進する。また、単に学習だけでなく、その学習過程を通じて地域社会の発展、コミュニティ形成、人と人との絆や繋がりが生まれるような事業を展開することで、「住み続けたいまち ふじよしだ」の実現を図る。

#### （1）事業体制

現在、社会教育主事、社会教育指導員、青少年育成カウンセラー、スポーツ推進員等を設置し事業を展開している。

また、社会教育委員を委嘱・配置することで生涯学習事業全般に対する評価・検証等を図るなど時代のニーズに対応し得る体制となっている。さらには、各種事業に実行委員会や運営委員会を設置することで、市民目線の意見を集約することや市民自らが企画・運営等に参画できる体制整備を図っている。

#### （2）家庭教育による人づくり

市内保育園・幼稚園・小学校・中学校の親子を中心に家庭教育学級を開設している。核家族化や少子高齢化、共働き世帯の増加などにより親子が共有する時間が制限されてしまう現代社会において、子供の心身の発達・形成に重要な影響を与える家庭教育を推進する必要性は年々高まっている。さらに、ITなど情報化の発展により希薄化する人と人との直接的なつながりを充実するため家庭教育学級施策の推進を図る。

#### （3）青少年教育の学習環境づくり

多様な学習機会を提供し、地域文化の継承と創造、奉仕活動などをとおして、次代を担う青少年の健全育成に努めるとともに、よりよい学習環境づくりを行う。また、人間形成において

最も影響を受けやすい多感な時期に、生涯学習活動の中で多様な分野にチャレンジできる場を提供することで、個性豊かな人材育成につなげていく。

更に、文部科学省が奨励する小学生の放課後学習プランにおいては、余裕教室等を活用して子どもの居場所づくりを提供する「わくわく教室」を開設し、時代のニーズに対応した子育て支援・少子化対策にもつながる事業を展開する。

#### （４）生涯学習による生きがいつくり

長寿命社会となり日本人の平均寿命は男女とも 80 歳を超え、高齢者（65 歳以上）の方々への生きがいつくりは重要な施策のひとつである。山梨県は健康寿命についても日本一の地域であるが、これを維持するためにも、健康長寿課や福祉課などと連携し、集いの場の提供はもちろん高齢者による社会貢献・参画活動の支援が必要となる。生涯学習課においては、寿教室や社会学級等の生涯学習活動への積極的な参加を促進することで、教養を高めることはもちろん、高齢化社会の中でも活き活きとした元気な地域づくりを推進する。

#### （５）スポーツ振興による元気な地域づくり

市民生活が近代化・多様化することにより、スポーツへの関心・取り組みも多種多様である中、興味あるスポーツに触れ携わることができる機会・環境を創設し、市民の体力維持・向上を図るとともに、健全な青少年の育成や高齢者の健康増進につなげる。

また、市制施行以前から開催されている伝統イベントである『富士登山競走』は参加するだけでなく、イベントに携わることにより市民の富士山への愛着心を再確認するとともに、全国に向け「おもてな市富士吉田」をPRしていく。

### ３ 主たる事業計画

#### （１）生涯学習講座事業

生涯学習に係わる講演はもとより、児童中心の家庭教育学級や富士山ジュニアカレッジ、高齢者対象の寿教室、市民の学習意欲の向上を図る市民大学の開設など、幼児から高齢者まで誰もが気軽に参加できるような「生涯学習講座」の開設、推進を図る。

#### 令和３年度事業計画

講座名	対象	主な内容	期 間
家庭教育学級	市内小中学校・幼稚園・保育園の親子	親子による学習及び体験教室ほか	月１回定期教室 年１回特別教室
富士山ジュニアカレッジ	市内小中学生及び保護者	陶芸教室など全 22 教室	適時
富士の里市民大学	市民全般	健康・文化・歴史等幅広い分野の講座	月１回定期講座 年１回特別講座
中央社会学級	市民全般	絵画教室など全 9 教室	適時

地区社会学級	地区住民	教室ごとに地区で開催。 22 地区 42 教室。	適時
成人学級	糸の会・寿町・浅間町・竜ヶ丘・ 4 地区の成人 休会（新屋・小明見・向原）	地区ごとに、毎月異なる 講座を開催	6 月～2 月 毎月 1 回
寿 教 室	下吉田・上吉田・明見・上暮地・ 向原の 5 地区、65 歳以上の方	健康・運動・芸能・交通 安全などの学習講座	4 月～3 月 毎月 1 回



## （２）芸術文化活動事業

市民の文化意識を高め、心の豊かさを養うため、文化祭の開催や芸術文化活動の支援を行い、本市の芸術文化の振興発展を図る事業。令和３年度は下記の事業を計画する。

### ①第 69 回富士吉田市文化祭及び地区文化祭の開催

### ②芸術文化団体の活動支援



## （３）青少年教育活動事業

次代を担う青少年のため、青少年育成カウンセラー、社会教育指導員などの関係機関と連携し、青少年の健全育成に努める。

### ①青少年育成地域会議の開催

### ②富士吉田市青少年育成会連合会の開催

### ③ミニバス・学童野球などスポーツ大会の開催

### ④ジュニアリーダーキャンプ（南都留地区市町村合同事業）の開催

### ⑤成人祝賀式の開催



## ⑥放課後子ども教室の運営

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりが求められている。そこで、放課後や休日等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施する。

《令和3年度 わくわく子ども教室》

日 程 5月～2月 各校 週1～2回 (2ヶ月に一度土日特別教室開催)

場 所 下吉田第一小学校・富士小学校・吉田西小学校・※明見小学校

※明見小学校は1ヶ月に1回土曜日または日曜日に開催



## (4) スポーツ振興事業

### ①富士登山競走

富士登山競走は市役所を起点として、富士山頂までの21km、標高差約3,000mを走る日本一過酷と言われるマラソンレース。昭和23年から続く歴史と伝統のある大会で、国内はもとより、海外からの参加者も多くみられる大会である。

第73回富士登山競走は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、第74回大会は、参加定員の削減、参加者の2週間前からの健康チェックと当日の検温等を実施するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じ実施する。



## ②富士吉田市チャレンジデー

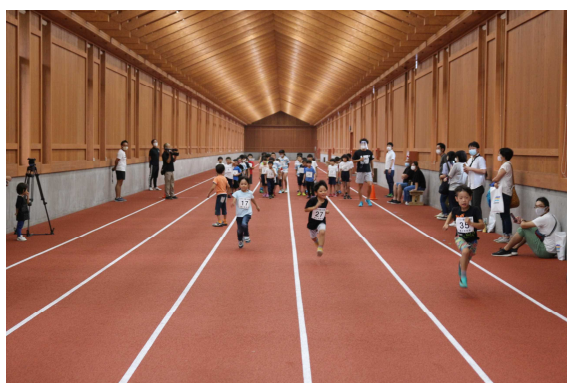
チャレンジデーは笹川スポーツ財団が主催する住民総参加型のイベントで、毎年5月の最終水曜日に、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分間以上継続して運動やスポーツをおこなった住民の「参加率(%)」を競い合う。チャレンジデーの実施を通して、スポーツ・運動に親しみ、健康への意識を高め、スポーツや運動の習慣化による健康増進と生涯スポーツ社会の実現を目指すという目的で令和元年度より実施している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、10月27日(水)に開催を予定している。



## ③トップアスリート直伝教室

スポーツをする子供たちが減少する中、トップアスリートによる指導を通して、スポーツの魅力を伝え、更なる競技力向上とスポーツ人口の拡大を目指す。また、トップアスリートのプレーを間近に見ることにより、自らがトップアスリートを目指すきっかけを作る事業として、トップアスリート直伝教室を実施している。



## ④部活動スポーツ指導者派遣

中学校の運動部活動において、競技力向上のための指導については専門的な技術が必要であるとともに、年々そのレベルが向上しています。

そこで、より専門的な技術を指導し競技力を高めるとともに、学校教育と社会体育の交流を図るため指導者を派遣する。



令和3年度派遣予定

下吉田中学校 女子ソフトボール部

明見中学校 卓球部、女子バレーボール部、

吉田中学校 ラグビー部、スケート部

富士見台中学校 女子バスケットボール部、女子ソフトテニス部

#### ⑤富士吉田市スポーツ大会出場激励金交付

スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの市民参加及び支援の促進を図るため、富士吉田市を代表してスポーツ大会に出場する個人及び団体に対して激励金を交付する。

#### (5) スポーツ推進委員事業

「富士吉田市スポーツ推進委員に関する規則」に定められた、スポーツ事業における指導及び市民のスポーツ活動の普及振興を図るという目的で、24名のスポーツ推進委員を委嘱している。

スポーツ推進委員は、各種団体の実施するスポーツイベントへの協力だけでなく、自主事業として、各小学校で体力測定や、軽スポーツなどが楽しめる健康づくり教室や、障害者を対象としたスポーツ教室（FPD教室）などを開催し、スポーツを通して市民のスポーツ活動の普及や体力向上に資する活動を行っている。また、県が主催する各種研修会等にも出席し、スポーツ推進委員としての資質向上を図っている。



## 4 所管施設

生涯学習課においては、下記の施設を所管し、安全・安心に市民の皆様等が生涯学習活動やスポーツ活動に利用できるよう管理運営を図っている。

#### 《富士五湖文化センター・市民会館》

富士五湖文化センター・富士吉田市民会館は富士北麓一帯の文化活動の拠点である。

文化情報の発信基地、市民の文化学習の場である市民会館及び文化センターを効率的な管理運営を行い、地域住民の福祉の増進、文化の向上及び地域の発展を図る。

なお、平成29～令和3年度まで指定管理者の（一財）富士吉田文化振興協会が運営している。

所在地 富士吉田市緑ヶ丘二丁目5番23号

敷地面積 10,895.58 m<sup>2</sup>

建築延面積 7,289.50 m<sup>2</sup> (図書館含む)

構造 鉄筋コンクリート建

会館棟 地上4階建

ホール棟 地上4階建

起工 平成21年7月13日

完工 平成23年3月24日

総工事費 2,829,645 千円

文化ホール 大ホール 収容定員 802 席

楽屋 4 部屋 (洋室 3 部屋・和室 1 部屋)

リハーサル室 2 室

市民会館 小ホール 収容定員 273 席 (移動観覧席 189 席)

会議室 3 室 (30 席 2 室・24 席 1 室)

市民ギャラリー 3 室 (各 30 席)

和室 2 室 (各 21 畳)



### 《富士吉田市立青少年センター》

富士吉田市立青少年センターは、雄大な富士山麓の静かな美しい自然環境の中にあって青少年やその指導者が団体で宿泊し、団体生活をしながら規律、協力、友愛及び奉仕の精神を養い、心身ともに健全な育成を図る。

なお、平成28～令和7年度まで指定管理者の特定非営利活動法人 富士北麓まちづくりネットワークが運営している。

所在地 富士吉田市上吉田 4433-1

敷地面積 13,172.00 m<sup>2</sup>

建築延面積 2,469.39 m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート

地下1階 地上2階建

施設概要 地階・レクリエーションホール

・大小浴場、シャワー、機械室

1階・第1～第3研修室 定員40名 (第3研修室にはピアノあり)

・食堂 (定員100名)

・ロビー

・事務室

2階・洋室 6室 各定員8名

・和室 (各28帖) 2室 各定員20名



・談話コーナー

### 付帯施設

・キャンプ場、キャンプファイヤー場

## 《体育施設・スポーツセンター》

鐘山スポーツセンター・笹子コミュニティスポーツ広場・みずほ公園スポーツ広場・大明見グラウンドについては、利用者の利便性を考慮したうえで、市民スポーツ・レクリエーションの活動拠点施設の整備に努め市民スポーツの振興を図る。

なお、平成 29～令和 3 年度まで指定管理者の（公財）富士吉田スポーツ協会が運営している。

### ○鐘山総合体育館

構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建
敷 地 面 積	12,987.50 m <sup>2</sup>
建 築 面 積	3,509.74 m <sup>2</sup>
延 面 積	4,688.20 m <sup>2</sup>
1 階	2,411.46 m <sup>2</sup> （アリーナ、役員選手控室、器具倉庫）
2 階	1,665.74 m <sup>2</sup> （事務室、トレーニングルーム、卓球場、スポーツ教室等）
3 階	216.00 m <sup>2</sup> （弓道場、選手控室）
利 用 種 目	バスケットボール 2 面、バレーボール 3 面、バドミントン 8 面、 ハンドボール 1 面
観 覧 席	収容人員 1,563 席
総 事 業 費	898,208,000 円
工 期	着工 昭和 54 年 10 月 竣工 昭和 56 年 3 月

### ○鐘山総合グラウンド・テニスコート

グラウンド	面積 19,493.74 m <sup>2</sup>
利 用 面 積	陸上競技（300m トラック）、野球 2 面、ソフトボール 4 面、 ラグビー 1 面、サッカー 1 面、その他
観 覧 席	収容人員 約 4,000 人
照 明 施 設	照明塔 7 基 平均照度 200 ルックス
テニスコート	面積 2,976.74 m <sup>2</sup> 全天候専用コート 4 面 照明塔 4 基
管 理 棟	鉄筋平屋建 183.6 m <sup>2</sup> （事務室、救護室、更衣室等）
総 事 業 費	456,120,000 円
工 期	着工 昭和 51 年 2 月 竣工 昭和 52 年 10 月

### ○鐘山小体育館

構 造 鉄筋鉄骨造 2 階建  
建 築 面積 962.40 m<sup>2</sup>  
1 階 619.53 m<sup>2</sup> (アリーナ、器具庫等)  
地階 342.87 m<sup>2</sup>  
総事業費 85,530,000 円  
工 期 着工 昭和 58 年 10 月 21 日 竣工 昭和 59 年 3 月 21 日

### ○笹子コミュニティスポーツ広場

総面積 4,344 m<sup>2</sup>  
スポーツ広場 (砂入り人工芝) 2,691 m<sup>2</sup>  
休憩棟 (鉄骨平屋建て) 125 m<sup>2</sup>  
コミュニティ広場 232 m<sup>2</sup>  
照明塔 3 基、 駐車場 (乗用車 11 台・駐輪場)  
工 期 着工 平成 11 年 4 月 竣工 平成 11 年 12 月

### ○みずほ公園スポーツ広場

グラウンド・コート (砂入り人工芝) 777.5 m<sup>2</sup>  
照明塔 4 基  
総事業費 27,415,500 円  
工 期 着工 平成 17 年 10 月 竣工 平成 18 年 2 月

## <図 書 館>

### 1 図書館の沿革

昭和 25 年に旧下吉田町立公民館に附属図書館として設置されたことに始まり、昭和 26 年 5 月市立図書館設置条例により下吉田 798 番地に設置、昭和 29 年 10 月下吉田 1731 番地へ移転。

昭和 45 年 12 月市民会館落成に伴い、会館 1 階に併設される。

平成 23 年 3 月にこれまでと同じ場所、緑ヶ丘二丁目 5 番 23 号に新市民会館・図書館落成。

### 2 図書館の概要

#### (1) 建物及び設備等

所在地	富士吉田市緑ヶ丘二丁目 5 番 23 号
電 話	0555-22-0706
FAX	0555-24-4831
ホームページ	<a href="http://flib.fujinet.ed.jp/">http://flib.fujinet.ed.jp/</a>
E-mail	<a href="mailto:toshokan@city.fujiyoshida.lg.jp">toshokan@city.fujiyoshida.lg.jp</a>
Wi-Fi	フリーWi-Fi 利用可能
構 造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 地上 4 階建（1・2 階が図書館）
面 積	1,629.09 m <sup>2</sup> （1 階 892.71 m <sup>2</sup> 2 階 736.38 m <sup>2</sup> ）
蔵書可能数	240,000 冊（開架 100,000 冊 閉架 140,000 冊）



外 観



## 開 架

### (2) 利用時間

○水曜日、金曜日、土曜日、日曜日、祝日

午前9時30分～午後6時00分

○火曜日、木曜日（祝日を除く）

午前9時30分～午後7時00分

※ ただし、館長が必要あると認めるときは、これを変更することができる。

### (3) 休館日

○月曜日

○年末年始（12月29日から1月3日）

○月末整理日（月末の平日）

○特別整理（年間10日以内）

※ ただし、館長が必要あると認めるときは、これを変更することができる。

### 3 蔵書と貸出の状況

分 野 別		令和2年度末蔵書		令和2年度貸出状況			令和元年度末蔵書		令和元年度貸出状況		
		蔵書数	構成比率	貸出点数	貸出比率	資料回転率	蔵書数	構成比率	貸出点数	貸出比率	資料回転率
一般書	0 総 記	5,419	2.06	4,447	1.48	82.10	5,283	2.01	4,022	1.24	76.10
	1 哲 学	7,399	2.82	8,897	2.97	120.20	7,167	2.73	9,195	2.82	128.30
	2 歴 史	13,993	5.33	10,098	3.37	72.20	13,706	5.22	15,400	4.73	112.40
	3 社会科学	24,406	9.30	15,244	5.09	62.50	24,021	9.15	16,765	5.15	69.80
	4 自然科学	11,266	4.29	12,010	4.01	106.60	10,756	4.10	11,805	3.63	109.80
	5 技 術	12,987	4.95	27,560	9.20	212.20	12,410	4.73	27,204	8.35	219.20
	6 産 業	4,563	1.74	6,030	2.01	132.10	4,852	1.85	5,317	1.63	109.60
	7 芸 術	16,935	6.45	19,197	6.41	113.40	16,399	6.25	19,503	5.99	118.90
	8 言 語	2,804	1.07	2,621	0.88	93.50	2,725	1.04	2,919	0.90	107.10
	9 文 学	61,283	23.35	50,263	16.78	82.00	60,143	22.92	51,116	15.70	85.00
	その他	1,655	0.63	1,843	0.62	111.40	1,643	0.63	1,656	0.51	100.80
	一 般 書 計	162,710	62.00	158,210	52.83	97.20	159,105	61.58	164,902	50.64	103.60
児童書	0 総 記	1,072	0.41	1,623	0.54	151.40	1,107	0.42	2,215	0.68	200.10
	1 哲 学	753	0.29	1,773	0.59	235.50	772	0.29	2,325	0.71	301.20
	2 歴 史	3,018	1.15	5,215	1.74	172.80	3,103	1.18	5,902	1.81	190.20
	3 社会科学	3,168	1.21	2,236	0.75	70.60	3,361	1.28	2,603	0.80	77.40
	4 自然科学	4,740	1.81	7,694	2.57	162.30	5,121	1.95	8,970	2.75	175.20
	5 技 術	1,868	0.71	2,890	0.96	154.70	1,980	0.75	3,093	0.95	156.20
	6 産 業	1,200	0.46	948	0.32	79.00	1,248	0.48	1,266	0.39	101.40
	7 芸 術	3,100	1.18	5,954	1.99	192.10	3,252	1.24	6,953	2.14	213.80
	8 言 語	1,191	0.45	1,200	0.40	100.80	1,165	0.44	1,711	0.53	146.90
	9 文 学	20,748	7.91	18,043	6.02	87.00	20,527	7.82	22,455	6.90	109.40
	絵 本	24,939	9.50	59,025	19.71	236.70	24,535	9.35	66,454	20.41	270.90
	紙芝居	1,426	0.54	1,847	0.62	129.50	1,381	0.53	2,568	0.79	186.00
	その他	174	0.07	16	0.01	9.20	170	0.06	18	0.01	10.60
児 童 書 計	67,397	25.68	108,464	36.22	160.90	67,722	26.21	126,533	38.86	186.80	
地域資料		7,888	3.01	1,169	0.39	14.80	7,797	2.97	1,250	0.38	16.00
図書 その他		6,903	2.63	2,036	0.68	29.50	6,619	2.52	2,017	0.62	30.50
図書資料計		244,898	93.31	269,879	90.11	110.20	241,243	93.37	294,702	90.50	122.20
雑 誌		13,113	5.00	12,062	4.03	92.00	12,901	4.99	10,467	3.21	81.10
視聴覚資料	C D	3,221	1.23	7,732	2.58	240.00	3,066	1.19	9,515	2.92	310.30
	ビ デ オ	23	0.01	0	0.00	0.00	23	0.01	0	0.00	0.00
	生涯学習	58	0.02	0	0.00	0.00	58	0.02	0	0.00	0.00
	D V D	1,087	0.41	9,809	3.28	902.40	1,041	0.40	10,956	3.37	1,052.40
	AVその他	43	0.02	7	0.00	16.30	43	0.02	2	0.00	4.70
視聴覚 合計		4,432	1.69	17,548	5.86	395.90	4,231	1.64	20,473	6.29	483.90
資 料 合 計		262,443	100.00	299,489	100.00	114.10	258,375	100.00	325,642	100.00	126.00

分野別	令和2年度末蔵書		令和2年度貸出状況			令和元年度末蔵書		令和元年度貸出状況		
	蔵書数	構成比率	貸出点数	貸出比率	資料回転率	蔵書数	構成比率	貸出点数	貸出比率	資料回転率
一 般 書	162,710	62.00	158,210	52.83	97.2	159,105	61.58	164,902	50.64	103.6
児 童 書	67,397	25.68	108,464	36.22	160.9	67,722	26.21	126,533	38.86	186.8
地域資料等	14,791	5.64	3,205	1.07	21.7	14,416	5.58	3,267	1.00	22.7
図書資料計	244,898	93.31	269,879	90.11	110.2	241,243	93.37	294,702	90.50	122.2
雑 誌	13,113	5.00	12,062	4.03	92.0	12,901	4.99	10,467	3.21	81.1
録音資料	3,221	1.23	7,732	2.58	240.0	3,066	1.19	9,515	2.92	310.3
映像資料	1,211	0.46	9,816	3.28	810.6	1,165	0.45	10,958	3.37	940.6
視聴覚資料計	4,432	1.69	17,548	5.86	395.9	4,231	1.64	20,473	6.29	483.9
資料合計	262,443	100.00	299,489	100.00	114.1	258,375	100.00	325,642	100.00	126.0

※ 構成比率＝分野蔵書数÷蔵書合計 ・ 貸出比率＝分野貸出点数÷貸出点数合計 ・ 資料回転率＝貸出点数÷蔵書数



## 4 図書館利用者の状況

### 年齢別貸出状況

		令和2年度		令和元年度比較(%)		平成25年度比較(%)		平成20年度比較(%)		令和元年度		平成25年度		平成20年度	
		貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出冊数
幼児 (0から6)	男	696	5,004	▲17.3	4.9	478	92.6	92.3	118.2	842	4,769	471	2,598	362	2,293
	女	759	5,143	4.6	27.3	91.2	109.5	37.3	49.9	726	4,041	397	2,455	553	3,430
	不明	2	4	—	—	—	—	—	—	11	59	3	10	0	0
	計	1,457	10,151	▲7.7	14.5	67.3	100.5	59.2	77.4	1,579	8,869	871	5,063	915	5,723
小学生 (7から12)	男	1,798	9,353	4.6	5.1	▲8.6	▲5.4	1.2	▲1.1	1,719	8,899	1,968	9,885	1,777	9,455
	女	1,958	12,472	▲34.6	▲26.4	▲44.4	▲38.4	▲27.6	▲19.8	2,993	16,943	3,521	20,241	2,706	15,558
	不明	5	22	—	—	—	—	—	—	12	61	3	14	1	3
	計	3,761	21,847	▲20.4	▲15.7	▲31.5	▲27.5	▲16.1	▲12.7	4,724	25,903	5,492	30,140	4,484	25,016
中学生 (13から15)	男	177	1,180	▲55.8	▲27.8	▲66.0	▲50.1	▲77.2	▲56.9	400	1,634	521	2,363	776	2,736
	女	391	2,170	▲38.1	▲36.2	▲56.9	▲45.6	▲59.4	▲49.8	632	3,401	908	3,988	962	4,325
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	6	37	2	6	0	0
	計	568	3,350	▲45.3	▲34.0	▲60.3	▲47.3	▲67.3	▲52.6	1,038	5,072	1,431	6,357	1,738	7,061
高校生 (16から18)	男	123	661	▲50.4	▲19.8	▲69.6	▲42.5	▲72.7	▲59.5	248	824	405	1,150	451	1,633
	女	282	2,148	▲43.3	21.2	▲54.2	23.7	▲61.8	▲21.7	497	1,773	615	1,737	739	2,742
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	1	4	0	0
	計	405	2,809	▲45.6	8.2	▲60.3	▲2.8	▲66.0	▲35.8	745	2,597	1,021	2,891	1,190	4,375
大学生 (19から22)	男	195	594	57.3	34.1	▲37.1	▲51.5	▲24.7	▲42.4	124	443	310	1,224	259	1,032
	女	443	1,758	▲14.8	▲11.0	▲58.4	▲67.7	▲30.8	▲42.8	520	1,975	1,065	5,439	640	3,075
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	1	3	0	0
	計	638	2,352	▲0.9	▲2.7	▲53.6	▲64.7	▲29.0	▲42.7	644	2,418	1,376	6,666	899	4,107
20代 (23から29)	男	218	858	▲45.4	▲35.5	▲66.2	▲62.8	▲74.3	▲73.0	399	1,330	645	2,305	848	3,173
	女	1,385	6,830	▲13.6	1.5	▲52.9	▲45.4	▲46.5	▲48.3	1,602	6,731	2,943	12,512	2,587	13,198
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	4	16	0	0	0	0
	計	1,603	7,688	▲20.1	▲4.8	▲55.3	▲48.1	▲53.3	▲53.0	2,005	8,077	3,588	14,817	3,435	16,371
30代 (30から39)	男	1,271	6,668	▲26.5	▲12.7	▲40.7	▲36.5	▲45.7	▲34.0	1,728	7,639	2,144	10,496	2,340	10,100
	女	6,328	37,653	▲26.8	▲19.1	▲39.9	▲41.8	▲55.1	▲54.9	8,640	46,567	10,537	64,698	14,103	83,396
	不明	3	34	—	—	—	—	—	—	2	8	7	42	3	10
	計	7,602	44,355	▲26.7	▲18.2	▲40.1	▲41.1	▲53.8	▲52.6	10,370	54,214	12,688	75,236	16,446	93,506
40代 (40から49)	男	2,441	13,168	▲6.4	0.4	▲34.3	▲19.0	▲27.4	▲12.9	2,608	13,110	3,717	16,253	3,364	15,120
	女	9,435	53,721	▲14.2	▲6.3	▲26.5	▲22.1	▲3.6	5.8	10,991	57,332	12,833	68,992	9,785	50,795
	不明	1	5	—	—	—	—	—	—	3	7	2	5	1	4
	計	11,877	66,894	▲12.7	▲5.1	▲28.2	▲21.5	▲9.7	1.5	13,602	70,449	16,552	85,250	13,150	65,919
50代 (50から59)	男	2,497	10,372	▲15.9	▲5.5	▲35.3	▲27.7	▲39.8	▲36.4	2,970	10,975	3,862	14,354	4,150	16,299
	女	5,731	27,058	▲10.9	▲5.9	▲6.5	▲3.1	34.3	40.4	6,431	28,756	6,126	27,932	4,268	19,266
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	1	4	1	2	0	0
	計	8,228	37,430	▲12.5	▲5.8	▲17.6	▲11.5	▲2.3	5.2	9,402	39,735	9,989	42,288	8,418	35,565
60代 (60から69)	男	3,823	15,974	▲22.7	▲13.0	▲18.7	0.9	42.0	77.5	4,947	18,358	4,703	15,831	2,693	8,999
	女	6,053	27,313	▲11.1	▲6.2	9.2	19.9	179.1	228.9	6,809	29,106	5,544	22,784	2,169	8,305
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	18	41	10	28	0	0
	計	9,876	43,287	▲16.1	▲8.9	▲3.7	12.0	103.1	150.2	11,774	47,505	10,257	38,643	4,862	17,304
70代 (70から79)	男	3,923	14,851	▲14.6	▲1.3	23.4	48.3	104.2	141.9	4,591	15,050	3,178	10,016	1,921	6,140
	女	3,420	14,355	▲5.5	8.2	57.5	94.1	452.5	544.9	3,618	13,263	2,171	7,394	619	2,226
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
	計	7,343	29,206	▲10.6	3.2	37.3	67.8	189.1	249.1	8,209	28,313	5,349	17,410	2,540	8,366
80歳以上	男	833	3,237	▲28.4	▲7.5	▲7.4	3.8	262.2	314.5	1,164	3,500	900	3,119	230	781
	女	556	2,552	▲11.0	20.3	118.0	264.1	461.6	618.9	625	2,121	255	701	99	355
	不明	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0
	計	1,389	5,789	▲22.4	3.0	20.3	51.5	322.2	409.6	1,789	5,621	1,155	3,820	329	1,136
年齢不明	男	12	33	20.0	6.5	1100.0	3200.0	0.0	▲34.0	10	31	1	1	12	50
	女	11	58	▲35.3	16.0	266.7	346.2	175.0	866.7	17	50	3	13	4	6
	不明	19	98	—	—	—	—	—	—	35	132	5	25	21	81
	計	42	189	▲32.3	▲11.3	366.7	384.6	13.5	38.0	62	213	9	39	37	137
個人合計	男	18,007	81,953	▲17.2	▲5.3	▲21.1	▲8.5	▲6.1	5.3	21,750	86,562	22,825	89,595	19,183	77,811
	女	36,752	193,231	▲16.7	▲8.9	▲21.7	▲19.1	▲6.3	▲6.5	44,101	212,059	46,918	238,886	39,234	206,677
	不明	30	163	—	—	—	—	—	—	92	365	35	139	26	98
	計	54,789	275,347	▲16.9	▲7.9	▲21.5	▲16.2	▲6.3	▲3.3	65,943	298,986	69,778	328,620	58,443	284,586
団体		1,008	23,290	▲32.3	▲9.6	▲27.8	17.8	▲5.4	50.3	1,489	25,761	1,396	19,779	1,066	15,498
協力		706	852	▲2.1	▲4.8	6.2	4.2	2.9	▲10.8	721	895	665	818	686	955
合計		56,503	299,489	▲17.1	▲8.0	▲21.4	▲14.2	▲6.1	▲0.5	68,153	325,642	71,839	349,217	60,195	301,039

		令和2年度		令和元年度比較		25年度比較		20年度比較		令和元年度		平成25年度		平成20年度	
		貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数
幼児		1,457	10,151	▲7.7	14.5	67.3	100.5	59.2	77.4	1,579	8,869	871	5,063	915	5,723
小学生		3,761	21,847	▲20.4	▲15.7	▲31.5	▲27.5	▲16.1	▲12.7	4,724	25,903	5,492	30,140	4,484	25,016
中学生		568	3,350	▲45.3	▲34.0	▲60.3	▲47.3	▲67.3	▲52.6	1,038	5,072	1,431	6,357	1,738	7,061
高校生		405	2,809	▲45.6	8.2	▲60.3	▲2.8	▲66.0	▲35.8	745	2,597	1,021	2,891	1,190	4,375
大学生		638	2,352	▲0.9	▲2.7	▲53.6	▲64.7	▲29.0	▲42.7	644	2,418	1,376	6,666	899	4,107
20代		1,603	7,688	▲20.1	▲4.8	▲55.3	▲48.1	▲53.3	▲53.0	2,005	8,077	3,588	14,817	3,435	16,371
30代		7,602	44,355	▲26.7	▲18.2	▲40.1	▲41.1	▲53.8	▲52.6	10,370	54,214	12,688	75,236	16,446	93,506
40代		11,877	66,894	▲12.7	▲5.1	▲28.2	▲21.5	▲9.7	1.5	13,602	70,449	16,552	85,250	13,150	65,919
50代		8,228	37,430	▲12.5	▲5.8	▲17.6	▲11.5	▲2.3	5.2	9,402	39,735	9,989	42,288	8,418	35,565
60代		9,876	43,287	▲16.1	▲8.9	▲3.7	12.0	103.1	150.2	11,774	47,505	10,257	38,643	4,862	17,304
70代		7,343	29,206	▲10.6	3.2	37.3	67.8	189.1	249.1	8,209	28,313	5,349	17,410	2,540	8,366
80歳以上		1,389	5,789	▲22.4	3.0	20.3	51.5	322.2	409.6	1,789	5,621	1,155	3,820	329	1,136
年齢不明計		42	189	▲32.3	▲11.3	366.7	384.6	13.5	38.0	62	213	9	39	37	137
個人合計		54,789	275,347	▲16.9	▲7.9	▲21.5	▲16.2	▲6.3	▲3.3	65,943	298,986	69,778	328,620	58,443	284,586



地区別貸出状況

個人貸出		令和2年度		令和元年度比較(%)		25年度比較(%)		20年度比較(%)		令和元年度		平成25年度		平成20年度	
		貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数	貸出者数	貸出点数
	上暮地	2,287	9,653	▲ 21.9	▲ 17.7	▲ 28.4	▲ 36.9	▲ 23.7	▲ 44.3	2,928	11,731	3,194	15,302	2,998	17,336
	明 見	4,921	23,592	▲ 18.9	▲ 8.3	▲ 21.6	▲ 18.3	▲ 0.3	▲ 7.7	6,068	25,729	6,278	28,872	4,935	25,559
	下吉田	20,717	97,956	▲ 27.9	▲ 21.2	▲ 24.5	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 17.8	28,735	124,249	27,423	117,887	25,708	119,167
	上吉田	13,642	68,003	3.7	7.7	▲ 34.8	▲ 35.0	▲ 20.6	▲ 21.6	13,157	63,161	20,910	104,569	17,186	86,727
	地区不明	7	21	▲ 50.0	▲ 73.1	600.0	950.0	-	-	14	78	1	2	0	0
	計	41,574	199,225	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 28.1	▲ 25.3	▲ 18.2	▲ 19.9	50,902	224,948	57,806	266,632	50,827	248,789
郡内市町村	富士河口湖町	5,304	29,545	▲ 16.1	▲ 5.7	19.5	25.9	92.7	124.9	6,325	31,324	4,438	23,469	2,752	13,140
	西桂町	1,753	10,846	▲ 21.4	▲ 4.8	▲ 11.1	10.1	▲ 0.4	38.5	2,229	11,387	1,972	9,854	1,761	7,831
	忍野村	1,770	9,451	14.5	24.2	16.1	15.3	83.6	73.2	1,546	7,612	1,525	8,194	964	5,457
	山中湖村	521	2,519	▲ 24.5	▲ 5.7	▲ 27.5	▲ 8.1	▲ 7.5	7.7	690	2,672	719	2,740	563	2,338
	鳴沢村	598	4,724	13.7	80.4	0.0	72.3	64.3	237.7	526	2,618	598	2,742	364	1,399
	道志村	46	351	119.1	258.2	48.4	93.9	▲ 53.5	▲ 12.0	21	98	31	181	99	399
	都留市	1,808	10,682	▲ 16.1	▲ 3.2	▲ 10.9	▲ 8.0	201.8	249.7	2,156	11,039	2,028	11,610	599	3,055
	大月市	152	728	▲ 37.5	▲ 37.2	117.1	139.5	49.0	103.4	243	1,160	70	304	102	358
	上野原市	3	10	▲ 57.1	▲ 74.4	▲ 50.0	▲ 65.5	50.0	11.1	7	39	6	29	2	9
	計	11,955	68,856	▲ 13.0	1.3	5.0	16.5	65.9	102.6	13,743	67,949	11,387	59,123	7,206	33,986
山梨県内市	甲府市	258	1,278	▲ 35.5	▲ 28.4	97.0	78.7	448.9	214.8	400	1,785	131	715	47	406
	韮崎市	1	5	▲ 88.9	▲ 87.8	▲ 80.0	▲ 58.3	▲ 83.3	▲ 80.0	9	41	5	12	6	25
	山梨市	2	14	▲ 94.4	▲ 93.6	▲ 33.3	0.0	▲ 71.4	55.6	36	219	3	14	7	9
	甲斐市	27	115	92.9	15.0	170.0	167.4	1250.0	1050.0	14	100	10	43	2	10
	笛吹市	78	222	36.8	5.2	609.1	1205.9	160.0	101.8	57	211	11	17	30	110
	北杜市	0	0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	-	-	1	6	5	24	0	0
	甲州市	40	214	233.3	303.8	53.9	311.5	3900.0	10600.0	12	53	26	52	1	2
	中央市	4	32	▲ 33.3	3.2	▲ 42.9	14.3	100.0	966.7	6	31	7	28	2	3
	南アルプス市	6	23	▲ 33.3	4.6	▲ 62.5	▲ 72.3	50.0	▲ 17.9	9	22	16	83	4	28
	市計	416	1,903	▲ 23.5	▲ 22.9	94.4	92.6	320.2	220.9	544	2,468	214	988	99	593
県内(町村)		2	9	▲ 88.2	▲ 89.0	0.0	125.0	▲ 96.5	▲ 95.0	17	82	2	4	57	180
県外		673	4,482	39.3	87.6	134.5	213.9	351.7	545.8	483	2,389	287	1,428	149	694
不明		169	872	▲ 33.5	▲ 24.2	106.1	96.0	61.0	153.5	254	1,150	82	445	105	344
合計		54,789	275,347	▲ 16.9	▲ 7.9	▲ 21.5	▲ 16.2	▲ 6.3	▲ 3.3	65,943	298,986	69,778	328,620	58,443	284,586
団体		1,008	23,290	▲ 32.3	▲ 9.6	▲ 27.8	17.8	▲ 5.4	50.3	1,489	25,761	1,396	19,779	1,066	15,498
協力		706	852	▲ 2.1	▲ 4.8	6.2	4.2	2.9	▲ 10.8	721	895	665	818	686	955
総合計		56,503	299,489	▲ 17.1	▲ 8.0	▲ 21.4	▲ 14.2	▲ 6.1	▲ 0.5	68,153	325,642	71,839	349,217	60,195	301,039

## 5 利用と蔵書の状況（まとめ）

### 利用状況

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開館日	267	283	283
貸出者数	56,503	68,153	69,733
資料予約数	27,986	20,183	18,710
図書貸出数	245,784	268,241	273,987
雑誌貸出数	12,037	10,327	11,840
視聴覚資料貸出数	17,526	20,418	23,714
個人貸出数計	275,347	298,986	309,541
団体・相互貸借	24,142	26,656	26,871
貸出合計	299,489	325,642	336,412

### 蔵書状況

資料の状況	令和2年度	令和元年度	平成30年度
図書	244,898	241,243	236,729
雑誌	13,113	12,901	12,715
視聴覚	4,432	4,231	4,075
資料点数	262,443	258,375	253,519

## 6 実施事業

### (1) 羽田ブックプレゼント事業

発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、その読書活動を広げ読書体験を深めるような機会を提供するため、出生時（4ヶ月健診時、ファーストブック）、小学校入学時（セカンドブック）、中学校入学時（サードブック）をプレゼント（事業原資として教育文化振興基金（羽田辰男氏からの寄附金）を使用）している

#### i) ファーストブック（ブックスタート）

年度	人数
令和2年度	383人
令和元年度	316人
平成30年度	332人

#### ii) セカンドブック

年度	人数
令和2年度	369人
令和元年度	368人
平成30年度	359人

#### iii) サードブック

年度	人数
令和2年度	433人
令和元年度	414人
平成30年度	407人

## (2) 図書館でのおはなし会

図書館員とボランティアグループ「このはなさくや」による読み聞かせ

### a ちいさいおはなし会

毎週木曜日10時30分より 対象：乳幼児から未就園児

	回数	参加人数	1回平均
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
令和元年度	44	1,838	41.8
平成30年度	47	2,132	45.4

### b 英語おはなし会

毎月第3火曜日10時30分より 対象：乳幼児から未就園児

	回数	参加人数	1回平均
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
令和元年度	10	154	15.4
平成30年度	11	200	18.2

### c おはなし会

毎月第2・4土曜日14時より 対象：幼児から小学校低学年

	回数	参加人数	1回平均
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
令和元年度	19	496	26.1
平成30年度	23	447	19.4

### d 大人のためのおはなし会

年4回午前10時より

	回数	参加人数	1回平均
令和2年度	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
令和元年度	4	94	23.5
平成30年度	4	32	8.0

## (3) 出前おはなし会

### a このはなさくや（ボランティア）によるおはなし会

	令和2年度		令和元年度		平成31年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
下吉田第一小学校			4	45	2	26
下吉田第二小学校			19	533	18	533
下吉田東小学校			2	44	2	62
吉田小学校			2	56	3	100
吉田西小学校	6	138	2	53	4	97
明見小学校			8	245	14	371
富士小学校			4	78	6	102
市内保育園	6	191				
第4保育園						
第6保育園					1	82
小さき花幼稚園						
合計	12	329	41	1,054	50	1,373

b 図書館員とこのはなさくやによるおはなし会

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
下吉田第一小学校			2	24		
下吉田第二小学校			14	392	18	529
下吉田東小学校			3	82	8	186
吉田小学校			8	235	6	216
吉田西小学校	6	143	4	105	4	99
明見小学校			14	379	5	130
富士小学校			8	138	12	273
ふじざくら支援学校	1	29			1	17
市内保育園			1	74		
愛地宿					1	33
小さき花幼稚園			1	90	2	52
子育て支援センター			10	235	13	329
馬の祭り（下浅間）			1	37	1	65
御師の家	1	29	1	63	1	54
富士山マーケット			1	30	1	40
上暮地子どもまつり			1	18	2	70
フジQキッズガーデン						
グループホームうらら					1	36
合計	8	201	69	1,902	76	2,129

c 図書館員によるおはなし会

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
下吉田第一小学校					4	52
下吉田第二小学校			5	140		
下吉田東小学校						
吉田小学校	3	84				
吉田西小学校					4	95
明見小学校			2	66	11	283
富士小学校	3	47	4	64		
市内保育園			1	24	2	112
聖徳幼稚園	2	166				
小さき花幼稚園					1	80
放課後児童クラブ			4	103	2	90
子育て支援センター			1	37	2	204
フジQキッズガーデン					1	50
県立盲学校			1	18		
市内高齢者施設	1	15				
合計	9	312	18	452	27	966

#### (4) イベント

タイトル	内 容	回数	参加人数
コロナにマケルナ！ウチカツプロジェクト	CATV富士五湖にて図書館イベント放送 落語・お化け屋敷・おはなし会	—	—
オンラインおじヨガ	オンラインヨガ教室	20	214
オンラインお産学校	助産師によるオンラインお産講座	4	41
オンラインベビーマッサージ	助産師によるオンラインベビーマッサージ講座	3	38
広報掲載特別企画	広報図書館のページでまちがいさがし等	6	1,678
ハタオリマチのトショカン feel project	地域おこし協力隊による公開制作 ワークショップ等	3	105
工作教室	スイカの貯金箱・ペットボトル水族館	4	52
ハーバリウムボールペンを作ろう！	ハーバリウムボールペン作成	3	46
なりきり展覧会	職員が名画になりきった写真を展示	1	543
ふじのわコラボイベント	ダウン症の方によるダンス&ドラム披露	1	50
消防署コラボイベント	現役消防士が作成した絵本の読み聞かせ 消防士や消防車と触れ合う	2	68
本草で作ろう！チャーム&ブレス	本草でチャームとブレスレットを作成	2	29
年賀状をおくろう！	鏡餅型の年賀状作成	2	28
高校生の今	富士北稜高校美術部展	1	—
切り絵でめぐる二十四節気	田辺弥生さんの切り絵展	1	—
THE 似顔絵	富士北稜高校美術部による似顔絵描き	2	106
オリジナルカードを作ろう！	図書館オリジナルカード作成	1	17
こども会	人形劇「かさじぞう」	1	58
合計		57	3,073

#### 図書館YouTubeチャンネル

タイトル	内 容
ワクワクに出会える場所 それが富士吉田市立図書館！	図書館と図書館スタッフ紹介
図書館司書殺人事件	犯人捜し（事件編・解決編あり）
BOOK OF THE DEAD	ゾンビが出てくるショートホラー映画
ファンキー姉妹が行く！ 「なりきり展覧会」	既存イベント「なりきり展覧会」の撮影秘話等も見れる 動画型イベント
Worst Christmas	謎解き（事件編・解決編あり）
CHICA.A ×富士吉田市立図書館	冊子「BOOK YOGA」宣伝動画
FCL FIRE WORKS FESTIVAL！	蛍光塗料を塗った部品を使用し コマ撮りで撮影した花火大会

(5) 図書館見学等

a 図書館見学

	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
下吉田第一小学校	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		1	16	1	13
下吉田第二小学校			1	20	1	18
ふじざくら支援学校			1	15		
放課後児童クラブ			2	80		
合計			5	131	2	31

b 職場体験

延べ人数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
下吉田中学校			6
吉田中学校		16	26
明中		6	
富士見台中学校		2	2
富士河口湖北中学校		1	
西桂中学校	2	4	4
浅川中学校		1	
富士北稜高校		9	12
合計	2	39	50

(6) 健康長寿課との連携事業

a ファーストブック（ブックスタート）  
4ヶ月健診会場にて

	回数	参加人数	対象者	配布率
令和2年度	17	383	384	99.7
令和元年度	15	316	355	89.0
平成30年度	18	332	358	92.7

b 2歳児歯とこころの相談  
2歳児健診会場にてミニおはなし会

	回数	参加人数	1回平均
令和2年度	コロナウィルスにより中止		
令和元年度	16	596	37.3
平成30年度	18	683	37.9

(7) 放課後児童クラブとの連携事業

団体貸出実績

団体名	あおぞら	おひさま	おひさま2	おひさま3	かぜのこ	かぜのこ2	すみれ	すみれ2	たけのこ
開設場所	松山会館	竜ヶ丘会館	下二小	旧麓の家	明小	明小	富士見町会館	消防会館	下一小
令和2年度	1,159	1,200	1,074	763	1,123	931	1,208	1,412	1,194
令和元年度	1,132	1,203	1,133	100	754	1,302	1,044	1,294	1,297
平成30年度	718	1,300	1,112	-	743	1,102	1,183	1,136	1,098

団体名	つくしんぼ	どんぐり	ひまわり	めだか	めだか2	やまのこ	やまのこ2	合計
開設場所	寿団地	下コミ	西小	吉小	上コミ	市民ふれあいC	市民ふれあいC	
令和2年度	938	995	1,278	1,302	271	1,101	795	16,744
令和元年度	1,023	1,030	753	1,200	353	1,095	905	15,618
平成30年度	1,010	1,191	368	1,199	376	1,183	1,052	14,771

## (8) 学校図書館との連携事業

アカゲラ号の運行（毎週水曜日、依頼のあった学校へ配本）

団体貸出実績

学校名	下一小	下二小	東小	吉小	西小	明小	富士小	小学校計
令和2年度	8	1,392	265	196	80	288	126	2,355
令和元年度	10	1,295	637	14	305	850	743	3,854
平成30年度	2	805	553	165	399	629	665	3,218

学校名	下中	吉中	明中	富台中	中学校計	合計
令和2年度	22	0	117	357	496	2,851
令和元年度	5	3	2	88	98	98
平成30年度	12	30	49	85	176	4,030

## (9) 近隣図書館との相互協力

近隣図書館との相互貸借について平成18年より各館の持ち回りによる週1回の巡回

	貸出数				借入数			
	富士河口湖町	忍野村	山中湖村	計	富士河口湖町	忍野村	山中湖村	計
令和2年度	139	11	62	212	310	88	31	429
令和元年度	169	38	91	298	201	100	43	344
平成30年度	163	27	77	267	127	68	20	215

## 7 図書館協議会

任期は令和2年4月1日から令和4年3月31日

開催日	出席者数	議事
新型コロナウイルス感染拡大のため中止		

## <歴史文化課>

歴史文化課の事業内容は、大きく分けると文化財保護事業と博物館事業（ふじさんミュージアム・旧外川家住宅）である。

### 1 基本方針

文化財は、本市の成り立ちや個性を端的に示す有形無形の貴重な財産であり、今の時代を生きる者が後世の人たちに引き継ぐべき責任を負っているものである。このため、文化財保護法や富士吉田市文化財保護条例に基づき、文化財の指定や保護保存に努めている。

近年の例としては、2013年（平成25年6月）に「富士山」が世界文化遺産に登録されたことがある。世界文化遺産「富士山」の構成資産は25件あるが、その内の「旧外川家住宅」、「小佐野家住宅」、「吉田胎内樹型」、「富士山城」（構成要素として「北口本宮富士浅間神社」と「吉田口登山道」を含む）の4件が市内に位置している。2017年（平成29年11月）には北口本宮富士浅間神社の建造物8棟が重要文化財に指定された。このように、本市の歴史文化を代表する富士山信仰に関する文化財は、国内のみならず世界を代表する文化遺産として認められている。

現在、本市には国指定19件、県指定12件、市指定56件の合計87件が文化財として指定・登録されている。これら指定文化財の保存修理や新たな文化財の調査、民俗芸能などの活動支援に加え、埋蔵文化財包蔵地や特別名勝富士山指定地域内での開発行為に対する指導や調査等の実施、文化財防火訓練などの啓蒙活動を実施することにより、将来にわたり、かけがえのない財産を守り継いでいく事業を実施している。

また、本市に数多く遺されている文化財をより多くの市民に知っていただくため、調査報告書をはじめ、文化財関連刊行物の発刊及び販売を行っている。

### 2 文化財関連刊行物

「文化財調査報告書」一覧

（令和3年4月1日現在）

－	旧宮下家住宅移築修理工事報告書	1,500円
第1集	天然記念物（植物）調査報告書	2,000円
第2集	吉田城山発掘調査報告書	1,500円
第3集	富士山吉田口登山道遺跡調査報告書Ⅰ	（品切）
第4集	富士山吉田口登山道遺跡調査報告書Ⅱ	（品切）
第5集	吉田の火祭り調査報告書	2,500円
第6集	富士山吉田口登山道整備報告書	（品切）
第7集	外川家住宅学術調査報告書	2,500円



第 8 集	上暮地新屋敷遺跡発掘調査報告書	(品切)
第 9 集	上中丸遺跡発掘調査 (第 2 次) 報告書	(品切)
第 10 集	上中丸遺跡発掘調査 (第 1 次) 報告書	1,500 円
第 11 集	富士吉田の富士山信仰用具調査報告書	(品切)

「富士吉田の文化財シリーズ」一覧

(令和 3 年 4 月 1 日現在)

その 1	富士吉田の文化財	(品切)
その 2	史跡、新倉掘抜	〃
その 3	古文書	〃
その 4	富士山の信仰	〃
その 5	路傍の石造物	〃
その 6	戦国時代の古文書記録	〃
その 7	民話	〃
その 8	続民話	〃
その 9	富士山の信仰 2	〃
その 10	指定文化財	〃
その 11	報国蒼龍隊の壮挙 (上)	〃
その 12	報国蒼龍隊の壮挙 (上の 2)	300 円
その 13	報国蒼龍隊の壮挙(上の 3)	700 円
その 14	民話と伝説	(品切)
その 15	渡辺雪峰の画集	700 円
その 16	富士山御師	(品切)
その 17	報国蒼龍隊の壮挙 (下)	500 円
その 18	春登上人伝	500 円
その 19	古屋敷遺跡	800 円
その 20	流鏝馬	350 円
その 21	富士山縁年建札と女人禁制	450 円
その 22	富士講	(品切)
その 23	富士山麓の入会	600 円
その 24	指定文化財	350 円
その 25	吉田の風土記	800 円
その 26	思い出ウオッチング	(品切)
その 27	御山登り道	〃

### 3 富士吉田市内の指定文化財（国・県・市）

（令和３年４月１日現在）

種 別  指定別	有 形						登録（有形）	記念物			民 俗		合 計
	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書籍・古文書	考古資料		史 跡	名 勝	天然記念物	有形民俗文化	無形民俗文化	
国	6			1	1		4	1	1	4		1	19
県	1		2	2		2				1	2	2	12
市	6	10	1	6	4			3	1	17		8	56
合計	19	10	3	9	5	2	4	4	2	22	2	11	87

4 富士吉田市内の文化財一覧 (令和3年4月1日現在) (T-大正・S-昭和・H-平成・R-令和)

No.			種 別	名 称	指定年月日	所在地
1	国	1	重要文化財 (建造物)	北口本宮富士浅間神社東宮本殿	S 25 5 30	上吉田5558
2	国	2	重要文化財 (建造物)	北口本宮富士浅間神社本殿	S 28 3 31	上吉田5558
3	国	3	重要文化財 (建造物)	北口本宮富士浅間神社西宮本殿	S 28 3 31	上吉田5558
4	国	4	有形文化財 (建造物)	北口本宮富士浅間神社 (拝殿及び幣殿・恵毘壽社及び透塀・神楽殿・手水舎・随神門・福地八幡社・諏訪神社拝殿・社務所)	H 29 11 28	上吉田5558
5	国	5	有形文化財 (建造物)	小佐野家住宅主屋・蔵	S 51 5 20	上吉田7-11-18
6	国	6	有形文化財 (建造物)	旧外川家住宅 主屋・離座敷・中門 附扁額一枚・物置一棟・家作萬覚帳一冊・家相図一枚	H 23 6 20	上吉田3-14-8
7	国	7	重要文化財 (工芸品)	太刀 銘備州長船経家 文安二年二月日 附糸巻太刀拵	T 12 3 28	上吉田5558
8	国	8	重要文化財 (書 籍)	紙本墨書 仁王経疏卷上本圖測撰	S 11 5 6	上吉田
9	国	9	無形民俗文化財	吉田の火祭	H 24 3 8	上吉田
10	国	10	史 跡	富士山	H 23 2 7	上吉田・富士河口湖町外
11	国	11	特別名勝	富士山	S 27 11 22	上吉田・富士河口湖町外
12	国	12	天然記念物	山ノ神のフジ	S 3 1 31	上暮地2114
13	国	13	天然記念物	吉田胎内樹型	S 4 12 17	上吉田字剣丸尾5590
14	国	14	天然記念物	雁ノ穴	S 7 10 19	上吉田字雁ノ穴5605
15	国	15	天然記念物	躑躅原のレンゲツツジ及びフジザクラ群落	S 3 3 3	上吉田字鈴原下5603
16	国	16	登録有形文化財	鹿留発電所うそぶき放水路吐口部	H 9 1 5	富士吉田市旭5-2457-1、5-2462-1、5-4636-1
17	国	17	登録有形文化財	上文司家住宅主屋	H 29 10 27	上吉田4-269
18	国	18	登録有形文化財	原家住宅主屋	H 29 10 27	上吉田6-162
19	国	19	登録有形文化財	高尾家住宅 (絹屋町織物市場)	H 29 10 27	下吉田2-431
20	県	1	有形文化財 (建造物)	宮下家住宅 一棟	S 58 12 7	上吉田東7-27-1
21	県	2	有形文化財 (彫 刻)	木造釈迦如来立像	S 39 11 19	上吉田7-7-1
22	県	3	有形文化財 (彫 刻)	銅造如来形立像 附延享四年状1通	H 5 11 29	上吉田38
23	県	4	有形文化財 (工芸品)	刀 大磨上無銘 伝山城国来国真	S 45 12 23	下吉田
24	県	5	有形文化財 (工芸品)	不動明王像御正体	H 27 2 5	上吉田東7-27-1
25	県	6	有形文化財 (考 古)	西方寺弥陀種子板碑 附西方寺弥陀種子板碑1基	S 62 12 2	小明見2-18-27
26	県	7	有形文化財 (考 古)	上中丸遺跡埋納遺構出土品	H 29 5 25	上吉田東7-27-1
27	県	8	有形民俗文化財	食行身祿の御身拔及び行衣・野袴	S 36 12 7	上吉田東7-27-1
28	県	9	有形民俗文化財	藍染資料 一式	S 39 2 20	上吉田
29	県	10	無形民俗文化財	北口本宮富士浅間神社太々神楽	H 4 6 22	上吉田5558
30	県	11	無形民俗文化財	下吉田の流鎗馬祭	H 29 9 7	下吉田
31	県	12	天然記念物	富士浅間神社の大スギ	S 33 6 19	上吉田5558
32	市	1	有形文化財 (建造物)	正福寺の本堂	S 41 11 1	浅間1-5-38
33	市	2	有形文化財 (建造物)	正福寺の経堂・八角輪転蔵	S 41 11 1	浅間1-5-38
34	市	3	有形文化財 (建造物)	大正寺の鐘楼	S 41 11 1	浅間1-2-1
35	市	4	有形文化財 (建造物)	福源寺の太子堂	S 41 11 1	下吉田3-41-18
36	市	5	有形文化財 (建造物)	旧武藤家住宅 農家	S 58 8 25	上吉田東7-27-1
37	市	6	有形文化財 (建造物)	浅間坊表門	H 27 2 24	上吉田4-1-22
38	市	7	有形文化財 (彫 刻)	木造聖観音菩薩坐像	H 22 2 25	下吉田3-26-18
39	市	8	有形文化財 (絵 画)	絹本着色無本覚心像	S 52 2 10	下吉田3-26-18
40	市	9	有形文化財 (絵 画)	絹本着色孤峰覚明像	S 52 2 10	下吉田3-26-18
41	市	10	有形文化財 (絵 画)	絹本着色絶学祖能像	S 52 2 10	下吉田3-26-18
42	市	11	有形文化財 (絵 画)	絹本着色仏涅槃図	H 22 2 25	下吉田3-26-18
43	市	12	有形文化財 (絵 画)	絹本着色蛤蜊観音図	H 22 2 25	下吉田3-26-18

4 富士吉田市内の文化財一覧 (令和3年4月1日現在) (T-大正・S-昭和・H-平成・R-令和)

No.			種 別	名 称	指定年月日	所在地
44	市	13	有形文化財 (絵 画)	紙本著色峻翁令山像	H 22 2 25	下吉田3-26-18
45	市	14	有形文化財 (絵 画)	絹本著色抜隊得勝像賛文	H 22 2 25	下吉田3-26-18
46	市	15	有形文化財 (絵 画)	絹本著色禅心聖悦像	H 22 2 25	下吉田3-26-18
47	市	16	有形文化財 (絵 画)	渡辺雪峰日本画下絵	S 62 6 1	上吉田東7-27-1
48	市	17	有形文化財 (絵 画)	本殿絵馬五面 附 絹本著色富士山北面図	H 14 11 29	上吉田東7-27-1
49	市	18	有形文化財 (工芸品)	万年寺の梵鐘	S 41 11 1	向原1-6071
50	市	19	有形文化財 (工芸品)	太刀 生産無銘 伝舞草山湖丸	S 56 4 28	下吉田
51	市	20	有形文化財 (工芸品)	刀 朱銘 磨上備前国長船長光	S 56 4 28	新倉
52	市	21	有形文化財 (工芸品)	太刀 大磨上無銘 伝尻懸則長	S 58 1 4	下吉田
53	市	22	有形文化財 (工芸品)	太刀 銘 表 以軍艦三笠砲鋼秀明作	S 58 1 4	緑ヶ丘
54	市	23	有形文化財 (工芸品)	脇指 銘 安藤重光(花押)	S 58 1 4	新倉
55	市	24	有形文化財 (古文書)	菊田日記	S 48 10 1	上吉田東7-27-1
56	市	25	有形文化財 (古文書)	一字不説の巻	S 62 6 1	上吉田
57	市	26	有形文化財 (古文書)	富士乃日記	S 63 2 10	上吉田5558
58	市	27	有形文化財 (古文書)	橘屋勘右工門日記	R 2 5 28	上吉田東7-27-1
59	市	28	無形民俗文化財	小明見富士浅間神社の神楽舞	S 44 3 4	小明見
60	市	29	無形民俗文化財	小明見の神楽舞(獅子舞)	S 48 10 1	小明見
61	市	30	無形民俗文化財	天神社の獅子舞神楽と馬鹿踊	S 54 11 30	下吉田
62	市	31	無形民俗文化財	富士山元講	S 61 1 11	上吉田3-15-13
63	市	32	無形民俗文化財	松山の獅子神楽	H 18 8 25	松山2-10-18
64	市	33	無形民俗文化財	新屋の獅子神楽	H 30 4 26	新屋
65	市	34	無形民俗文化財	向原上組の道祖神祭	R 2 5 28	向原
66	市	35	無形民俗文化財	向原下組の道祖神祭	R 2 5 28	向原
67	市	36	史 跡	新倉掘抜	S 41 11 1	新倉2568
68	市	37	史 跡	富士山遥拝所女人天上	S 55 10 15	上吉田字細尾野5616
69	市	38	史 跡	石屋の寝床及び石切場跡	S 61 2 19	上吉田字鳥居木5598
70	市	39	名 勝	大正寺の庭園	S 44 3 4	浅間1-2-1
71	市	40	天然記念物	小室浅間神社のカツラ	S 44 3 4	下吉田3-32-18
72	市	41	天然記念物	獅子岩	S 61 12 1	下吉田6545
73	市	42	天然記念物	向原のイチイ	H 4 9 1	向原2-30
74	市	43	天然記念物	北口本宮富士浅間神社のスギ	H 4 9 1	上吉田5558
75	市	44	天然記念物	大塚丘のヒノキ	H 4 9 1	上吉田5619
76	市	45	天然記念物	北口本宮富士浅間神社のヒノキ	H 4 9 1	上吉田5558
77	市	46	天然記念物	上暮地日影のカキ	H 4 9 1	上暮地4071
78	市	47	天然記念物	新倉富士浅間神社のモミ	H 6 2 1	浅間2-4-1
79	市	48	天然記念物	新倉富士浅間神社のヒノキ	H 6 2 1	浅間2-4-1
80	市	49	天然記念物	大明見小室浅間神社のコナラ	H 6 2 1	大明見2-148
81	市	50	天然記念物	中宿山神社のエゾエノキ	H 6 2 1	上吉田3-9-2
82	市	51	天然記念物	中宿山神社のコブシ	H 6 2 1	上吉田3-9-2
83	市	52	天然記念物	大明見山神社のモミ	H 6 6 29	大明見3499
84	市	53	天然記念物	小明見字海端子之神社のウワミズザクラ	H 6 6 29	小明見5-3352
85	市	54	天然記念物	上暮地山神社のイタヤカエデ	H 6 6 29	上暮地2114
86	市	55	天然記念物	上暮地浅間神社のカヤ群	H 6 6 29	上暮地6-11-3
87	市	56	天然記念物	大明見の大ナシ	H 6 6 29	大明見5-66

## 5 富士吉田市史 刊行物一覧

(令和3年4月1日現在)

富士吉田市史資料目録			発行年度	価 格
図 書 名				
富士吉田市史	史料編	第1巻 自然・考古	H9	4,000
		第2巻 古代・中世	H3	4,000
		第3巻 近 世 I	H5	7,000
		第4巻 近 世 II	H5	7,000
		第5巻 近 世 III	H8	6,000
		第6巻 近・現代 I	H4	6,000
		第7巻 近・現代 II	H6	4,000
	通史編	第1巻 原始・古代・中世	H12	4,000
		第2巻 近 世	H12	5,000
		第3巻 近・現代	H11	4,000
	民俗編	第1巻	H7	8,000
		第2巻	H7	
	行政編	上巻	S53	10,000
		下巻	S53	
民 俗 調 査 報 告 書	1集 向原の民俗（上）	S57	品切れ	
	2集 向原の民俗（下）	S58	1,100	
	3集 古原の民俗	S58	品切れ	
	4集 新屋の民俗	S59	品切れ	
	5集 上暮地の民俗	S60	品切れ	
	6集 新倉の民俗	S61	品切れ	
	7集 松山の民俗	S62	1,800	
	8集 大明見の民俗	S62	品切れ	
	9集 上吉田の民俗	S63	品切れ	
	10集 下吉田の民俗	H1	品切れ	
富士吉田市史資料叢書	1 旧三力村事務報告書・瑞穂村	S61	1,400	
	2 旧三力村事務報告書・明見村	S61	1,300	
	3 旧三力村事務報告書・福地村	S62	1,400	
	4 村明細帳	S62	1,400	
	5 社会実態調査	S63	1,400	
	6 検地帳	S63	4,000	
	7 旧村地誌	H1	1,400	
	8 古屋敷遺跡発掘調査報告書	H1	品切れ	
	9 富士吉田市史新聞記事索引	H2	1,300	
	10 妙法寺記	H2	品切れ	
	11 上吉田の石造物	H2	5,000	
	12 近代統計編	H2	3,000	
	13 マネキ	H7	4,000	
	14 池之元遺跡発掘調査報告書	H8	4,000	
富士吉田市史研究	創刊号	S60	700	
	第2号	S61	820	
	第3号	S62	900	
	第4号	S63	950	
	第5号	H1	600	
	第6号	H2	500	
	第7号	H3	1,000	
	第8号	H4	800	
	第9号	H5	800	
	第10号	H6	750	
	第11号	H7	1,000	
	第12号	H8	1,000	
	第13号	H9	1,000	
	第14号	H10	1,000	
	第15号	H11	600	
富士吉田市の遺跡			S56	品切れ
富士吉田市史基礎資料第1巻「入会編」			S38	品切れ
富士吉田市史資料（2）「近代水利編」 上巻			S40	品切れ
富士吉田市史資料（3）「近代水利編」 下巻			S42	品切れ
富士吉田市年表			S53	品切れ

## ■ふじさんミュージアム（富士吉田市歴史民俗博物館）

富士吉田市歴史民俗博物館は、平成 27 年 4 月 4 日、「ふじさんミュージアム」としてリニューアルオープンしました。

### 1 施設の概要



■所在地：富士吉田市上吉田東七丁目 27 番 1 号 Tel24-2411（FAX24-4665）

■開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分（入館は午後 4 時 30 分まで）

■休館日：火曜日（火曜祝日の場合、その翌日）、年末年始

※夏季の 7 月及び 8 月は無休で開館

■観覧料：●御師旧外川家住宅との共通券（2 館共通券）

大人 400 円（320 円）、小中高生 200（160）円

●富士山レーダードーム館・御師旧外川家住宅（3 館共通券）

大人 800 円（600 円）、小中高生 450 円（350 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

■建物概要：RC4 階建、高さ 19.948m

延床面積 4,001.28 m<sup>2</sup>、展示面積 977.58 m<sup>2</sup>

### ■ミュージアムの役割

平成 25 年 6 月に富士山世界文化遺産登録が実現し、「富士山と信仰」に対する人々の関心が高まっていることから、当館が保有・展示する、他の博物館の追随を許さない質と量を誇る「富士山信仰」に関する資料は、大いに注目を集めており、富士山世界文化遺産を紹介する中核施設としての役割を担うことができると考えています。

## ① 富士山について誰もが気軽に楽しく学べる開かれた博物館

### ■富士山との出会い



展示の導入には、コンピュータグラフィックを用いた映像による富士山信仰の世界へ誘います。

### ■人は何故富士山へ登るのか



「富嶽人物百景」では、富士山に縁深い信仰者・芸術家・科学者らをタッチパネルモニターで紹介。

### ■富士登山の今昔



「富士山デジタル今昔絵巻」は、江戸から富士山頂へ至るまでのルート为名所旧跡の写真、絵画等を織り交ぜながら紹介。

### ■富士山信仰の起源と変遷



富士山の神仏とその信仰の起源や、江戸時代に盛んだった富士講と彼らを迎えた「御師」を紹介。

### ■富士山昔ばなし



富士山にかかわる昔ばなしや伝説をアニメーションでわかりやすく解説。



### ■御師町にぎわいシアター



大型プロジェクターの映像により、江戸時代の富士登山のようすや「吉田の火祭」を紹介。

### ■吉田の火祭



明神神輿・御山神輿と大松明の実物を展示し、火祭の歴史と祭りのようすを紹介。

### ■富士吉田の歴史



富士山の火山災害下での人々の暮らしや全国有数の長さを誇る江戸時代の用水トンネル「新倉掘抜」を紹介。

### ■富士吉田の生活



富士吉田の織物産業の昔と今、日々の暮らしと祭りを紹介。

### ■ヘリテージ富士

縮尺 1/2,000 の富士山大型立体模型に投影されるプロジェクションマッピングで富士山の四季や富士山に関連した 8 つのトピックを紹介。





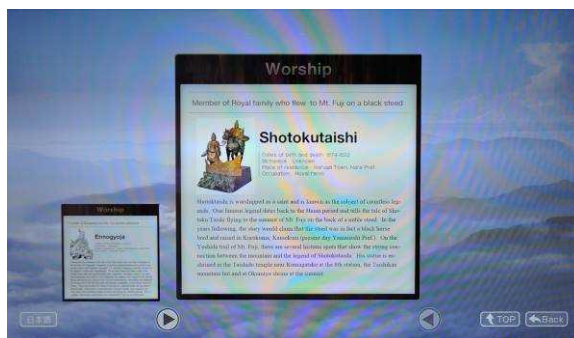
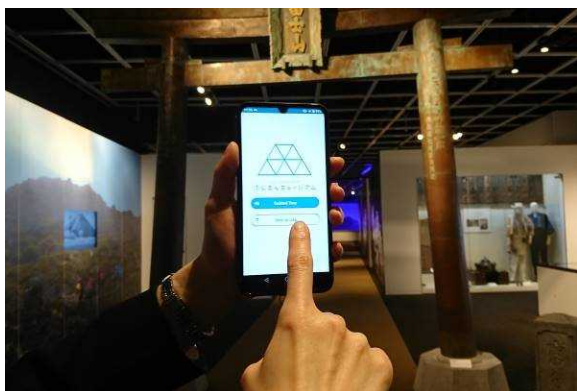
## ②人にやさしく、ゆったりくつろげ、出会いと交流を育む博物館



エントランス・ロビーを拡張した休憩スペース、ミュージアムショップの設置



施設のバリアフリー・ユニバーサル化。  
障害者専用駐車場、入口を整備



外国人利用者へのサービス向上として展示解説、映像ナレーション、シアター映像には、日本語・英語・中国語・タイ語の4ヶ国語の音声ガイド（無料）を設置。



高齢者・障害者・福祉団体等への利用促進やサービス。車椅子対応の他、「富士山昔ばなし」・「御師町にぎわいシアター」の映像展示には、手話モードを設置。

○学校教育や生涯学習に対する支援や学習機会の提供

○情報提供機能の向上（周辺情報の提供、ガイダンス機能の強化）

## 2 エリア内附属施設

エリア内には附属施設として、重要文化財小佐野家模造復原住宅の「御師住宅」、宝永年間（1704～）に建造された「旧宮下家住宅」、養蚕のための兜づくりの屋根となった「旧武藤家住宅」があります。



御師住宅  
(重要文化財復原)

(\*御師住宅は公園整備のため一時閉鎖中)



旧宮下家住宅  
(県指定文化財)

(\*旧宮下家住宅は国道拡幅工事のため閉鎖中)



旧武藤家住宅  
(市指定文化財)

(\*旧武藤家住宅は公園整備及び市道付替え工事のため解体保管中)

## 3 御師 旧外川家住宅



(平成 23 年 6 月 20 日 重要文化財 指定、  
平成 25 年 富士山世界文化遺産構成資産)

■所在地：富士吉田市上吉田  
三丁目 14 番 8 号

TEL/Fax 22-1101

■開館時間：午前 9 時 30 分～午  
後 5 時 00 分

(入館は午後 4 時 30 分まで)

■休館日：火曜日（火曜祝日  
の場合、その翌日）、年末年始

■観覧料：大人 100 円(団体 80 円) 小中高生 50 円(団体 40 円)

( ) 内は 20 名以上の団体料金

御師旧外川家住宅は、富士山への登山者を迎え入れてきた御師の宿坊の一つで、18 世紀後半の明和 5 年（1768）頃に建造されました。上吉田に現存する御師住宅の多くは、19 世紀以降の建築と推定され、この時期まで遡るものは少なく、きわめて貴重

な建造物といえます。多くの人々に、登山口に存立した富士御師の実態や富士山の登拝等を学ぶことができる学習施設として公開しています。

### 【御師町お休み処】



御師旧外川家住宅は、富士山世界文化遺産の構成資産として新たなスポットとして注目を浴びており、来訪者は大幅に増加しており、登録初年度（平成 25 年度）の入館者は約 3 万人を数えました。

このような状況から、駐車場の一部に休憩、トイレ、売店機能を併せ持つ便益施設を設置しました。

また、施設内には、旧博物館で展示していた御師町のジオラマを移設し、上吉田の町並みを解説する資料として活用しています。

## 4 令和 3 年度の事業等

### 【企画展／講座】

#### ○企画展示

##### ■企画展「富士山-ArtFuji-」

2/20～5/10

##### ■企画展「ふじよしだの歩みー変わるもの変わらないものー」

7/17～10/31

##### ■企画展「富士山絵画展」

2/23～

#### ○講座「富士山学」

富士山に関わるさまざまな分野の講師を招いた講演を全 3 回

#### ○WEB を活用した富士山学習

富士山学習及び地域の歴史文化の学習のための見学カリキュラムを提供します。

「事前学習のサポート」・「見学の際に使用するワークシートの提供」・「オンライン授業やワークシートによる事後学習サポート」の 3 つで構成されます。

対象：小学校・中学校

### 【ワークショップ】

体験型のワークショップを随時開催

「まっぼっくりでクリスマスツリーを作ろう」「富士山カード立て作り」「お札摺り体験」「富士山折り紙教室」等

### 【博物館交流事業】

- ・縄文王国山梨交流事業
- ・ミュージアム甲斐ネットワーク関連事業

### 【令和3年度予定刊行物等】

- ・博物館叢書「富士を登る」改訂増刷
- ・博物館資料叢書第4集
- ・ミュージアムだより MARUBI No.48



## 5 入館者数一覧表

### ■歴史民俗博物館月別入館者数

(単位：人)

	H30年度			R01年度			R02年度		
	博物館 入館者	経由 入館者	総入館者	博物館 入館者	経由 入館者	総入館者	博物館 入館者	経由 入館者	総入館者
4月	1,672	145	1,817	2,837	277	3,114	臨時休館（新型コロナウイルス感染拡大防止）		
5月	2,333	705	3,038	3,115	653	3,768	27	0	27
6月	1,828	1,575	3,403	2,606	1,196	3,802	380	61	441
7月	2,702	1,512	4,214	2,901	1,085	3,986	1,287	134	1,421
8月	3,654	605	4,259	4,186	597	4,783	1,780	231	2,011
9月	2,831	699	3,530	2,156	659	2,815	1,312	304	1,616
10月	3,040	974	4,014	2,486	486	2,972	1,987	566	2,553
11月	3,172	464	3,636	2,262	265	2,527	1,396	198	1,594
12月	981	124	1,105	795	124	919	555	123	678
1月	1,036	151	1,187	1,161	216	1,377	232	30	262
2月	1,478	66	1,544	2,699	78	2,777	1,036	80	1,116
3月	1,630	297	1,927	161	30	191	1,024	185	1,209
合計	26,357	7,317	33,674	27,365	5,666	33,031	11,016	1,912	12,928

※「経由入館者」とは、御師旧外川家住宅及び富士山レーダードーム館経由での共通券利用入館者数。

### ■御師旧外川家住宅月別入館者

年度	H30年度			R01年度			R02年度		
月	旧外川家 入館者	経由 入館者	総入館者	旧外川家 入館者	経由 入館者	総入館者	旧外川家 入館者	経由 入館者	総入館者
4月	818	106	924	721	181	902	臨時休館（新型コロナウイルス感染拡大防止）		
5月	1,251	382	1,633	1,112	216	1,328	6	6	12
6月	512	208	720	404	153	557	110	50	160
7月	817	185	1,002	620	234	854	187	160	347
8月	1,403	390	1,793	1,171	380	1,551	320	193	513
9月	988	269	1,257	489	223	712	330	224	554
10月	880	167	1,047	553	110	663	324	345	669
11月	779	330	1,109	773	150	923	544	116	660
12月	326	135	461	234	100	334	293	77	370
1月	673	75	748	564	77	641	95	29	124
2月	340	39	379	246	50	296	244	59	303
3月	389	178	567	9	3	12	233	170	403
合計	9,176	2,464	11,640	6,896	1,877	8,773	2,686	1,429	4,115

※「経由入館者数」とは、歴史民俗博物館及び富士山レーダードーム館経由での共通券利用入館者数。

## 6 博物館企画展図録等

ふじさんミュージアム展示解説	1,000円
外川家展示解説書	100円
平成8年度 企画展図録「富士山の絵札」	500円
平成9年度 企画展図録「富士山明細図」	1,000円
平成11年度 企画展図録「絵葉書に見る富士登山」	300円
平成12年度 企画展図録「富士山登山案内図」	1,000円
平成13年度 企画展図録「太々神楽と獅子神楽」	1,000円
平成15年度 企画展図録「富嶽寫眞」	1,000円
平成16年度 企画展図録「国絵図郡絵図村絵図」	1,000円
平成17年度 企画展図録「おめでたいカタチ」	1,000円
平成20年度 企画展図録「身祿の聖物」	1,000円
平成20年度 企画展図録「富士の神仏」	1,000円
平成21年度 企画展図録「月江寺展」	1,000円
平成22年度 企画展図録「写真で見る富士吉田の歩み」	600円
平成22年度 企画展解説冊子「富士の女神のヒミツ」	100円
平成23年度 企画展解説冊子「吉田の火祭のヒミツ」	100円
平成25年度 企画展解説冊子「世界遺産富士山のヒミツ」	100円
平成27年度 企画展解説冊子「富士講のヒミツ」	100円
平成28年度 企画展解説冊子「縄文人が目撃した富士山噴火」	200円
平成29年度 企画展解説書「北口本宮富士浅間神社のすべて」	300円
平成15年度 富士山叢書「富士八海をめぐる」	1,000円
平成16年度 富士山叢書「富士山周遊図」	500円
平成17年度 富士山叢書「甲斐国史富士山北口を行く」	1,000円
平成18年度 富士山叢書「富士を登る」	1,000円
平成22年度 富士山叢書「富士山道しるべを歩く」	1,000円
平成25年度 富士山叢書「富嶽人物百景」	1,500円
平成26年度 「研究紀要」第1集	1,400円
平成28年度 資料叢書第1集「郡内紙吉田村明細帳・白須市左衛門・…」	2,000円
平成29年度 資料叢書第2集「菊田日記①」	2,500円
平成30年度 「研究紀要」第2集	2,000円
令和元年度 資料叢書第3集「菊田日記②」	2,500円

# 令和3年度 富士吉田市立教育研修所事業

## 1 教育研修所の設置目的

- ・本市の教育の振興及び児童生徒の健全な育成に寄与する。
- ・教育の研究並びに教員の資質の向上を図る。

## 2 教育研修所の事業

### (1) 富士山教育研究実践事業

- ・富士山を知る学習・地域を知る学習・交流活動を柱として、「富士山と自分の住んでいる地域に誇りを持てる子どもたちを育てる」ことを目的としている。富士山学習研究会を中心として、体験活動や発表会など実施しながら各校の特色を活かし実践していく。

#### ア 富士山学習研究会（年4回）

- ・富士山学習の実践に関する研究を行う。

#### イ 富士山学習視察研修会（年2回）

- ・富士山学習を実践するために、視察研修を通して地域素材を開拓し、教材化する方法などを学ぶ。

#### ウ 富士山学習講師派遣事業（ようこそ富士山の先生）

- ・富士山学習に関する講師を各学校に派遣する。

#### エ 「わたしたちの富士吉田市・富士山」作品コンクール

- ・富士山を題材とした絵画・絵手紙などの作品コンクールを実施する。入選作品の作品展を開催する。

#### オ 富士山学習発表会

- ・各学校で取り組んだ富士山学習の成果をまとめた代表作品を展示する。

#### カ ふじさんミュージアム活用事業

- ・富士山学習におけるふじさんミュージアムの活用を推進する。

#### キ ふるさと発見ワークショップ

- ・市内4中学校で富士吉田市で働く若者から郷土の素晴らしさを伝えるワークショップを開催する。

#### ク 職場体験支援

- ・市内4中学校の職場体験事業への支援を行う。

### (2) 外国語指導委託事業

- ・外国語指導講師（ALT）を派遣業務委託し、小・中学校の外国語教育の充実と、国際理解教育の推進を図る。

\*◎エドガー・マナハン（下吉田第一小・他小学校）

\*トーマス・アーウィン（下吉田第二小）

\*マシュー・ショート（下東小）

\*アイリーン・ホリウチ（明見小）

\*キャサリン・マンソン（吉田小）

\*エスメラルダ・サンチェス（吉田西小）

\*ピーター・ファレル（富士小・吉田中）

\*アラナ・キング（下吉田中）

\*マシュー・ルーク（明見中）

\*シャノン・スミス（吉田中）

\*モーガン・パービス（富台中・下中）

◎：ALTリーダー

### (3) 研修所事業

#### ① 研修等に関すること

##### ア 先進校留学研修（期間：5日間）

- ・特色ある教育に先進的に取り組む県外の小中学校で、研修先の一員として勤務しながら、自己の研修課題に取り組む。

##### イ ICT活用研修会

- ・市内小中学校に配備されているタブレットPCなどのICT機器やデジタル教科書などのソフトウェアの操作や活用方法及びG s u i tに関する実践的な研修を実施し、授業におけるICT

機器の効果的な活用を学ぶ。

ウ 特別支援教育研修会

- ・特別支援学級担当の教職員や支援員を対象に、特別支援教育学級での支援のあり方や保護者への対応について学ぶ。

エ 教育相談研修

- ・児童生徒との望ましい関係を構築するために、コミュニケーションスキル等の対応方法を学ぶ

オ 外国語教育研修会

- ・小学校で行う外国語活動・外国語科の授業づくりのポイントを講師と活動しながら学んだり、今後の外国語活動・外国語科のあり方や中学校英語との関連・接続を学んだりする。

カ 防災教育研修会

- ・市安全対策課など関係機関と連携を図る中で、防災に関する研修会を実施し、防災対策への意識向上を図る。

キ スキルアップ研修

- ・教職員資質向上、Q－U活用、図工美術指導、博物館視察、専門職や期臨市教諭等を対象とした研修など、教職員のスキルアップに資する研修を実施する。

## ②調査・研究に関すること

ア 生徒指導研究会（年3回）

- ・市内児童生徒の実態に即した生徒指導上の課題についての調査・研究や、各校による情報交換を行い、健全な児童・生徒の育成を図る。

イ 情報教育研究会（年6回）

- ・情報教育機器の利用の推進、及び情報教育に関する研究を行う。

ウ 外国語教育研究会（年6回）

- ・新学習指導要領の先行実施にあたり、外国語の指導方法やカリキュラム作成などに関して、協議と研究を行う。

エ 環境教育副読本改訂委員会【今年度は休会】

- ・小学校3年生以上で使用している環境教育副読本の改訂作業と発刊を行う。

オ 社会科副読本改訂委員会【今年度は休会】

- ・小学校3・4年生で使用している社会科副読本の改訂作業と発刊を行う。

カ 教育課程研究会（教務主任・主幹）（年3回）

- ・教育課程の編成と運営について研究を行う。

キ 関東地区教育研究所連盟研究会（年2回）

- ・関東地区の各教育研究所との連携と、研究員の資質の向上を目的とする。

ク その他（関連事業）

- ・県の研究指定校等の指導助言を行う。

## ③学力向上に関すること

ア 学力調査分析

- ・全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査の結果を分析し、各校での指導改善に活かす。

イ 長期休業中学習支援（富士子屋）

- ・長期休業中の自主的な学習の場を提供し、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図る。

ウ 家庭学習支援

- ・e ライブラリー等を有効に活用し、家庭学習の定着を図る。

## ④教育相談に関すること

- ・総合教育支援員が関係機関と連携を図りながら、いじめ・不登校・学力向上・特別支援教育など、学



校現場や保護者・児童生徒に対して、幅広く組織的・継続的な支援を行うとともに、生徒指導全般にわたり一層の充実を図る。

ア 電話相談・面接相談の実施 …月曜日から金曜日（8:30～17:15）：教育相談室(研修所)

イ 教育支援室…火曜日から金曜日（9:00～15:30）：市民会館、子育て支援センター（月曜日）

ウ 学校訪問を通して、市内教職員の生徒指導上の諸問題についての相談に応じるとともに、協力して該当児童・生徒の教育相談や教育支援等の援助活動を行う。また、必要に応じて関係各機関との連携を図る。

エ 家庭訪問活動等を学校と連携を図りながら実施し、継続的な指導援助を行う。

オ 就学に関する相談を行う。

## ⑤派遣事業

ア 私傷病休暇等代替職員派遣事業

- ・私傷病休暇等代替職員を一小学校に配置し、市内小学校（7校）の教職員が傷病休暇等の際には、要請に応じ職員を派遣し、児童の教育充実に資していく。
- ・市内中学校私傷病休暇等代替職員を登録して、中学校へ派遣する。

イ 外国人子女等指導協力者派遣事業

- ・外国語を理解できる者（指導協力者）を外国人子女等の在籍する学級に巡回派遣し、学習面や生活面においてきめ細かな指導を行うこと、また、通訳、翻訳、教員の教育活動に対する協力に当たらせる等、外国人子女等の適応指導体制を推進する。

## ⑥主催活動に関すること

〔発表会の開催〕 実行委員会を組織し準備及び運営にあたる。

- ・「富士山音楽祭」を開催する。
- ・図工・美術作品展〈第70回〉
- ・理科自由研究審査会

〔刊行物の発行〕

※電子版

- ・教育研究（第69集）（電子版）
- ・理科自由研究集（電子版）
- ・幼保小連携連絡会議担当者会活動報告書（電子版）
- ・教育研修所要覧（冊子）
- ・社会科副読本「わたしたちの富士吉田市」
- ・ビデオライブラリー2021（電子版）
- ・富士山教育研究報告書（電子版）
- ・環境教育副読本「富士吉田の自然」

〔小学校芸術鑑賞会の公演内容選定〕

- ・実行委員を組織し内容の選定、各校の日程調整にあたる。

## ⑦情報システムに関すること

ア あいシステム（校務支援システム）の運用

- ・教職員の業務の効率化を図り、児童・生徒と向き合い、指導できる時間や心身の余裕を生み出せるようにするため、諸表簿等の出入力や非常時等における児童・生徒の保護者へのメール配信をネットワーク環境の利用によって運用する。また、そのための連絡や調整等を行う。

イ 教職員用PC・タブレットの運用

- ・1人1台PC・タブレットなどのICT環境の整備を行う。

## (4) 庶務に関すること

- ・教育関係資料等の収集・整理・情報発信に関すること
- ・視聴覚ソフト、ICT機器等の整備及び活用の促進に関すること
- ・一般文書、各種伝票事務に関すること

- ・県教委等の委託業務に関すること

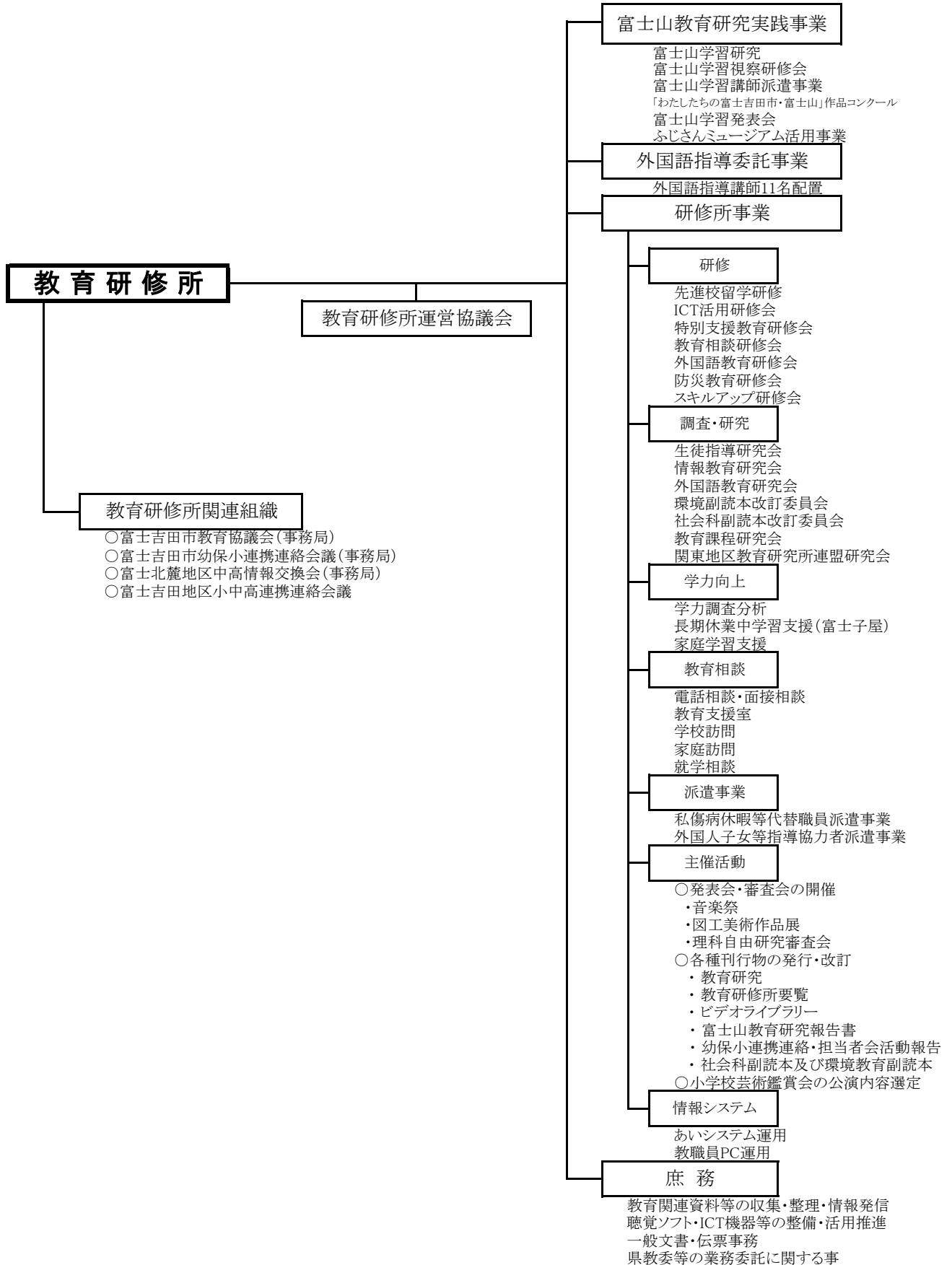
### **3 教育研修所の事業**

- ア 教育研修所運営協議会（2回）
- イ 教育研修所研究員委嘱式

### **4 関連事業・関連組織**

- (1) 富士吉田市教育協議会
  - ・定期総会及び年6回の研究部会を行い、教職員の資質の向上を図る。
- (2) 富士吉田市幼保小連携連絡会議（紙面にて連絡）及び幼保小連携担当者会
  - ・年4回の幼保小連携担当者会議を行い、市全体の幼稚園・保育園・小学校の連携の強化を図る。
- (3) 富士北麓地区中高情報交換会（中高生指会を廃止）
  - ・富士北麓地区の中高で情報交換を行う。
- (4) 富士吉田地区小中高連携連絡会議
  - ・年2回の連絡会議を開催し、市内小中学校と近隣の高等学校の連携を図る。

## 令和3年度 富士吉田市教育研修所 組織・機構



# 令和2年度 教育相談・指導

令和3年3月31日現在

相談等種別	件数(人)	相談回数	連携機関
児童虐待	14	68	子育て支援課, 市の他課, 都留児童相談所, 富士吉田警察署, SSW, SC
養育不良	9	44	子育て支援課, 市の他課, 都留児童相談所, SSW, SC
暴力的行為	3	4	都留児童相談所
問題行動 (飲酒, 喫煙, 深夜徘徊, 外泊)	6	48	都留児童相談所, 市の他課, 子育て支援課, SSW, SC, 警察署
性格行動	1	2	
不登校	70	998	都留児童相談所, 市の他課, SSW, SC, 県立聴覚障害者情報センター, 北病院, 都留こすもす教室, 河口湖町役場, 子育て支援課
いじめ	1	8	
しつけ	1	1	
障害・病気	6	9	福祉課, 子育て支援課, 健康長寿課, こころの発達総合支援センター都留児童相談所, 富士東部リハビリセンター, 健康科学大学リハビリテーションクリニック小児科など
就学等	166	435	県教委特別支援教育担当指導主事, ことばの教室, 総合教育センター特別支援教育部, ふじざくら支援学校, 甲府支援学校, 県立ろう学校, 県立盲学校, 健康長寿課, 福祉課, 子育て支援課, 保育園, 幼稚園, 都留児童相談所, こころの発達総合支援センター, 富士ふれあいセンター, 山梨医大病院, 富士東部小児リハビリテーション診療所, ハーベスト, おもちゃ箱, シエル, あかね雲, SC, 他地区の保育園・幼稚園
その他	18	149	総合教育センター特別支援教育部, ふじざくら支援学校, 子育て支援課, 福祉課, 健康長寿課, 都留児童相談所, SC, こころの発達総合支援センター
合 計	295	1766	

件数は, 本人, 保護者等に数回継続して実施した場合でも1つのケースを1件として数えて記入。

# 令和3年度 教育研修所 研修会 一覧 (予定)

令和3年5月現在

	講 座 名	月 日	(曜)	時間	対象者	主な内容
1	特別支援員研修会	4月2日	(金)	10:30-12:00	特別支援員	特別支援教育の現状と支援員の役割について学ぶ。 講師：梶原美智子
2	eライブラリ研修会①	4月9日	(金)	16:00-17:00	希望者	家庭学習ソフトウェアライブラリの特徴や操作方法について学ぶ。 講師：ライズ株式会社
3	eライブラリ研修会②	4月12日	(月)	16:00-17:00	希望者	家庭学習ソフトウェアライブラリの特徴や操作方法について学ぶ。 講師：ライズ株式会社
4	あいシステム説明会	4月16日	(金)	16:00-17:15	教務主任・情報主任	システムの概要や機能改善点、作業スケジュール等を確認し、管理業務に関わる操作について学ぶ。 講師：コム
5	あいシステム研修会①	4月19日	(月)	16:00-17:15	富士吉田市新転入者	富士吉田に新たに転入してきた教職員を対象にあいシステムの基本的な操作方法について学ぶ。 講師：コム
6	あいシステム研修会②	4月23日	(金)	16:00-17:15	富士吉田市新転入者	富士吉田に新たに転入してきた教職員を対象にあいシステムの基本的な操作方法について学ぶ。 講師：コム
7	あいシステム研修会③	4月27日	(火)	16:00-17:15	富士吉田市新転入者	富士吉田に新たに転入してきた教職員を対象にあいシステムの基本的な操作方法について学ぶ。 講師：コム
8	期・臨・市実践研修①	4月28日	(水)	16:30-17:30	希望者	基本的な情報・心構えについて学ぶ。
9	中学校デジタル教科書研修会	5月19日	(水)	16:30-17:30	希望者	デジタル教科書の基本的な操作方法や効果的な活用方法を学ぶ。 講師：教育出版(社会) 大日本図書(理科) 光村図書(外国語)
10	養護教諭 ICT 研修会	5月24日	(月)	15:00-16:00	養護教諭・市担養護士	Google Workspace for educationについて、基本的な特徴について学ぶ。 講師：コム
11	期・臨・市実践研修②	5月28日	(金)	16:30-17:30	希望者	学校教育を取り巻く教育関係法規について学ぶ。
12	期・臨・市実践研修③	6月14日	(月)	16:30-17:30	希望者	教員に求められるコミュニケーションスキルを習得する。
13	Q-U研修会①	6月21日	(月)	15:30-17:00	富士吉田市新転入者 会場校教職員・希望者	ハイパーQ-Uの分析と、学級集団や児童・生徒へのアプローチの手立てを考える。 講師：品田笑子
14	中学校デジタル教科書研修会	6月23日	(水)	16:00-17:00	希望者	デジタル教科書の基本的な操作方法や効果的な活用方法について学ぶ。 講師：帝国書院(社会)
15	期・臨・市実践研修④	7月1日	(木)	16:30-17:30	希望者	コミュニケーションスキルの習得を目指す。
16	防災教育研修会①	7月8日	(水)	14:30-16:00	教頭	行政と学校が連携して、防災教育の充実を図る。
17	若手教員資質向上研修会	7月19日	(月)	9:30-12:00	経験5年以下の教職員	経験年数の浅い教員同士が交流を深めることにより、悩みや疑問を共有し、解決への道筋を探っていく。 講師：教員OB
18	特別支援教育研修会	7月20日	(火)	13:30-15:30	特別支援担当教諭 市担特別支援員・希望者	特別支援学級での支援のあり方と発達障害について 講師：霜田浩信 群馬大学
19	Google初級研修	7月21日	(水)	13:30-16:30	希望者	G I G Aスクール構想実現に向けて、Googleの概要・基本操作について学ぶ。 講師：コム
20	Google校内研修①②③	7月26日	(月)		下一小・吉小・富士小	G I G Aスクールに関わって、一人一台端末の効果的な活用例の実践を通して授業での利用促進を図る。
21	Google校内研修④⑤	7月27日	(火)		吉西小・下東小	
22	Google校内研修⑥⑦	7月28日	(水)		明見小・下二小	
23	小学校外国語活動研修会	7月29日	(木)	13:30-16:30	(小)外国語担当者 (中)英語科主任/希望者	小学校外国語活動の授業のポイントや、スモールトークや評価について演習。講師：インタラク
24	富士山学習視察研修会①	7月30日	(金)	9:00-16:00	富士山教育研究員 希望者	富士山教育の研究実践を行うために、地域素材を紹介し、教材化する方法などを学ぶ。
25	期・臨・市実践研修⑤	8月2日	(月)	9:30-11:30	希望者	コミュニケーションスキルの習得を目指す。
26	ミュージアム教員研修	8月3日	(火)	9:00-12:00	富士吉田市新転入者	ふじさんミュージアムの視察研修を通し、富士山学習についての認識を深める。
27	情報教育研修会	8月3日	(火)	13:30-16:30	情報教育研究員 希望者	電子黒板やタブレットなどの情報機器の操作方法を学び、授業などでの効果的な活用方法について研修する。 講師：コム
28	Google校内研修①②	8月17日	(火)		下中・富台中	G I G Aスクールに関わって、一人一台端末の効果的な活用例の実践を通して授業での利用促進を図る。
29	Google校内研修③④	8月18日	(水)		明中・吉中	
30	防災教育研修会②	8月24日	(火)	14:30-16:00	教頭	行政と学校が連携して、防災教育の充実を図る。
31	富士山学習視察研修会②	9月22日	(水)	13:30-16:30	富士山教育研究員 希望者	富士山教育の研究実践を行うために、地域素材を紹介し、教材化する方法などを学ぶ。
32	Google研修実践編	11月1日	(月)	16:00-17:30	希望者	G I G Aスクール構想実現に向けて、Googleの効果的な活用方法を学ぶ。 講師：コム
33	Q-U研修会②	11月22日	(月)	15:30-17:00	富士吉田市新転入者会場校 教職員・希望者	ハイパーQ-Uの分析と、学級集団や児童・生徒へのアプローチの手立てを考える。 講師：品田笑子
34	専門職員 スキルアップ研修会				学校事務	専門部それぞれの希望にそって、研修日時・研修内容を相談し、確定する。
35	専門職員 スキルアップ研修会				養護教諭	専門部それぞれの希望にそって、研修日時・研修内容を相談し、確定する。
36	専門職員 スキルアップ研修会				司書教諭・司書	専門部それぞれの希望にそって、研修日時・研修内容を相談し、確定する。

## 富士吉田市学校給食運営委員会委員

(任期 令和2年7月1日～令和4年6月30日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	堀 内 武	富士吉田市大明見	
副 委 員 長	堀 内 博 文	富士吉田市上吉田	
委 員	刑 部 光 太 郎	富士吉田市上吉田	
委 員	小 野 千 恵	富士吉田市上吉田	
委 員	小 幡 浩	富士吉田市小明見	
委 員	杉 山 み の り	富士吉田市上吉田	
委 員	高 山 さ ゆ り	富士吉田市小明見	
委 員	堀 内 貴 丈	富士吉田市上吉田	
委 員	川 口 妙 子	富士吉田市新西原	
委 員	渡 辺 珠 美	富士吉田市新町	

## 富士吉田市社会教育委員

(任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	渡 辺 正 弘	富士吉田市旭	
委員長職務代理者	勝 俣 源 一	富士吉田市小明見	
委 員	刑 部 章 子	富士吉田市向原	
委 員	近 藤 ひ ろ み	富士吉田市旭	
委 員	伊 藤 道 子	富士吉田市松山	
委 員	田 邊 綾 子	富士吉田市下吉田	
委 員	河 野 大 介	富士吉田市上吉田	
委 員	三 浦 明 海	富士吉田市新町	
委 員	上 野 充 仁	富士吉田市大明見	

富士五湖文化センター・富士吉田市民会館運営委員会委員

(任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	渡 辺 正 弘	富士吉田市旭	
副 委 員 長	渡 辺 忠 男	富士吉田市下吉田	
委 員	渡 辺 富 江	富士吉田市上吉田	
委 員	川 上 洋一郎	富士吉田市上吉田	
委 員	宮 下 敏 幸	富士吉田市下吉田	下吉田第二小学校

富士吉田市スポーツ推進審議会

(任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	渡 辺 悟	富士吉田市上吉田	
委 員	早 川 通 泰	富士吉田市下吉田	
委 員	宮 下 清 光	富士吉田市下吉田東	
委 員	桑 原 利 克	富士吉田市下吉田東	
委 員	小 林 真 弓	富士吉田市ときわ台	
委 員	秋 山 政 人	富士吉田市下吉田	
委 員	小宮山 久枝	富士吉田市新町	
委 員	土 屋 恵 宣	富士吉田市下吉田	
委 員	広 瀬 小 吉	富士吉田市小明見	
委 員	渡 辺 喜 市	富士吉田市新町	
委 員	堀 川 浩 之	鳴沢村	
委 員	齋 藤 泰 史	富士吉田市上吉田	

# 富士吉田市スポーツ推進委員

(任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	渡 辺 幸 恵	富士吉田市下吉田	
委 員	真 田 洋	富士吉田市下吉田	
委 員	雨 宮 章 子	富士吉田市新西原	
委 員	川 村 玲 子	富士吉田市新町	
委 員	渡 辺 利 恵	富士吉田市小明見	
委 員	奈 良 美 奈	富士吉田市下吉田	
委 員	高 山 茂	富士吉田市上暮地	
委 員	小 松 麗 子	富士吉田市中曾根	
委 員	渡 辺 徹	富士吉田市新町	
委 員	舟久保 武夫	富士吉田市新西原	
委 員	宮 下 京 子	富士吉田市大明見	
委 員	近 藤 ひろみ	富士吉田市旭	
委 員	堀内 美千恵	富士吉田市新屋	
委 員	吉 田 都 興	富士吉田市富士見	
委 員	遠 山 栄 治	富士吉田市竜ヶ丘	
委 員	小宮山 久枝	富士吉田市新町	
委 員	舟久保 義重	富士吉田市向原	
委 員	土 屋 繁	富士吉田市下吉田	
委 員	渡 辺 浩 臣	富士吉田市新西原	
委 員	宮下 はま美	富士吉田市大明見	
委 員	渡 邊 義 廣	富士吉田市旭	
委 員	宮 下 由 里	富士吉田市大明見	
委 員	藤 井 義 房	富士吉田市上吉田東	
委 員	小 林 和 生	富士吉田市新西原	



## 富士吉田市立図書館協議会委員名簿

（任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日）

役職	氏 名	住 所	備 考
委 員	宮 下 英 司	富士吉田市大明見	
委 員	長 田 光 雄	富士吉田市新町	
委 員	渡 辺 律 子	富士吉田市下吉田	
委 員	青 木 ま す 子	富士吉田市上吉田	
委 員	藤 江 幸 代	富士吉田市上吉田	
委 員	大 沼 博 之	富士吉田市下吉田	
委 員	渡 邊 美 幸	富士河口湖町小立	
委 員	宮 下 敏 幸	富士吉田市緑ヶ丘	
委 員	角 田 公 子	富士吉田市新西原	

## いじめ対策連絡協議会委員名簿

（任期 令和3年2月22日～令和4年2月21日）

役職	氏 名	住 所	備 考
会 長	奥 脇 義 徳	富士吉田市新町	
委 員	清 水 慶 子	富士吉田市中曽根	
委 員	渡 邊 聡	富士吉田市上暮地	
委 員	小 幡 浩	富士吉田市小明見	
委 員	瀧 口 勇 人	富士吉田市上暮地	
委 員	舟久保 真由巳	富士吉田市小明見	
委 員	中 込 多 恵 子	都留市田原	
委 員	渡 邊 正 人	都留市田原	
委 員	渡 邊 佳 彦	富士吉田市旭	

## 富士吉田市歴史民俗博物館協議会委員

(任期 令和3年7月1日～令和5年6月30日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員	宮 下 英 司	富士吉田市大明見	
委 員	勝 俣 大 紀	富士吉田市小明見	
委 員	勝 俣 源 一	富士吉田市小明見	
委 員	三 浦 雅 彦	富士吉田市上吉田	
委 員	伊 藤 秀 一	富士吉田市下吉田	
委 員	分 部 秀 博	富士吉田市上暮地	
委 員	松 田 香 代 子	静岡市清水区渋川	
委 員	金 子 淳	東京都町田市	
委 員	眞 田 吉 郎	富士吉田市新屋	

## 富士吉田市文化財審議委員

(任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
会 長	末 木 健	中央市山之神	
副 会 長	上 杉 陽	東京都世田谷区下馬	
委 員	菊 池 邦 彦	神奈川県逗子市桜山	
委 員	北 川 洋	山梨市牧丘町	
委 員	渡 辺 儀 訓	富士吉田市上吉田	
委 員	外 立 ま す み	静岡県静岡市葵区	
委 員	宮 下 仁	富士吉田市向原	

# 富士吉田市立教育研修所運営協議会委員

(任期 令和3年4月1日～令和4年3月31日)

役 職	氏 名	住 所	備 考
委 員 長	長 田 光 雄	富士吉田市新町	
副 委 員 長	堀 内 悟	富士吉田市上吉田	
委 員	渡 邊 治 男	富士吉田市旭	
委 員	渡 辺 喜 志	富士吉田市ときわ台	
委 員	渡 辺 富 江	富士吉田市上吉田	
委 員	堀 内 貴 丈	富士吉田市上吉田	
委 員	土 屋 実	富士吉田市新町	
委 員	宮 下 敏 幸	富士吉田市緑ヶ丘	
委 員	伊 藤 秀 一	富士吉田市下吉田	
委 員	長 田 和 司	富士吉田市小明見	
委 員	齋 藤 浩 司	富士吉田市新西原	
委 員	渡 邊 聡	富士吉田市上暮地	
委 員	堀 内 一 義	富士吉田市新町	
委 員	小 幡 浩	富士吉田市小明見	
委 員	三 浦 雅 彦	富士吉田市上吉田	
委 員	齊 藤 泰 史	富士吉田市上暮地	
委 員	田 辺 静 輝	富士吉田市下吉田	
委 員	武藤 智恵子	富士吉田市下吉田	
委 員	堀 内 淳	富士吉田市下吉田	
委 員	齊 藤 智 子	富士吉田市下吉田	
委 員	梶 原 明 彦	富士吉田市下吉田	

令和3年度  
富士吉田市教育委員会

---

---

発行 富士吉田市教育委員会

富士吉田市教育委員会学校教育課  
〒403-8601 富士吉田市下吉田 6-1-1  
TEL 0555-23-1765 / FAX 0555-22-6551  
e-mail: [gakued@city.fujiyoshida.lg.jp](mailto:gakued@city.fujiyoshida.lg.jp)  
URL <http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/>

---

---